官民一致各地協力
一大前進を要望

總領事　坂根準三



着任以來僅に二個月足らず到底當方面特殊の事情を知得する由なきに拘らず、多數在留同胞各位に對し並に帝國總領事として新年の挨拶を開陳することは、私に極めて厭嫌なる光榮の念を感ぜしむる次第である。

年々歲々花相似と謂ふものゝ、本年ほど特に、異例の歲であらうとは恐らく何人も直ちに期待するところであらう。新年には昔から一年の計は元旦に在りと申す通り來るべき一個年間に於ける一身の身の振り方乃至一家の計の立て方が篤と考へ定める習慣があり、自己反省奮發向上の好個の機會となつて居ろ。唯通信機關發達し國際關係尖銳化し社會組織緊密化した當今に於ては各人も、個人として及び家庭人として生活すると同時に、當然また團體人として社會人として更に國際人として活動することを想起されるもので あつて從つて好むと好まざるとに關らず十分其の方面の考慮を加へて所謂一年の計を樹てなければならないと言はれ得やう。

申す迄もなく、母國日本は日支事變の處理に國を擧げて心身の力を傾倒して居る眞最中である。時は



お斷り

大谷拓務大臣、平生元支部大臣各閣下より次の如き祝辭を賜々本社の爲めに寄せ下されたのでしたが、書面の到着が遅れた爲、遺憾乍ら廿周年記念號に揭載することが出來ませんでしたで、今回新年號に前記各閣下の祝辭を揭載し、普く讀者各位にに傳へすると共に、永井、大谷兩大臣及び平生の各國に對し滿腔の謝意を表する次第で御座います。

最に本社が創刊廿周年を迎へ、記念號を發刊するに當り永井遞信大臣、

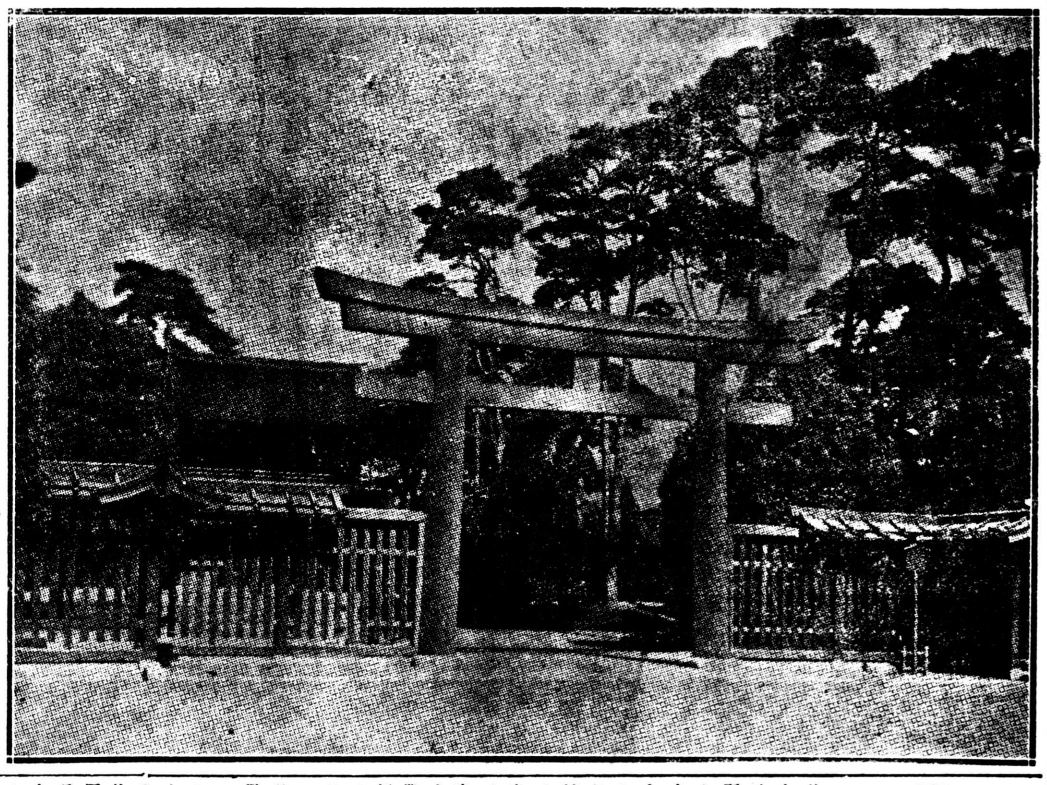
日伯の親善を助長し
同胞の福利增進に努めよ

遞信大臣　永井柳太郎

伯剌西爾時報社が創立廿周年を迎へて並に其記念號を發行するに至りたるは寔に慶賀に堪ぬところである。

隆々たる我國力の發展が自然に海外に向つて進出するのは固より當然であるが動もすれば優秀なる我移住民の進出が却て諸外國の嫉視誤解を受けて思はぬ障碍に遭遇することあるは遺憾である。

此障碍を避けんと欲せば先づ常に彼の國人の正當なる理解を得ることを期し、一面には又移住者自ら慎重なる心構と訓練とを必要とする、而して之を期するには官民一致種々協力事に當らねばならぬが何よりも最も必要なるは言論機關を通じて內外に指導啓發することである。



伯剌西爾時報社が創立廿周年を迎へ、記念號を發刊するに當り、永井遞信大臣、坂根總領事、大谷拓務大臣、平生元支部大臣各閣下より次の如き祝辭を賜つた者のみが知る至難の業である。黒石君は明治卅三年の早稻田出身者で早く萬里遠征の志を抱き少壯、北米に赴いて移植民開拓事業に活躍も、又新聞事業に從つて幾多の經驗を有し、偶々我國が南米開發の大計を樹てゝブラジル移民の大進出、實行するに當り之れが指導啓發の機關として發行せられたる伯剌西爾時報の社長として勇躍自ら進んで渡伯此の大任に應召したのである。

爾來伯國に於ける同胞の發展は洵に驚嘆すべき速度を以てせられたが、伯剌西爾時報が此間に處して着實穩健能く指導機關たるの責任を盡したるは內外の等しく確認する所である。願はくば今後益々

伯の親善を助長し、同胞の福利を增進するに努力せられんことを、記念號發刊に際し卿が所感を陳べて祝意を表する次第である。



社運の隆昌を祈る

平生釟三郎

一九一七年に聖市に於て創刊せられた伯剌西爾時報が玆に記念すべき廿周年を迎へられたることに伯國關係者の一人として喜びにたへぬ。

最近防共協定い成立により、日獨、伊の三國に特殊緊密なる親交を加へることゝなつたが、このドイツ、イタリー兩國と親交あるポルトガルを祖國として、而も有爾來締盟國の後裔が同異なつて、平和なる南半球に於て最も榮ねてゐるブラジル國には、すでに早くより日本移民が送られ、日伯國民の間は淺からぬ關係にあり、殊に一九三五、六年に兩國間に經濟使節の往來ありて、一層親善の度を高めたるが如き其の在留同胞を稗益せる所洵に尠少ならざるものある。

今や日伯兩國は益々國交の緊密を加へ、貿易關係亦好轉して將來更に之が進展を見んとするの秋に當り、新聞の使命亦愈々大なるものあるを痛感す。殊に時局重大の際、余は貴社二十年の光輝ある歷史に對し深く敬意を表すると共に、今後一層兩國親善の爲に將又我が在留同胞發展の爲に努力盡べあらんことを切望して已ます。

乃て以て祝辭とす。

昭和十二年十一月十五日

光輝ある歷史に對し
深く敬意を表す

拓務大臣　大谷尊由



伯剌西爾時報創刊玆に二十周年、今其の記念號を發刊せらるゝに當り聊か祝意を表せんとす。

顧みるに我が移植民の伯國に渡航してより將に三十年に垂んとし、在留同胞數實に二十一萬人と稱せらる。之を歐洲諸國民の伯國渡航の歲月古くして、其の多くは百年有餘を算するに比すれば、我が移植民の年代極めて淺しと謂はざるべからず。然るに我が移民が伯國產業開發上に貢獻せる所多大にして、現に邦人農業者の手に依る農產總額は優に年額一億餘万圓に達し、聖州植作界に於ける邦人棉作業者の生產額のみにても同州總產額の約五割以上を占め、又蔬菜業の如き邦人の活躍大に見るべきものあり、且つ他の主要農產物についても亦成績頗る良好なりと云ふ是れ畢竟本邦農業者の堅忍持久、勤勉努力の結果たるは言を俟たざる所、而かも一面克く新聞雜誌等を通じて諸般の指導啓發に傾聽し大に工夫攻究以て之が實際化せるの賜なりと謂はざるべからず。

伯剌西爾時報は創刊以來常に著實穩健の言論を以て終始日伯親善の爲に竭し來れるのみならず、我が在留同胞に對しては之が指導誘掖に深く留意し、殊に其の過半數が農業從事者たるに鑑み其の產業上の知識向上 圖らんが爲特に紙上に產業欄を新設し、之を通じて產業改良上の知識を一般に周知せしめたるが如き其の在留同胞を稗益せる所洵に尠少ならざるものある。

今や日伯兩國は益々國交の緊密を加へ、貿易關係亦好轉して將來更に之が進展を見んとするの秋に當り、新聞の使命亦愈々大なるものあるを痛感す。殊に時局重大の際、余は貴社二十年の光輝ある歷史に對し深く敬意を表すると共に、今後一層兩國親善の爲に將又我が在留同胞發展の爲に努力盡べあらんことを切望して已ます。

乃て以て祝辭とす。

昭和十二年十一月十五日

名士二人一話

現代青年

外務大臣　廣田弘毅

「現代の青年は非常に眞面目になつてゐると思ふ。勿論一部少數のものには、刹那の享樂に耽り唾棄すべきものもないではあるまいがこれは例外である。一般の青年そのものからすれば、眞面目になり過ぎるとも思はれる程である。眞面目に自己を考へ、社會を考へる其處には當の偏在もあらう、社會の種々相が映つて來るから勢ひ不平の念も生ずる、斯して思想の動搖ともなるのである」

日本人の魂

滿鐵總裁　松岡洋右

「日本人は貧ることが明かの場合でも不正には斷じて屈しない、弱きを扶け强きを挫く、これが日本人の魂である。算盤で彈けぬ戰を平氣でやつてのける、これは支那人等には求めても求められない。彼等は到底利害を離れて戰爭などはしない、日本人は正義の前には損得を超越して自己を守る、自分の名譽と自尊心を傷けまいとする、こゝが大和魂であり日本精神である、今次の事變を見るがいゝ。」

婦人の眞操

井上秀子

婦人の眞操觀念の破壞は、やがて家族制度の破壞となる、家族は愛と敬とにつながる一男一女が相結合してその根本となり男女互に一夫一婦の道を守り終生がはる事なき愛情はもとよりのこと、お互びの血統、遺傳など云ふことも充分に注意を拂ひ、永久にその家の神聖と繁榮なる期待するものである、若し主婦の眞操が純潔を欠けば全家族は神聖にして平和な幸福な生活を送ることは出來ない

女は女らしく

茅野雅子

女性が常に男性と同じ活動領域に進出して徒らに競走的意識に終始するのは實に男子にとつて不倫悦なばかりでなく、女子にとつても余りに得る所はないであらう。特に私はそれを女子高等教育に關心をもつ人々に考へて戴き度い。學問の種類は言ふ迄もなくその組織も原理も今日の現狀では全く男子のそれに從つてゐるものが多い、私はそこに「女は女らしく」の合言葉をもつと活用したいと思ふ。

謹賀新年
昭和十三年一月一日
伯剌西爾時報社
編輯部員
營業部員
子供の園部員
商事部員
工場部員
東京支社員
リンス支社員
プ・プルデンテ支社員

日本新聞に何を求むる乎

野生

もの、ない事、除名廣告發表か堂々と爲す會の名き事等我等鍬ル握る農夫には無影響こそあれ、決して悔く讀む事の出來るものではありません、日本の政黨色よりも遙かに劣等な黨色でないだらうか尤も全べて掲載を依賴された記事ル掲載するのであり、新聞紙には黨色なきかも知れません、万一新聞紙が無派の鬪爭場に開放してあるのでしたら、其れは新聞紙の品位を低下させるものです、又新聞紙ある爲めに紛爭を擴大させる事度々と聽く、願はくば邦人社會のために、公平にして愼重なる記事掲載を望みます

私の希望

リンス　一雄生

一讀者としての私の希望を述べさせて戴くならば、先づ第一に擧げたいのは全世界に捲き起る問題なき出來事の中紙面の許す限り、最も新鮮なる最も意義ある事柄を最も迅速にその報道を望むものであります、其の第二は公平なる評會批

特色のある新聞を

トレス・バラス　丘燎

ブラヂルに在住する日本人の家で二三種類の邦字新聞をとつてゐないところは無いだらう、ところがこの新聞のどれもが一部分の記事を除くと、みな似たりよつたりのことが書かれてゐる、Aの新聞を讀めばもうBもCも讀まずによいのだ、唯連載小説と農業欄が違ふくらひのもの、何故各新聞社は特ダネを漁まらうとせぬのだらう？日支事變報道には某方面から制されてゐた爲だらうがんな毎日同じやうな機對的報道には隨分飽き足らぬ思ひをした多少は日本の不利な事件もあつたのではなかつたか？、それを知りたかつた、大體戰爭に無理がない筈がない、無理があるのが當然だ、右の樣な理由から邦字新聞には大々的に書く事はいけないが社會面の隅の方にでも小さく伯國なり米國なり外國人記者の觀た戰爭記事、論戰を載せて呉れゝば（然し一方の眼界をひろめてもらひたい、エンシャーダ鬼ゐてゐる我々に世界の動きを知らせてくれるのは新聞以外にないのだから、それから日本ではどの新聞も行つてゐることだが、紙面を融通して日曜日ぐらゐは子供欄を作つてもらひたい、子供の讀物は「子供の國」だけだなんてあんまりケチではないか、氣の利いた讀物やら漫畫を載せてくれゝば（然、子供達も新聞に興味を持つやうになり讀書力が強くなる、文藝欄の方も社には相當伯語達者も居るのだから伯國の有名な小說又は詩などを飜譯して載せてくれたら農村の靑年達は隨分喜ぶことと思ふ

もう一つの新聞に對し以上少くともその讀者はその紙に關心を持ちをくはその紙の與黨であらうと思はれます、であつて見れば新聞社は中毒者を良い事にして新聞といふ所鋼他人の口には戸は閉てられぬ式の鐵い武器を惡用し、それに依つて讀者を欺瞞し、擅ままでしめて己の滿足を滿し延いては邦人社會へ禍根を醸すやうな惡德新聞が若しあるとしたら、蓋し一刀兩斷尙その罪や餘りありである、幸ひにして吾が愛讀する貴紙に限りそうした片鱗だも見受けぬことを此際喜び合ふもの、一人であります、で第三に望む事は讀者の多くな奥地植民地に持つ各新聞は例へば珈琲の將來性とか、棉花市場の動靜等々に關し全智、全能を傾注し、依つて讀者を指導されたらその福祉增進や計り知れぬものがあると信じて疑はぬものであり、不肖私は斯うした見地から早晩現下の日支事變も終熄し皇風普く北支否全世界に輝き亘り友邦國の明朗化こそやがては今事變でいさも急激に日刊紙となり、各紙の全面殆ど戰況ニュースで鉢合せの體よろしき今の活字の埋め合せに貴社から限られた數の註文を提講して見ました

農業記事に註文

バ延長線サン・ジョアン植民地

武田輝義

日支事變勃發のために諸新聞が擧つて毎日刊行さなつたについて二つの感謝すべき事柄がある、一つは戰爭の推移を最も迅速に知り得る事で、今一つは市街より遠く離れ住む農業者にとつて、その單調な生活に新鮮なる知識と慰興を日々に受け得るからである、農業者と農業欄が相當賑はつてゐるが、一般に邦字新聞は少し讀み應へのする農業記事にすると前說が可なり詳細に記述されその割合に農業者にとつて最も肝腎なその後の核心に觸れた記事がパッ！とはたかれてゐる、あれでは何にもならぬ

編輯上斯ゝ云ふ點は是非考慮に入れてほしい一つである、凡そ新聞の使命は一つの事件なり研究なりが讀者にその概念を與ふることによつて果す得るものかも知れないが農業欄の記事などはそれでは物足りない感ひ、私どもにとつては興味ならぬ名士の往來、視察、消息、運動記事、殊に野球記事の滿載などゝ新聞の多角的な讀者層ではあれで大いに受け入方面があればこそ思ふから身輕手な註文ばかりしては恐縮であるが、「邦字新聞の讀者の過半數は農民であるから農業上の記事がもつと大いに盛り込んで然るべきだ」とある會合で世間話出た、一面の消息を物がするものであると思ふ

謹賀新年
昭和十三年一月一日
家具製造販賣
建築請負
三吉文人
住宅　サントス市セナドル・フエージョ街二一〇、電話六九一
工場　ドトール・カルバリヨ・メンドンサ街九六

謹賀新年
昭和十三年一月一日
料亭　あけぼの
サントス市プラサ・イグアテミ・マルチンス八六　電話二八五〇

Akebono
P.Iguatemi Martins 86
SANTOS
謹賀新年
一月一日
料亭　あけぼの

謹賀新年
昭和十三年一月一日
日の出製麵所
伊波興祥
サントス市ペードロ・アメリコ街六四
電話　五一一七

Lavanderia e Engommaderia
GONZAGA
謹賀新年
昭和十三年一月一日
森本五久
サントス市
セナドル・フエジョ街二九四
電話　二二三五

Confeitaria
SANTOS
謹賀新年
昭和十三年一月元旦
和洋菓子
製造卸小賣
原田高弐
サントス市
セナドル・フエジョ二二一番
電話　六八五八

謹賀新年
昭和十三年一月一日
サントス日本人會

EXPORTADOR DE PEIXE
HACHIEMOM OTANI
BANCA No. 5 - MERCADO DE SANTOS
謹賀新年
昭和十三年一月一日
大谷八右衛門
サントス市ブラス・クバス街二三九（潮ホテル内）

Importador e Exportador de peixe
Aduma Sameshima
BANCA No. 5 - MERCADO SANTOS
謹賀新年
一月一日
鮫島魚問屋
鮫島東
サントス市メリカード
バンカ五番

EXPORTADORES DE PEIXE
Acceita-se Qualquer fornecimento
Para o Interior do Estado
Oscar de Souza & S. Mikai CIA.
Mercado Municipal de peixe
BARRACA 27 TEL. 2514
謹賀新年
一月一日
内外海産物取扱商
三界實彦
オスカール・デ・リーザ共營
郵函四一一七
電話二五一四
住所　サントス市アベニーダ・ワシントン・ルイス街二二四番

謹賀新年
一月一日
海産物各種製造卸販賣
山本三熊
サントス市サポオ街四番
郵函七四一
メリカード鮮鳥市場内　バンカ十五番
山本鮮魚問屋
各線地方鮮魚販賣店一同

伯國民法と日本民法の競合

聖市　牧義朝

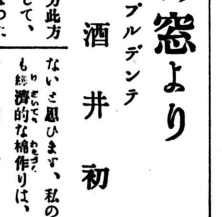
ブラジル國内に在住する日本人の親族關係及相續關係はブラジル民法例第八條により日本民法を適用する事になつてゐるから例へば家長が死亡した時には日本民法により家督相續又は遺産相續がはまるわけである

若し子供が皆日本國籍を有して居りブラジル人たる子供がない時は日本民法だけで相續が決定するから例へば戸主の死亡により家督相續人として長男が之を相續し財産の全部を承繼するけれども若し子供五人の中に三人は日本人であり又二人はブラジル人であつた場合に財産分配はどうなるか？

日本民法によれば長男が家督相續人として全部の財産を引繼ぐ事になりブラジル民法によれば父の死亡により半分の財産を五人の子供が平均に分けることになるから前記の場合二人のブラジル人たる子供の權利としては二分の一の五分の一宛を引繼ぐ事になる即ち一人が十分の一の財産を引繼ぐ權利がある然らば前記の場合には長男が日本民法により全部を引繼ぐ權利とブラジル人たる二人の子供が十分の一宛の權利が互に競合する場合であるから此の際はやはりブラジル民法が優先的適用權があるものと思ふ、即ち二人の子供が十分の一宛であるから合計して五分の一だけを取除いた殘りの部分即ち五分の四が長男たる家督相續人の相續財産となるものと思ふ

次に戸主たる家長が死亡してその子が全部日本人であつたとしてその家の長男が日本民法により家督相續人として相續手續中に於てその家督相續人が死亡しその子供は皆ブラジレイロとして出生屆がしてあつたと假定した場合に家督相續人は誰か？これ丈解しやすいために圖解するとAが死亡して相續手續中にBが死亡した而してDEFは何れも伯國人たる國籍を有するものとする時にAの死亡により家督相續人はDになるのかCになるのかこれが問題である

日本民法によれば長男が家督相續人たる權利があり又Dの方が優先的權利がある然し乍らDは日本人にあらずして伯國人たる時に於て伯國人たる長男Dに日本民法の規定する處の家督相續人たる資格がありや否やが疑問である勿論日本民法の何の規定にも家督相續人は日本人に限ると規定されては居ぬが然し國外の祭典其他家族全部が家長として統率する爲めには國籍が日本人でなければ完全に出來ないものと解はなければならぬ



即ち日本民法の家督相續人たる順位から云へばDであるがDは前述の理由によりその資格がないから家督相續人たる順位はAからB、BからCへ進むものと思ふ。換言すればC長男の長男が家督相續人になるあらすじ戸主Aの次男が家督相續人でなければならぬものと思ふ

右の場合に財産はどんなに分配されるかこれが又むづかしい問題である

日本民法によれば家督相續人たるCが全財産を相續する事になるが然しBの子三人は伯國人として父の財産を承繼すべき權利がある之を無視して日本民法によりてのみ財産を承繼するわけにはゆかぬまりして此の場合にはどうするといふ規定はブラジル民法にも亦日本民法にも規定されて居らぬがこの場合は兩國の民法を尊重する意味で半分を家督相續人たるCが承繼し殘り半分を三人の伯人たる子が引繼ぐ事が妥當なりと思ふ

第二世の窓より

ブ・プルデンテ　酒井初治

私は此のサンパウロ州を彼方此方と一家を共に住みつゝ成長して、何時か青年と呼ばれる年になつた者であります、物事に少し氣がつくやうになつたつもりで居ります此處にその一端を書きます、どうか讀んでやつて下さい

自分の周圍を見まはすとここに二つの異つた思想の人間を見る事が出來ると思ふ、それは其の日〳〵で將來にあまりかまはずに居るブラジル人と、その反對に將來を大きく考へて現在は金、金と金儲けにいそぐ日本人である、日本人は金儲けの爲ならどんな不便な所でも行く、どんな勞力もいとはない、頭を使ふとはその對にしない樣である、私がまだ小さい時だつた、パパイは「大きな金儲けをして見せる」と云つて棉作りを始めた、最初の年は普通に行つたがまだ滿足しない、「本當の金儲は荒山へ行かなければだめだ」と言つて町から遠い所へムダンサした、其處では棉の木はよく出來たが、マサンが少し開かない、殘り平均五十アローバが出なかつた、アレツソは下落して五針であつたそれももう十幾年か昔の話となつて此處に一九三八年を迎へるに至つたのである、あの頃にまだ商業に立つ日本人はすくなかつた、現在ではどこへ行つても商店があるといふだけでなく、斷然他をリードしてゐるところは痛快である、教育事業も進んだやうであるが補習學校その他のものはちつとも進んでゐないと思ひます、私の考へでは經濟的な棉作りは、珈琲と同じやうに四角に植ゑてカルヒディラを縱橫に通せば「人力」でやるところ二ほんの少し殘るだけである「人力」は高價であるが馬はミーリヨで働くといふだけでなく一度買つて置けば死ぬまで忠實に働いてくれます。然し私はカマラーダを使ふより馬を使ふ工夫をしませうと言ふだけではありません、毎年のやうに所を變へて生活の安樂を求める日本人の考へが如何にまちがつて居るか語らんとする者であります

「來年は此處を出るのだ」と思へば一本の木もかたづけない、バストを造りたくない、小屋を建てる氣もしない、其の結果必要な農具さへ買ひ寸にカマラーダを使つてゐるから一つまちがへば貧苦のどんそこへたたきつけられて了ふ、こうした失敗は在伯日本人の名譽の爲めにも、もうそろ〳〵やめてもらひたいと思ひます、我々棉作りを始めてから十幾年か經て居るのです、棉は有望でない事を知つてか知らないでか、今年も又澁山の金をかけて大森林を伐り開き、その上高いアレンダメントまで拂つてゐる者もあるが、こちらの人から見ると時「亡父の二の舞をする人ではないか」と云ふ氣がしてならない、果して日本人にはバタバタ作りと棉作りの外、仕事は何も無いでせうか、もう少し落ちついて能力と勞力を一緒にして益々向上發展せんとを祈る者であります

正賀　一月一日　星製肉所　謹賀新年　昭和十三年壹月元旦　仲村渠廣郎　サントス市ペードロ・アメリコ街一四五

正賀　一月一日　公認藥劑師　北島弘毅　レヂストロ植民地

正賀　一月一日　建築並家具製作請負業　朝沼傳一郎　レヂストロ

正賀　一月元旦　雜貨商　大鹿商店　大鹿慶太郎　レヂストロ

Tintularia Japoneza　謹賀新年　昭和十三年壹月元旦　近藤周三郎　サントス市セナドル・フエイヨ街三五五　電話三八〇〇

正賀　一月一日　謹賀新年　光乃家　上坂光枝　サントス市プラサ・イアアテミマルチンス九八番

謹賀新年　昭和十三年一月一日　在伯・球陽協會　Rua Espirito Santo, 34 SANTOS

LAVANDERIA E ENGOMMADERIA NIPPONICA　謹賀新年　昭和十三年一月一日　上原直元　サントス市プラス　クーバス街一八番　電話五三二〇

HOTEL RIBEIRA　K. KOMATSU　Caixa Postal, 29 - REGISTRO　謹賀新年　昭和十三年一月一日　御旅館リベイラ　和洋御料理仕出し　小松敬一郎　レヂストロ市街地　郵函二九番

Casa Ideriba　M. Ideriba　Caixa 44 REGISTRO.　謹賀新年　昭和十三年一月一日　出利葉商店　雜貨商並ピンガ製造　太田留吉商店　ジユキア線バラーダ一二五粁

謹賀新年　昭和十三年一月一日　吉廣義助　海産物農産物卸商　サントス市セツテ・デ・セツテンブロ街一三二一　郵函九二三

明けまして　御目出度ふ御座居ます　（料）（亭）浪乃家　澤井千代子　サントス市プラッサ・イグアテミ・マルチンス六八　電話六三三二

謹賀新年　昭和十三年一月一日　上原直勝　Largo 7 de Setembro, 16 Santos

謹賀新年　昭和十三年一月一日　和洋菓子製造　パン醬油マンヂウバ魚　シイア・ニツポン　隅田福松　レヂストロ市街地　郵函四二・電話四

謹賀新年　昭和十三年一月一日　廣岡商店　廣岡金作　レヂストロ市街地　郵函一五・電話一四

謹賀新年　昭和十三年一月一日　富士旅館　館主　新城清助　サントス市

謹賀新年　昭和十三年一月一日　有限責任　ジユキヤ　バナナ　生産者組合　サントス市ドンペードロ・セグンド街一六番二五號室　電話六八三七・郵函四二九

CASA AOKI　謹賀新年　昭和十三年一月一日　青木商店　店主　青木メ吉　レヂストロ市街地　郵函四一

謹賀新年　昭和十三年一月一日　渡邊兄弟商會　渡邊理　渡邊昇　レヂストロ市街地　郵函三・電話二　支店　主任　梅津啓吉　ジユキア驛　內外雜貨、穀物、反物、小間物、金物、仲買並ピンガ製造

謹賀新年
昭和十三年一月一日
農産物仲買
岡本光雄
ペーラクルース町　電話七六

謹賀新年
一月一日
出張夜間撮影
寫眞術一般
額縁製作
ニットー寫眞館
新田白陽
佐藤肇
パウリスタ線ペラクルース町

謹賀新年
昭和十三年一月一日
清潔親切
村井旅館
村井藤一
ペラクルース町（青年會館隣）

謹賀新年
昭和十三年一月一日
農産物仲買
松下商店
松下相吉
ペラクルース町


謹賀新年　昭和十三年一月一日
日本洋服店
店主　羽藤數志
パウリスタ延長線ペラクルース町

ペーラクルース商工會

謹賀新年
昭和十三年一月一日
井太高竹中上松舟堀齊喜三四出
藤橋田内平田永橋藤井浦ケ川所
八津三留旅德正好清義政源
實藏雄市夫治館治一位見男太雄
（イロハ順）
パ延長線ペラクルース町

謹賀新年
昭和十三年一月一日
中平三夫
パウリスタ延長線
ペラクルース町
メスキッタ市街地

賀正
一月一日
大西寫眞館
ポンペイア町

賀正
一月一日
果物卸小賣並バール
原田
ポンペイア町

賀正
一月一日
農産物仲買
濱崎新二
ポンペイア町　郵函九五

謹賀新年
昭和十三年一月一日
ペーラクルース町
青年會

バザール渡邊

謹賀新年
昭和十三年一月一日
子供服、カミーザ、メイア
内外化粧品、玩具類
其他小間物、流行品一切
渡邊重美
パ延長線ペーラクルース町
大通り

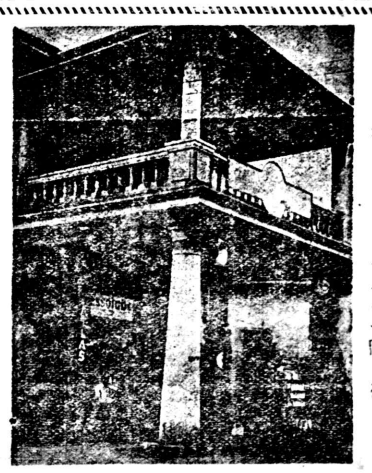
謹賀新年
昭和十三年一月一日
ポンペイア町
青年會

謹賀新年
昭和十三年一月一日
内外雜貨
カーザ大浦
大浦光次
ポンペイア驛オーロブランコ市街地

謹賀新年
昭和十三年一月一日
ペーラクルース
中央日本人會

謹賀新年
昭和十三年一月一日
雜貨、小間物
日本品各種
カーザ
コスモス
土井勝楠
パ延長線ペーラクルース町
郵函　一九七

謹賀新年
昭和十三年一月一日
ポンペイア町
同業組合
（イロハ順）
旅館ニツポン　磯山瀧雄
バール　磯谷鶴三郎
バール並旅館　林若松
旅館　西元芳熊
旅館　田口ハルヱ
バール　木下
バール　三好榮


謹賀新年
昭和十三年一月一日
貴下のカーロには是非！
ガゾリーナ　エソレネ印！
オリヨ　エソルベ印！を
アトラス・タイヤ代理店
ブリッジストン・タイヤ
ガゾリーナ補給所
自動車附屬品一式販賣
ポスト・スタンダード
ペーラクルース
上田留治
宮川德市
パ延長線ペーラクルース町

謹賀新年
昭和十三年一月一日
ポンペイア學校協議會
ポンペイア　中央小學校
ポンペイア植民地　小學校
サンタ・エレーナ　小學校
カンガンキ　小學校
ジヤンガーダ　小學校
アミザーデ日昇　小學校
ヂヤクチンガ　小學校
ガリダ　小學校
ノーボ・バール　小學校
太平　小學校
朝日　小學校
希望　小學校

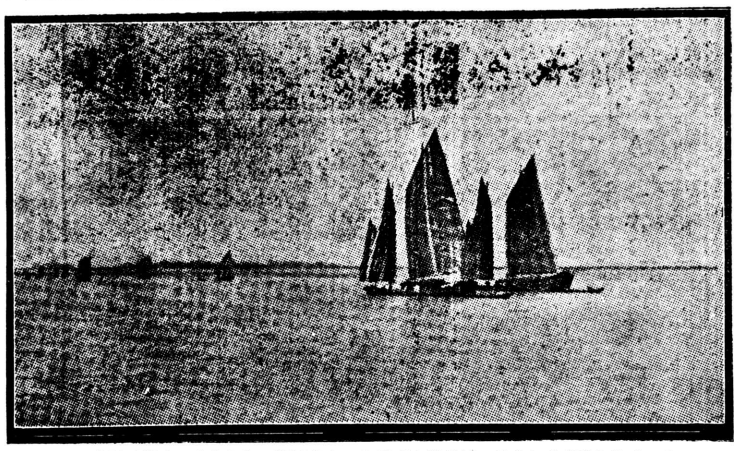
えんえん一千五百哩 大長江を遡る

上海行の連絡船で鳥崎を正午ごろ發つと、翌日午前十時頃、海水が著しく濁つて來るのに氣がつきます、船が愈々揚子江の入口に近づいた事がこれで分ります、海水の濁つたのが分る頃はまだ陸地は全然見ゆません、そこから約五十浬ほど上つて漸く揚子江の入口にかゝるのですが、揚子江の入口といふのは南の岸から北の岸まで大體四十浬あります、南の岸に立つてきたの岸がいくら見ても何も見ゆません、双眼鏡で見ても分りません、ですから揚子江に入つたと云つても一般の船客には、何時入つてどう進んでゐるのか少しも分りません、此の江口から遡つて四百五十浬上ると事實で有名な呉淞があります、「岸が見ゆた」とよく船客が騒ぎ揚げますが、これはきた側の岸ではなくて、川の眞ん中にある名もない島です、その島の向ふ側に崇明島といふ大きな島があります、この島は唐の時代に出來たものだそうです、島が出來たと云ふ譯は、揚子江が實夜運ぶ土砂によつて出來た三角洲です、此の島が揚子江を南水道、北水道に分けてゐます、崇明島は大體長さ三十哩、幅十哩ありて、此處に住んでゐる人口は、はつきり分りませんが二百萬と云ふ説もあり、五百万といふ説もあり、苦力の産地として有名なところです、江口から四十浬上ると事實で有名な呉淞があります、ここで本流と黄浦口といふ支流が合流して居つて、連絡船の終點上海に着きます、潮の工合で着く時間は多少違ひますが大抵午後の三時が四時に着きます、揚子江も船で見物しようといふ人は上海で日清汽船の船に乗換へる譯です、揚子江を遡航する船は毎日又は隔日に上海を發つて約千三百浬上流の重慶まで通じて居ります、揚子江は一つの船で全部を航行するのでなく、上流に行くほど船が小さくなつて、大體三つの航路に分れて居ます

下揚子江（上海―漢口間）
中揚子江（漢口―宜昌間）
上揚子江（宜昌―重慶間）

つまり漢口と宜昌で小さい船に乗換へる譯です、夏の水の多い時だと漢口では一万噸の船、宜昌まで二千噸の船が通ひます、日數は全航路を上るに約十二日、下るには八日を要します、大抵の川は上流に行く程みすぼらしくなつて了ふ、そこで相當大きな船が夜無理な航行をしてゐると思の上から走つたり、朝になつて見ると水路からひどく離れた所を走つてゐたと云ふやうなことがしばしば起ります、そこに此の揚子江の雄大さと雄輔さがあると思ひます、中揚子江の岳州からは本流と分れて呉沙へ行く船路があります、岳州から間もなくその邊一帯が洞庭湖となつて居ります、洞庭湖の面積は約二千二百九十方哩、日本の九州がすつぽり中に入つて了ひます、それは増水期には全部みすみが溢れるのですが冬の減水期になると、皆干しあがつて洲が出るのです、九州の廣さ位の場所が一面の湖になつたり干あがつたりするのですから、冬と夏では大變印象が違ふ譯です、宜昌まで來ると中揚子江が終つて此處から上揚子江です、普通四川航路又は重慶航路と云ひまして、重慶航路の船は軍艦でも商船でも特別大きい岩かあり、その傍に水面下二尺位の岩が隠れてゐます、その二つの岩の間を縫ふて進む譯ですが、隠れてゐる方の小さな岩に突當つて今までに商船が隨分沈山沈んで居ります、日清汽船の揚子江航路の終點が重慶で、江口から千三百六十浬上流にあたりますがここまで來ても川幅は約四百米、隅田川の約二倍半あります、揚子江の流域に住む人口は約二億、つまり全支那人の約半分が揚子江の恩惠を蒙つてゐる譯です、貿易關係がら見ても、支那貿易の約半分は此の地域で行はれてゐます

此れで揚子江の概略は御逃した譯ですが更に例證かに二三添へて見ましよう、然らば揚江邊の村の飲れる水は平素どうしてゐるかと見るに別に井戸を掘るではなし、清水を汲みに行くわけでもありません、唯幾千年となく世界的にその濁流を長江から汲みさつて之を沈澱させて用ゐてゐるのです、否どうかすると民船で生活してゐる人たちはいきなり江水を掬ふて、それでも茶を沸かし飯を炊いてゐる譯です、たのうはすみを用ゐるなどそんな贅沢なことを考へてもゐない、甚だしいのになると川上の方で馬糞と云つて不淨の入つたものを竹のまゝらで洗ひたゞしてゐる者もあり、その下の方へみすた汲んでは茶を沸したり、又之を客にすゝめたりもしてゐる、ここに一種の興味がある、俗を超越した良いところがあると云へる、昔がらこの式で來てゐるのであるから是れが最も衛生的についてゐる譯です、之れら組には一切出來ません、支なに神經衰弱の少ないのもこの爲めであると云へます、長江沿岸に時折り蝗の來襲さいふ恐ろしいものがあり、恐ろしその時幾千億といふ數多の蝗江を渡つてその地方の田畑や江岸の楊柳等を何でもあらうとかまはず喰ひ盡し去る事です、蝗軍がそつて來た時はどうするかと申しますと、全村を擧げて鉦や太鼓で出來るだけの大音響を揚げ潮の如き勢ひをもつてその降りて來やうとする蝗軍をびつくりさせる手段をとる、然し如何に人力を以てしてもこれを完全に防止する事は難かしい、併し何と云つても揚子江は亞細亞の心臟部に當つて居り、これを拔きにしては我が國策を論じるとも出來ないのではないかと思ひます



ここに去る取り取りな戒克から最色から小猪ぎもなく進行して行く、今日でも揚子江の風景を飾る一帆一帆の汽船が船の汽笛を鳴らし乍ら測江する、之を見るの妻の寛戒克は、猶平戦の際に於ける軍艦のやうな感じがする、と云つて居ります、

謹賀新年
昭和十三年一月一日
金原電器工業舍
金原久藏
バウルー市

謹賀新年
昭和十三年一月一日
日昇日本人會
ポンペイア驛郵函二四
日昇植民地

謹賀新年
昭和十三年一月一日
ポンペイア町
日本人會

謹賀新年
昭和十三年一月一日
中村商會
ポンペイア驛
オーロ・プランコ市街地
内外雜貨

謹賀新年
昭和十三年一月一日
乘合自動車
オーロ・プランコ發　午前七時半
マリア市着　十時半
マリア市發　午後二時
オーロ・プランコ着　六時

謹賀新年
昭和十三年一月一日
木苗かんみ

優良種
◇撰べ品種と丈夫な苗木◇
新田果樹園
園主　新田光好
從業員　小田完作
外一同
外交員　上杉貞樹
ノロエステ線グアキサラ驛　郵函三一
（リンス街道グアキサラ町手前）

謹賀新年
昭和十三年一月一日
バウルー市商工組合（イロハ順）
雜貨商　長尾源一
雜貨商　國井五郎
雜貨商　草川信治郎
旅館　藤田泰一郎
雜貨商　小林武夫
人事相談所　牛塚爲泰
旅館　阿部一一
澤尾磯七
パール業　伊集院兼哲
珈琲仲買業　芳賀仁吉
旅館袖ケ江及パール　鳥毛榮之助
雜貨商　富田光
御祝儀、佛事用一切、製菓卸商　豊田清藏
旅館　沖山心平
パール　金城正和
ケラナ製浩元キング　笠井貞藏
電氣工業　金原久藏
雜貨商　高橋源吉
竹田清一
パール　成田源之助
雜貨商及印醬油釀造卸商

謹賀新年
昭和十三年一月一日
ポンペイア町
商工會
金物商　大田商店
内外雜貨商　福田商店
同　菅山支店
同　河野商店
同　横井商店
呉服小間物商　藤岡商店
雜穀仲買業　岡田幸一
同　大迫榮
同　宮崎義雄
同　岡田喜一
同　濱崎新二
製菓業　花田繁雄
同　神田健藏
家具製造業　清水唯雄
パール　田邊敬秀
シンガーミシン代理店　森時雄
藥局　本山藥店

お日様が出た　お日様が出た

子供の園君が、元旦の朝起きると直ぐに、隣りの愛子さんと好吉君とを呼び出しに行きました。そして愛ちやん、好ちやんと、聲高らかに呼びますと、二人は直ぐ飛出して來て園ちやん（子供の園君のことを園ちやんと呼ぶ）何んですかと問ひました。すると園君は

園「今年の新年は『日の出』の新年よ。だから日の出を拜まなくてはいけません。」

愛「そりや又どうした譯の、今年に限つて『日の出』の新年だなんて。」

好「ほんたうだわ。去年も今年も新年には變りはないし、地球がぐるぐるつと廻つて元日の太陽を拜むだけですもの。」

園「愛ちやんも好ちやんも判んない人達だなア。今年は私たちの血の繼がる日本が支那大陸に乘り出して支那の沒分曉漢の軍人や政治家を膺懲して、遂に首都南京から追ひ出した新年じやないの」

愛「そりやさうだ。嬉しい新年だわねー。だけれど「日の出」の新年と言ふ譯はなアに？」

好「今年は、お日様が西からでも出ると言ふんですか？」

園「マゼッ返へしてはいやだよ。今年の元旦は私たち日本民族に取つては大事な大事な元旦よ！。お日様が同じく東から出なさるが、今日の「日の出」はアジヤと言ふ其の言葉のように、日本を眞に「日の出」の國にした元旦の日の出だから、餘計にお日出度いのよ」

好「へエー。アジヤは日の出。そしてそのアジヤの盟主は日本。そして日本は、「日の出」の國。素晴らしいなア。」

愛「好ちやんは頭腦が良いなア。日本がアジヤの盟主だなんて、そこまで判るんだから。」

園「本當に好吉君が偉いよ。私の言ふ事がチヤンと判るのだから。眞に日本と言ふ國は偉い國よ。そして其の民族たる私たちも日本は「日の出」アジヤの盟主であるだけでなく、太陽は世界を照すように、是からアジヤ大陸政策を提げて世界の平和に努力し、世界を永遠の平和たらしむべく新たな大文化を作るのだから、日本の使命たりや大なりであり、其の使命實現の第一歩は今度の日支事變であり、今年のお正月は其の第一次の正月であるから、今日の「日の出」を拜むことが、私たちに取つて最も樂しい、嬉しい新年であり、元旦であると言はねばなりません。」

好「僕偉いんじやないのよ。僕は子供の園から常々學ばして貰つてゐる事を喋つたまでですよ。子供の園には、每號日本民族の偉大さを反復叮嚀に敎へてゐますからね。」

園「さうか。さうだつたのか。それはよかつたね。それでは、もうお日様も直ぐ出なさるから、俱に拜んで御禮を申し上げようではないか。あアお日様が見えた東に向つてお祈りを。」

と、言つて三人揃つての禮拜は、夫れは夫れは諄眞なものであつたと共に、此の日元旦のお日様の光榮ある輝きは、眞にアジヤの盟主日本を表象するやうに、遠く廣く世界を平和に照すのであつた。

謹賀新年

昭和拾參年壹月壹日



新年の福運は誰に!?

明けましてお目出度う御座います、何うぞ今年も相變らず可愛がつて下さい御願ひいたします。だが、可愛がつて下さいと申しましても、是れまでのやうに、ドーセや、バーラや、ラビスのやうに、直ぐなくなつて仕舞ふやうな物を下さいと言ふのではありません。一生涯頭腦の中に殘つて、齡と共に段々太つて寸時も身體から離れないやうな有益な物を下さいと言ふのです。そして此の有益な物を惠み與へ下さる事を、眞實に可愛がつて下さる事だと申すのです。

思ひ切つて申しませうか私の眞實に欲しい、そして一番有益な物と言ひますのは、それ此の前お話した「子供の園」と言ふ雜誌なのです。此の雜誌はブラジルで發行される雜誌で、ブラジルで育てられていく私共には、眞當に能く判つて、面白く且つ爲になる雜誌です。そして「子供の園」と言ふ雜誌は値段が廉くて、殊に今年は大懸賞附きの素晴らしい發展振りですから、是非此の雜誌を明年一月號から買つて下さい。さうすれば必ず立派な日系伯國人になつて見せます。萬歲。

子供の園三周年記念大懸賞

抽籤期眼前に迫る

大評判の『子供の園』三周年記念大懸賞募集は愈々最高調に達し、抽籤期までには後殘す處二ヶ月になりました、末だ御申込みの無い方々は

一等　壹コント　獨逸製裁縫ミシン　一本
二等　五百ミル　蓄音機マグナホニツク印　二本
三等　貳百ミル　獨逸製寫眞機ゼエシー　五本
四等　五拾ミル　學校用特製鞄　廿本
五等　子供の園一ケ年分（講讀券）　百本

此の際至急御申込の上新たに迎へた昭和十三年の福運を御引當なさると同時に、大切な御愛子方の敎育完全に御着手あらん事を希ひ奉ります

移植民地經濟往來

時報商事部　一小僧

我が伯剌西爾時報が、プラヅルの一角サンパウロ市に呱々の聲を擧げたは、今から廿一年前の一九一七年（大正六年）の八月廿一日である。さて云つて僕は其の當時「時報社」に勤務してゐたのではないが眞石社長の言いたもので承知する處に依ると其の日は大正天皇の天長節に當る最も御目出度い日であつたと云ふことである。

そして其の當時の日本人と云ふものは、殆んど九分九厘まで珈琲關係の仕事をつてゐて、アセンダ經營の商店から品物を義務的に買はされたもので、新開地であるから、新聞なぞは商賣上に關しては言ふ必要もなく、相場の擡頭すら要求する讀者がなかつたのであつたが、それが段々植民地が出來、自作農者が現はれ、半獨立農者が殖えて來ると行商人が各所に現はれ、商品を背に荷ふて賣歩いたものである。勿論此の時分は農村及び農村附近には商店の開設がなく、行商人が需要者　物を供給する唯一の機關として必要であつたのである。

處が是れも段々交通の開けるに從ひ變化を呈する事となり、鐵道が金通と道路が開通すると沿線の要所に町が生れ、町が出來ると店が出來ると云ふ具合に、町と農村と聯絡が密なるに伴れ商店と農家とが賣買關係が附き、農家は商店から必需品を買ふと同時に農産物を賣るのであるから、互ひに持ちつ持たれつ發展し行くを見るに至つたのである。

所が世の中と云ふものは複雜なもので、多くの人々の中には自己の所有する農産物をサンパウロ市へ賣捌いて見やうと云ふ人もあつたり、又逆にサンパウロ市から必要品を直接買つて見たいと云ふ人もあつたりするので、時報社の如きは是れ等の人々に便宜を計つてあげたいとして代理部を特設せ世話をして見た事もあるが、多くは失敗であつたのである。

然らば何うして失敗したかと云ふに、例へば田舍から農産物を聖市に賣捌くべく仲次ぎする場合、送り主の方では馬鈴薯百俵なら百俵を各俵毎に目方に掛けて斤量を合計してカルガで送るのであるから間違ひはない筈であるが、實際は鐵道會社員の取扱ひが粗漏なるが爲め三週間も一ヶ月も掛つて聖市驛に着いて見ると、俵數の百俵には間違ひなくとも、各俵の斤量には皆しく減じてゐるものがあり又生物の場合は腐つたりして、仲買人に實渡す場合目方を掛けて見ると經由の内から二三俵分も減じてゐるが珍しくない云ふ場合は取次役の代理部は、疑はれるまで行かなくても、鐵道會社から損害位ひは取れるものだと、齒がゆくも引き泣き寢入りせねばならぬ事があつたが、是れが幸かつたのだ。

又、右の反對に田舍から注文を受けて聖市から品物を買つてやる場合、勿論買主が前金で注文して來るのであるから樂なやうではあるが、急に品物の値段が上騰したりなぞして、其の足らず前の代金送付を請求すると、一週間位ひの間に幸悔があるがら託送するが故現に角不足分を一時立替へて送品して呉れと、云つて來る場合もツカリ送らうものなら。其の金は一ヶ月は愚か、一年經つても二年經つてもにくつて來ないを常例とするから結　貸倒れとなつて、代理部は損をすると云ふことになるので其の苦しい事云はん方なしであつたのだ。

斯様な具合で、貸せば損失に終るのが出來るし、貸されば煩雜だ不親切だと云はれるし、又委託販賣では品物を實捌くと鐵道會社の不行屆きや其の他の事情から目方が減つて之れが始末た付け得ないが爲めに、あゝ一度で愛想をつかされた事もあるから、結　代理部の仕事が何運絶返へして行つて見ても成功しなかつたのだ。斯くて云ふとそれなら新聞社逃りが代理部なぞ置いて商行爲など行られば可いではないかと酷評されるが、其處は失張り凡夫の淺ましさ、セメテ廣告代でも拂げて見たいとして又しても行るのであるが、同胞一般が、もつと〳〵商業道德が向上し借りた金は必ず返へし、頼んだ事に對しては人ん疑はぬと云ふ事にならられば、新聞社の商事部は先づ奉仕にはなるが、儲ける事は困難だと見ればならない。

だが、夫れでも何うしても行らればならぬ理由は、普通奥地の商店で扱つてゐない品物で、廣告で知らせて取次いで上げたい品も相當有るので態々云ふ物は是非勘めても買はせたいと思ふからである。夫れなら夫れは何う云ふ種類の品物かと云ふと、之れは主に新たに都市の市場に現はれた品物であつて、或は研究しての結果農家へ推奨すれば確かに爲めになると云ふ様な品物を指すのであるが、態々云ふ種類の商品取次は一ヶ月需要の僞、又一は奥地商店へ發品の爲めにもなるであるから、本社の如き二十年以上の信用と地盤とを持つものには相應はしい仕事だと思ふからなのだ。

然し如何に新聞社だと云つても、前記の代理部時代のやうに損をするのであつては行りたくも、行り切れないのであるから、同胞各位が本社の商事部を利用して頂く場合、絶對に損　掛けない事として御注文の節必ず廣告に基き前金を送つて貰はねばならないのだ。さうすれば本社商事部は必ず責任を以て優良品を廉價で仕入れて、迅速に發送するに勉めて參ひするとが出來るのである。

無論地方到る處に有る品物は、最寄り商店から買求めらるるが御利益であらう。が、併し同じ商標の品物でも一等品と二等品とが有つて一目區別かざる物多有るから怠り云ふ場合は時に異つた所から買つて使用して、比較して見るのも眞ら悪い事ではないと思ふのだ。就中、種物とか苗木とか云ふものは取扱ふ商店に就て吟味する必要が有るものなるが故、需要者は謙め注意して、自己の信じ得る場所から手に入れらるるが可しとする。

それから又、お互ひに注意せねばならぬ事は、プラヅルに住するの永くなれば成るほど地盤を强固にして生活を安定せしめねばならぬのだ。誰れもが渡來した當座は先きを急いで無理に無理を重ね勝ちであるが、足一度び外國の土を踏んだ以上は、容易に動き能はざる運命を荷へるとを自覺し、一も經濟二も經濟、生活は經濟を離れて存在せずと堅く決心を定め、其の經濟も現實に即した經濟を確かり攝んで、必ず適利を生み得る様且つ貯蓄し得る様事業の經營法を組織附けねばならない。

日本人のお互ひは、どう云ふものか事業を經營するのに非打算的である。例へば珈琲園を經營するにも精作農場を經營するにも、其の經營法は杜撰で、現金を出す分だけは支出として帳面には記すが、自分や家族の働き手間なぞテンで勘定に入れないから、勘定が合つても現金が足らないのだし、事業の成算なぞが立ちつこがないのだ事業は、工業にしても、商業にしても確定の立て得ない行り方では謂ゆる暗中摸索で安心の出來るものではない。であるから邦人大多數の農業家は、珈琲でも、棉でも、米でも、馬鈴薯でも、野菜でも、養蠶でも、牧畜でも、之を一つの事業として經營する場合は機算有るものを作り、地代は何程、勞力は何程、肥料或は飼料は何程、運搬費は何程固定資本の利子は何程、雜費は何程と明細に數字に表はし、是れより生まれる收入と差引何程利潤が見がるかを明瞭にして掛からねば組織立つたものとは云ひ得ない。殊に經常費に於ては、糸と一卷、紙一枚でも綿密に計算して冗費を省くんでなくては容易に利潤を生み得るものでないから、原則としては節約が最も事業經營には必要なことである。殊に一家の生活としては、衣食住は衛生に適合せる設備方法が必要ではあるが、是れとて必ずしも高價の物其れに適すると云ふ譯でなく、安價でも、粗末でも科學的に見て衛生保健に宜いと云ふなら其れを採り用ゆるが賢明だと云ればならぬが故、此の點に於ても本社の商事部が最大の努力を拂ひ一般同胞に紹介の勞を取る處に存在價値があり、歡迎せらるる理由があると云ひ得る。

一體商品の價ひが高いとか安いとか云ふとは、商店側で定めるのではなく、買手即ち需要者側で決めるのである。經濟學上物價は需給の投合に依つて定まると云ふが如く、製造家の作つた品物が需要者が用ひこなすか否かに依つて定まるもので、商人は唯だ其の中間に立つて取次ぎするに止まるものだから、さう大して儲かる筈のものではない。但だ儲かるが如くに見ゆるとは、掛買りで賣つた品物が買手が支拂ひ不能に陷るものが相當あるので、此の辨償を正直に支拂ふ人に附課する形を採るが爲め、商人が不當利得でもするかの如く見ゆるも、其の實商店側は代金支拂不能者の出づるため非常なる困難を感じむるが常で、此處に商人の苦しみがあるのである。

故に買手が何時も現金で買つて呉れるなら商店は原價にほんの僅かな手數料を掛けて賣ればそれで可いのだ。ところが事實は夫れに反し同業者仲間では競爭をして値段を引下げるし、其れに苦しんで貸賣すると引掛けられて損をするより、地代は何程、勞力は何程、肥料或は飼料は何程、運搬

No. 1
Boletim mensal de Secção Commercial Noticias do Brasil
Caixa Postal, H

一九三八年 月一日
ブラジル時報 商事部報 第一號

▲農業藥品類

殺蟲劑

▲棉蟲クルケレ驅除劑
ベルデパリス、錦逸製…五〇キロ入…キロ七、二〇〇
アルセニアット・デ・シュンボ、日本産…五〇キロ入…キロ四、二〇〇
同　錦逸製…五〇キロ入…キロ四、二〇〇
カセエン石灰日本産…五〇キロ入…同　五、〇〇〇

▲油蟲驅除劑
硫酸ニコチン…日本産…中英斤入九、五〇〇　一英斤入一六、五〇〇
煙草エキス…一キロ入七、〇〇〇　三キロ入一八、〇〇〇
トバコン（アリス原料）…二五〇瓦　八、〇〇〇
除蟲菊粉……一英斤…一二、二〇〇
ムシコシ…日本製…キロ一〇、〇〇〇
ニコスルフエナ（ニコチン原料、錦逸製…一キロ五七、〇〇〇

▲ブロッカ蟲驅除劑
煙草粉末…五〇入袋…K、八〇〇　袋代二、〇〇〇粍算

殺菌劑

硫酸銅…錦逸製…五〇キロ入…K二、五〇〇
同　内國産　五〇キロ入　K二、二〇〇
生石灰…甘二キロ入カン…一、二〇〇
粉末ボルドー…錦逸製…K五、〇〇〇
同　内國製…K　三、〇〇〇
カスブルン・セブコ…一〇〇瓦…八、〇〇〇
カスブルンソルベル…二五〇瓦　二〇、〇〇〇

殺蟻劑液體

▲殺蟻劑液體
フォルミレード…カトロバウ……二カン入一箱一八、〇〇〇
同……アダベアー…ハピン入　一箱…四〇、〇〇〇
同……ロセテル…二カン入　一箱…一八、五〇〇
フォルミレード・ポプランコ……二百瓦罐　六〇入箱…一七五、〇〇〇
フォルミレード・モライス…一キロ入罐…一五入箱…七〇、〇〇〇

▲果樹用殺菌劑
フランボロール……一ケ入ピン…五、五〇〇

殺蟻劑倒體

▲殺蟻劑倒體
アルセニコアラン（錦逸製）
五〇キロ入　K三、一〇〇
硫黄末……同K入袋　K〇、九〇〇
フォルミレード・ラベルサル
二百瓦カン…六〇入箱一六〇、〇〇〇
骨膠細里…五キロ入…八五、〇〇〇
骨膠ソーダ…同罐……六〇、〇〇〇
フォルミレード・ポプランコ……二百瓦罐　六〇入箱…一七五、〇〇〇
フォルミレード・モライス…一キロ入罐…一五入箱…七〇、〇〇〇

▲果樹用殺菌劑
フランボロール……一ケ入ピン…五、五〇〇

▲家畜用藥劑

（資料見積別算のこと）

▲養豚の病氣豫防劑
一、豚コレラ…豫防注射液……一〇頭分…二〇、〇〇〇
一、豚丹毒…豫防注射液……五〇頭分…一五、〇〇〇
一、豚肉寄生蟲驅除……三〇回分　六〇、〇〇〇

▲畜牛用
一、幼牛炭疽病（ベステ・デ・マンクーラ）…甘頭分注射液一八、〇〇〇
一、幼牛下痢…注射液…甘頭分　一八、〇〇〇
一、皮膚に寄生するベルネ…驅除劑…ベルニオール…二五〇瓦　四、〇〇〇
クロール　K一六、〇〇〇

▲養鶏用
一、幼鶏鼠疫病…豫防藥…六〇羽分　一〇、〇〇〇
一、ロフテリア　同　五〇羽分　一〇、〇〇〇
一、鶏羽風く除藥…百瓦入　一〇、〇〇〇
同　除蟲菊末（日本製）四五〇瓦…一二、〇〇〇

▲養犬用
一、幼犬流行病（ステンバー）豫防注射液一頭分八、〇〇〇
一、狂犬病豫防注射液、毎年一回注射、一〇頭分二〇、〇〇〇

▲育馬用
一、アクアメント注射液五回分　一二、〇〇〇
一、カロチリヨ…同…二回分　三、〇〇〇

▲家畜用注射器　注射針入　箱　三五、〇〇〇

▲養鶏と附屬品

食料（エンコメンダば必）

（資料加算のこと）

▲飼料
一、肉粉五〇キロ入袋…三六、〇〇〇
一、クワカリナ　同　三三、八〇〇
一、骨粉（雞鶏用）同　三三、五〇〇
一、貝粉　同　一、五、五〇〇
一、トリヤリヨ三五キロ入　一八、五〇〇
一、フアレクシコ　同　一二、五〇〇
一、フアレロ　同　一二、〇〇〇

▲器具
一、鶏足付番號アルミニューム製輪　一ケ二百レース

▲ペトロマックス印
一、吊ランプ…百燭…一四五、〇〇〇
一、同　二百燭…一四、六〇〇
一、同　二百燭…一八五、〇〇〇
一、同　三百燭…二二五、〇〇〇
一、机上型ランプ二百燭蓬付　二四〇、〇〇〇
一、同　三百燭同　三三〇、六〇〇

▲アルコール吊ランプ
燭…八五、〇〇〇

▲農家用ポンプ類

（荷造實加算のこと鐵管價は問合を乞ふ）

一、ウヤヒー……二號…六米吸上　九五、〇〇〇
一、フオステル二四二號…同　一五〇、〇〇〇
一、同　五〇一號…二〇米吸上　一九五、〇〇〇
一、同　A四〇一號…二五米吸上　二三五、〇〇〇
一、同　四〇一號…四〇米吸上　二九五、〇〇〇
一、イネウナ二五號…五米吸上　二二〇、〇〇〇
一、同　二二號…三〇米吸上　二四〇、〇〇〇
一、同　一三一號　同　二一〇、〇〇〇

▲古箱類
一、ガソリナ空鑵二個入箱　八、五〇〇

建築用材

▲セメント　三米入袋　二、四〇〇
石灰　四キロ入袋　四、二〇〇
釘類　N.7　N.5　N.6　N.8　N.9
K　四、二〇〇　四、二〇〇　四、二〇〇　四、一〇〇　四、一〇〇
N10　K　四、二〇〇

▲ベトロマックス印
一、吊ランプ…百燭…一四五、〇〇〇
一、同　二百燭…一四、六〇〇
一、同　二百燭…一八五、〇〇〇
一、同　三百燭…二二五、〇〇〇
一、机上型ランプ二百燭蓬付　二四〇、〇〇〇
一、同　三百燭同　三三〇、六〇〇

▲アルコール吊ランプ
燭…八五、〇〇〇

▲農家用ガソリナ　ランプ

▲古箱類
一、ガソリナ空鑵二個入箱　八、五〇〇

建築用材

▲セメント　三米入袋　二、四〇〇
石灰　四キロ入袋　四、二〇〇
釘類　N.7　N.5　N.6　N.8　N.9
K　四、二〇〇　四、二〇〇　四、二〇〇　四、一〇〇　四、一〇〇
N10　K　四、二〇〇

▲ペ

眞に悦ばしい 日の出の新年

黒石南鳩

新年は新日出度うと云つても其の年々に依つて感情の上に多少の相異あることは、誰もが經驗する處であるが、今年の新年こそは、日本國民であり日本民族である限り皆な齊しく且つ一樣に、嬉しき悦ばしさに滿ちた眞に目出度い新年である

も、云ふ理由は、昨年蘆溝橋に起つた北支事變は日本が不擴大主義から出來る丈け現地で收めやうと努めたに反し、支那軍は南京政府の命のもとに不法射撃や挑戰砲撃を行なので日本も遂に之に相手にならざるを得なくなり、正當防衛上北支事變は日支事へんと早がはりしての後も皇軍の連戰連勝で支那軍全く爲す處を失ひ、今は叩頭陳謝して日本のただしい戰きを受けねばならなくなつた天意と觀ればならないからである

日本は、歐米人が自分の心を以て推し計るやうに侵略的野望などを有つ者ではなく、清く正しく生きて行かんとする處へ邪魔者が割込み、曾に隣國を潰滅せんと企つるのみならず日本の獨立までも脅かさんとするから日も已むを得ず立つので、今度の事へんも、表面は蔣介石を筆頭とする重玉砕や陳誠の如き抗日主義者の暴擧さへ見ゆるが、其の實は陰に糸を引く英やソ聯の細工であるとは餘りにも明白であるが故、日本も遂に立つて亞細亞永遠の平和樹立の爲め大鉈を振ふに至つたのである

若し歐米が治め、米に米で治め亞細亞は亞細亞で治めると云ふアングロサクソン民族の言ひ分を借りて云ふならば、何も英國人や北米人が亞細亞まで手を出すに及ばぬではないか。若しも亦既に手を伸ばしてゐるからと云ふなら、輕和に神妙にして事を荒ら立てるやうな事をしなければ可いではないか。本當から云ふならば實力が缺けたなら自から手を退いて他と問題を讓もる國際信義を守るが可いではないか

然るに英國は一歩先んじたと云ふ爲めに、世界到る處に屬領地を持ち唯だ利益を搾取するのみにて土着住民の幸福一考へずと一流ま事が起れば彈壓するの外何事も爲さぬまゝつてゐては、一體先進國の價値や榮譽に何處に在るかである。殊に最近は老衰に傾き、口だけは達者だが行ひ之にともなはずまつて國際的に見て英の存在は有害だ

も云ひ得るから、先づ一ばん遠距離の東洋から手を退くべきが常國に取り安全な方法だと我々は思ふのだ

然るに英國は之を覺らずして持つて生れた狡猾手段を弄し、ソ聯の支那赤化を見て見ぬ振りをして痛り日本のみ叩頭せんとするは、是れ餘りにも自分勝手であり大勢の動きを無視した遖方と云はねばならない。一體金權足元のロサロスバを觀るが宜い。果して歐羅巴は當日の如く向上發展の軌道に乘つて進んで居るか、若し本國が頽勢に傾き掛けてゐるとすれば、植民地や屬領地は自から獨立し絶叫するものにして、英國は此處に考への及ばざるは寧ろ不思議と云はざるを得ないのだ。

我等の敎へられた處に依れば、アジアと云ふ言葉はアシリヤ語のアスと云ふ字から出で「日の出」といふ意味であり、日本は其の昔より之を表象して日の出の國と稱し國旗に日章を用ひてゐるに反しヨーロッパは日沒といふ意味で月や星を以て表象される國柄であるから、日本は必ずや其の中に光りを放つて太陽の如く世界を照すことがあらうとは、我等の深く信じてゐた處のものなのだ。

果せるかな夫れは現實となつて表はれて來た。さ、云よのは今度の日支事へんに於ての皇軍の大活躍であり官民の一致協力であり、銃後の赤誠發揮である。是には長れ多い言ではあるが、皇室が申心とし奉つる日本でなくては見る能はざる處のものであり、天意に依つて動く者にあらざれば爲し能はざる處のものであつて、日本の今度の實力を備へての嚴起け慢かに亞細亞永遠の平和確立に一大基礎を據へたと謂ひ得るのである。

本來日本は、天意に依り世界の平和に治めんが爲の極東に出現し、二千五百年と云ふ永い間他の摩埃を潤けて修養に修養を積み、取つて學ぶべき物あれば場所を相手を撰ばず進んで之を採り、更に眼噛しで日本形に作りかへ、其の上一層の努力を以て工夫を加へ、遂に創造まで進成せしむるところに日本民族の偉大性があり、特殊の長所があるのであるから我等に此の新年に於て、日支事へんの皇軍の活躍振りが人間業で無い事に照し合せて日本民族が如何に貴大なる使命を帶から授けられてゐるかを明瞭に意識し、其の證據には、明治の初代に生た偉者の如き年輩の者絶には、日本人は歐米先進國人を崇め盲從し得られるだけで學へたものではなく若し然か學へたりし日外したりする者あるならば時大盲目崇拜者の中に加へられたものである。ところが事實は之に反して日本人は段々偉くなり、日清、日露の戰勝で世界から認められた日本は歐洲大戰に於て戰爭に强いといふ事か通り越し登明、創作の上に斷然歐米人と比肩の位置に立ち其の後さらに優秀性を認められ、次に來る世界文くわの創設者は日本であり、日本人であるまで云はれるやうになつたのである。

斯く成り來るも、日本及日本人な偉大だと云ひ優秀だと稱讃するは日本人じ身ではなくして外國人であるが故、日本及び日本人の偉さは最早や疑ふ餘地がないと云つても英支へがなく、日本人たる我々も自己の偉さを認識して可なりと私も思ふのだ。だが偉ひといひ優秀だと云つても具はつた天分其の物を認識し、さらに之が發揮に力むべ可いのであつて、決して傲慢や尊大に流れては不可である、日本は今度の日支事へんで支那軍部巨頭や政治家の誤つた抗日、侮日な膚慾して亞細亞永遠平和の基礎を作つたとしても、支那大陸から野心ある國々の勢力を全く逐し終るまでには是れまでにも增した大苦心と大困難とが有ると覺悟せねばならぬから、此の點は日本人たる者の一刻も忘れてはならぬ肝要なことだと思ふのだ。

殊にアラウルに在る我々は、歐米人系の作つた社會に介在し、共に伯國の爲めに力を盡さんとするのであるから、支那大陸で日本と列國と權力爭ひを爲す場合は、之が延ひて在伯の我々にも影響の有ると覺悟せねばならぬが、他國の嫌がる事でも正義の爲めには行つて拔けねばならぬ際には伯國に在る我々も之を忍ばねばならない之を忍んで世界の文化を進める處に日本民族の使命が在るのであるから、我々は常に萬一の場合を考慮の中に置き、如何なる事が起つてそれが影響しても之を切り開いて善處するところに深き意義ある興味とも、堂々進むべきである愈々日本の日の出が見れた。是れからは進むの一途だ。英や、佛やソ聯から邪魔されても日本はもう困らない。今度の事へんで全く境地が開けた。今日はそして其の「日の出」の新年だ。目出度いと限りなしである。

謹賀 正一月一日

カーザ・パラトードス
青木清美
マリリア市

謹賀新年
昭和十三年一月一日
マリリア青年會

謹賀新年
昭和十三年一月一日
内外、小兒科
産、婦人科
ドットル パウロ・スチツペ
坂根駿三
マリリア市サン・ルイス街三七
電話 二五一

謹賀新年
昭和十三年一月元旦
三好高等洋服店
店主 三好政市
マリリア市
ブルデンテ・デ・モラエス街一四



謹賀新年
昭和十三年一月一日
日本藥店
マリリア市サンルイス街
電話 一二七



小出雄　紫垣春　虎雄

祝祖國大戰捷新年

ブラジル移民史茲に三十年
燦として輝く同胞正に二十萬よくも開きし百萬町歩
平和戰士の使命亦偉なるかな
此時祖國大非常時に直面赤子の奉公今日の日を於て他になからん
物質の御奉公もとより ながら牢面無援孤立の肉彈鶯闘し立つか倒るゝか
死して何等の祭祀なき平和戰士が築きし不滅の偉業！
此の實れを永久ならしめんと
前後十余年全家擧れて後止むの一大決行に依り作れる
ブラジル情景大寫眞帳（美麗箱入改裝金八拾銭）
遂に天覽の光榮に浴す
余りにも勿體なく感泣の外なし此れ全く各位の奮闘狀況躍如たればなり、今や祖國八百ケ町村に配本され其の一冊が其一ケ村千ケ族を驚喜し海外をあこがれつゝありと、特に海外在住者が有する責務の一端海外雄飛宣傳こそ大非常時祖國へ報恩の多少ともされませう、此の惠まれし天地に活躍の各位希くば御出身地學校役場へ御寄贈海外雄飛を御勸め下さい
昭和十三年一月元旦
マリリア市ポンフイン街一二〇 中山夢浪 謹白
聖市特約販賣所 豐吉商店
乞既成品多數即刻御申聞
附記 類似寫眞アルバム壹約中と聞く誠に遺憾なり年併價百五十金と云ふ初めて之れまでの犧牲的廉賣が立證されし事御認り下さい

謹賀新年
昭和十三年元旦
マリリア市

珈琲、棉花、雜穀、仲買
內外雜貨卸小賣
カーザ東山代理店
沖商會
マリリア市アベニーダ・サンバイオ
デ・ピダール街
郵函 四九
電話 六八

內外雜貨、卸小賣、其他各種
マリリア市サンルイス街
郵函 E
電話 二八四
菅山商店

雜貨、小間物、金物
日本品各種
マリリア市コロネール・ガルデーノ街
郵函 二五九
阿鷹商店

雜貨、日本品各種
マリリア市サンルイス街九一
伊原商店

內外雜貨商
マリリア市ノーベ・デ・ジユーリヨ街
苅田商店

內外雜貨
マリリア市コロネール・ガルデーノ街
松本商店

雜貨部、呉服部、中將湯、日本品各種
カーザ セギ
岡本春一商店
マリリア市サンルイス街
電話 一四五
郵函 九三

文藝

糠雨降る夜
——若き日の手紙——

谷信一郎

愛する黛弓さま

聖市　今日小雨が降つてゐます。往來では子供が凧を揚げてゐやいでゐます。街の女房さんたちは小兒を抱いて窓にゐて走る雨脚をにら〳〵と眺めてゐます。家の中は雨の日らしく森閑として居ります。私の部屋の窓邊に寄つた安樂椅子の中に蹲つてゐるのです。貴女からの懐しい手紙は今日着きました。それは今日のやうな日に讀むのに本當に相應はしかつた私は心しみじみと紅茶を啜りつゝいまペンを執つてゐます。思ひ出は限りなう、あのホーソンのた伽噺に出て來る糸車のやうに細々と果しなく愛ほしくつむぎ出されて來ます。さうしてあの夜！はたゞ胸に來るあの夜の思ひ出に來ると、私の魂は七色に碎けて七色のゆめに散つてゆくのです。

月夜の夜、牛日の散歩に疲れて歸る夜、曠原かゆく田舍道を夕方近く露草にぬれ乍ら俯向きがちにあるいたその記憶を思ひ出すとき泣き度いやうな懐しい思慕に驅られてゐます貴女はどう？　あの夜みやこに近づくに從つて大都の灯の露のかげから眺めた時思はず二人に溜息をつきましたつけ。あ！ここの霧のみやこ……インダストリアリズムの生活と未來派の音樂、生命派の哲學と流動論の人生觀……腦み腕を抑へてその中に二人は何を讀へ何か願望して生きて行くのか私達はそつと窓邊のクッションに身を凭せかけて強い握手をしましたね私はそれを忘れません。猶まだ忘れ得ないのはあのM驛で聞いた雨の音の淋しさ、森閑とした夜汽車の中で屋根と窓とを打つ大雨の物かしい音、私はちつと眼をつむり、耳を澄ましてその雨の音に聽き惚れてゐました。

淋しい不安なけれども樂しいやうな靜かな音、その中にはるかに聞き分け得られる貴女の深い微かな吐息、濡れたプラットフォームを行き交ふ驛夫の跫音、五分停車の淋しい心も未だに忘れません。

私はれ。或るフランスの小説の中で二人のこひ人が雨の音に聞き惚れてゐる優しい姿を思ひ浮べました。

今日のやうに小雨降る日を聖市で斯うして獨りで淋しく遙かに過去を偲び乍ら記憶の跡を追つてゆきます心は何時しかしめやかに濡れて行きます。

貴女も私も、もつとくいま以上苦しみに絞られ、淋しさに打たれればならないでせう。けれども強靭な最後の完成を信じて二人は心で呼び交し合ひ、慰め合ひ勇氣つけ合つてぢり〳〵と進み詰めませう。

私は何時までも小池のほとりに佇んで居りました。何時しかゆめのやうな匂ほやかな夕月が靜々と博物館の影繪のやうに浮ばせ乍ら下界にあらはれ出て來ました。池の面は細い銀粉を撒いたやうに夜霧がひろがつてゐました。

貴女と二人だつたらどんなによかつたでせう。

——お父さまに母さまには長い手紙を差上げておきました。ハラクーチュのとやそちらへ何ふことや、その他種々用事についてたの交渉を通して偉大な生命の智慧を知り出して來たやうです。

顧はくばもつと愛し闘へ、淋しがり苦しんでゆけるやうに、愛は辯い裏腸を重れて長い忍苦の後に始めてその神々しい、にこやかな本姿を顯はすものです。

眞弓さま

貴女も私も、もつとくいま以上苦しみに絞られ、淋しさに打たれればならないでせう。けれども強靭な最後の完成を信じて二人は心で呼び交し合ひ、慰め合ひ勇氣つけ合つてぢり〳〵と進み詰めませう。

私は何時までも小池のほとりに佇んで居りました。何時しかゆめのやうな匂ほやかな夕月が靜々と博物館の影繪のやうに浮ばせ乍ら下界にあらはれ出て來ました。池の面は細い銀粉を撒いたやうに夜霧がひろがつてゐました。

貴女と二人だつたらどんなによかつたでせう。

——お父さまに母さまには長い手紙を差上げておきました。ハラクーチュのとやそちらへ何ふことや、その他種々用事についてたの交渉を通して偉大な生命の智慧を知り出して來たやうです。

顧はくばもつと愛し闘へ、淋しがり苦しんでゆけるやうに、愛は辯い裏腸を重れて長い忍苦の後に始めてその神々しい、にこやかな本姿を顯はすものです。

眞弓さま

貴女も私も、もつとくいま以上苦しみに絞られ、淋しさに打たれればならないでせう。けれども強靭な最後の完成を信じて二人は心で呼び交し合ひ、慰め合ひ勇氣つけ合つてぢり〳〵と進み詰めませう。

私は何時までも小池のほとりに佇んで居りました。何時しかゆめのやうな匂ほやかな夕月が靜々と博物館の影繪のやうに浮ばせ乍ら下界にあらはれ出て來ました。池の面は細い銀粉を撒いたやうに夜霧がひろがつてゐました。

貴女と二人だつたらどんなによかつたでせう。

——お父さまに母さまには長い手紙を差上げておきました。ハラクーチュのとやそちらへ何ふことや、その他種々用事についてたの交渉を通して偉大な生命の智慧を知り出して來たやうです。

顧はくばもつと愛し闘へ、淋しがり苦しんでゆけるやうに、愛は辯い裏腸を重れて長い忍苦の後に始めてその神々しい、にこやかな本姿を顯はすものです。

眞弓さま

貴女も私も、もつとくいま以上苦しみに絞られ、淋しさに打たれればならないでせう。けれども強靭な最後の完成を信じて二人は心で呼び交し合ひ、慰め合ひ勇氣つけ合つてぢり〳〵と進み詰めませう。

私は何時までも小池のほとりに佇んで居りました。何時しかゆめのやうな匂ほやかな夕月が靜々と博物館の影繪のやうに浮ばせ乍ら下界にあらはれ出て來ました。池の面は細い銀粉を撒いたやうに夜霧がひろがつてゐました。

貴女と二人だつたらどんなによかつたでせう。

——お父さまに母さまには長い手紙を差上げておきました。ハラクーチュのとやそちらへ何ふことや、その他種々用事についてた

日本のあけぼの

室生犀星

非常時　日本のあけぼの
非常時　日本の梅の花

日本の顔を見よ
日本の美しい顔を見よ
日本は深窓の處女のやうに嬪やかで
日本は劍の上でよく睡り
日本は何時でも戰へる
日はいつまでも張り切り
そして日よ　いつまでも君は優しい

非常時　日本のあけぼの
非常時　日本の梅の花

眞弓さま

私は一昨日もひとりでイヒランガの小池の噴水のほとりに立つて散歩をしました。

橋にもたれて果しない蒼空をあふいだ時は遙々とした心が胸にひろがつてその底には一抹の悲しみが淡く插曳してゐました。

人生は何故斯うも短く亂れんつれて愛苦が多いのか、天地悠久の心を抱いてどんな悲しみにも苦しみにも暗々とした心で接して行ける人達がなつかしく思ひ慕ひました。けれども澄んだり、亂れたりするのが人間の心の本性ですもの、その儘流れ動いて變つてゆけばいゝ、私は心に澄ます念を凝らして冷固してゐるやうな「靜淨」は嫌です」そんなものは小乘です私はいま自分の愛、貴女との魂くまん申上げました。これから眞面目くさつて教育にでも從事するかと思ふとなんだか面白くありません。けれども私たちのやうな仕事は結局そんなとをするより外に仕方がありません。

貴女が再び來られましたら二人で小さな家庭を作つて靜かな離れた生涯を送りませうれ。小さくてそして明るい家「顧はくば世と相遠れ、避を斷たれ！かの天命を信じて復何なか疑はん！」……あの東洋の靜かな隱遁者が洩らした尊い言葉はいまでも擾亂に疲れた私の心を涼しく滑らかにしてくれますれば眞弓さま……私は二人のハイラーチュが幸福なものか不幸なものか何つちか知らない。私たちは自分の愛[illegible]然な成果の結果として結婚[illegible]にはゐられないので

詩壇

蒼き一日

トーマス・ゴーレイル

斯くて莊に空は明けぬ
また蒼き一日
ねもひ君　それを
あだに逃げ去らしむるや
永遠より此の新なる日は生れ來ぬ
永遠に今夜歸らんとす

さきにこれを見ることは
目のよくする所ならざりき
斯くて莊に空は明けぬ
また蒼き一日
ねもひ君それを
あだに逃げ去らしむるつ

或日の斷片

横地季子

初夏には參らしい不氣味な寒さをみじま
こうした感情に支配される時はやはり祈ればならぬと思ふのだが……

「心」

天津夢城

けなされればいぢつになり
讃ねられば傲らうとし
やさしくされば泣きたくなり
褒められれば不真々々しく坐り込む
戀に惡るしく世の女はすべて厭はしき云ひ乍ら、胸にはあこがれの女性を畫き熱い涙をそゝがうとする心

△

此の化物のやうな心の正體は例へば昔正しい六角形に結晶して居た水晶を齡々に打ち碎き、黑い粘土で握り固めたやうなものが知ら……

△

私は近くの泥沼にその化物を叩き込みどこかの川底を漁りながらあのつぶやかな白い小石のやうな心を探がさうとする

△

そして赤や青色の雜魚や、小蟹や、ゐ玉灼子の泳いで居る谷峽のせつらぎにしみじみと浸りたい無造作に轉つて居[illegible]のだ

流星

さだほ

流星はまた光ることなし
人生斯くの如きか
戀も愛もかたふに
空を流れゆく　星の如し
今皆淋しく丘に立ちて
流れて消ゆる星しみ顧ふ

別れ

花は咲きて
小鳥さへづり
青葉茂りて
人は笑ひど
今日と云ふ日の
何故かうゐ悲し
はるか去りゆく
君を慕ひて
獨り佗しく
重く冷たい
胸を抱いて
春の夕べを
あてなく彷徨ふ

日曜の朝餉

子は先づ手を打つて喜んだあゝ！　此の卵圓形の飯の粒・粒飯が得るためにどれ程の人が苦しみ自殺となり、他殺となり、革命となり戰禍となつたのであらうか私はもう皿を供へる氣にはなれなかつた

今日一日の束縛から許されて私は湯のぬくみを樂しんだうすれた視野の果には　ほれつるべの陰影が山々の起伏に重なつて浮んだ

短歌

『涙の後に』

葛西妙子

人の世のにがき盃くみほして
涙の中のほほ笑み知りぬ

素燒なる瓶なみぢんに碎きたる其のかけらにも似し我心かな

人の世の運命の前に杖さりて鈴鳴らしゆく運路にも似て

靜心持ちつゝあらなぬかづきてほほ笑みに生くるはいとも貴し

澄みて深き心慕はし古の聖の教身にしみて思ほゆ

乏しかる生活にありて健かに子等育てゆくみたのしと思はな

血と燃えて鷄頭の花咲きにけり西陽あかるき山家の庭べ

わくら葉の多き桑ゆゐ心せし夏蠶漸く四眠に入りぬ

四眼よりさめし蠶の動きそめて給桑の灯はあかるくゆる

叔母逝きて二年過ぎぬうから等の詣の支度間に見て居り

留守居なる心安さは短夜の目覺しさめて又嘆するなり

天津夢城

渡草

雜詠

我が言葉又も强かり心なき妻からわれは淋しかりけり

打ちとけて語らで經たれ十ケ年共に生き來しことはかりそめならず

許しがたき愚ひ心にひたわけど肉親の情があはれまれける（弟に）

ひた思ふ心にのづさほりけむ同わ住む子のゆの昨夜も見にけり

廣瀨富夫

發毋ら妹もいで來の今日ぬちに楠まき終へて心安けしまき終へて草取りおり間引ありて忙しさも樂しみにけり

謹賀新年
昭和十三年一月一日
バール　林商店
バール、ソルベタリヤ　太郎良正
菓子製造業　田中商店
靴製造業　田中商店
洋服仕立業　高口商店
內外雜貨商　瀧內商店
內外雜貨商　村上商店
ホテル・バール　野村商店
運送業　野田商會
菓子製造業　福田商店
木炭製造業　興產社
ファルマシヤ　岸田藥局
（イロハ順）

謹賀新年
昭和十三年一月一日
御旅館バール　出垣卯太郎
マリア市サンルイス街九四
電話　一三七

謹賀新年
昭和十三年一月一日
農產物仲買　河野兄弟商會
マリア市コロネール・ガルデーノ街三

謹賀新年
昭和十三年一月一日
清水榮介
延長線マリア市　澤尾旅館內

賀正
一月一日
內外雜貨商　カーザ・コスモス
藤社文一
パウルー市ツーピ街七一六四

賀正
一月一日
御料理　喜樂亭
マリア市カンポス・サーレス街
電話　二九七

組合精神訓練にもつと力を傾注せよ

安土黎

伯國に於ける邦人の産業組合運動も漸く十年にならうとしてゐる一九二七年初めてコチア産業組合が設立されて以來、特にここ數年間には數多の組合が各地に設立せられてその活動は眞に顯著なるものがあり、各組合共に多大の事業成績を擧げ資力を持ち急テンポの發展を遂げて、在伯邦人經濟界、特に農村經濟界に於ける重要なる役割を演ずるに至つた。

現在にいたては最早や産業組合を切り離して農村經濟を語り、農民の生活改善、經濟的地位向上を考へるとは出來得ないと云ふも、あながち過言ではあるまい。それほど重要な役割を持ち、●多量な仕事をして居りながら、どこの組合でもその經營には當事者が相當頭を惱して居る。どこの組合でも經營がなか〳〵上手に行かない。何故だらう？　私はこの點を少し考へて見たいと思ふ。

在伯邦人組合の沿革

組合の經營の問題に入る前に先づ當國に於ける我々邦人組合の運動を歷史的に見てみよう。

當伯國における邦人組合の初めて設立されたのは一九二七年コチア産業組合が、コチアを中心とするバタタ生産者の間に依つて組織されたものであつて、翌廿八年にはイグアッペ濱栗植民地のレヂストロ、柱、セツテ・バラスの三組合が設立せられ、更に廿九年から卅一年に掛けてエルヴィーノ、イガラパーバ、平野、ブロミッソン等の組合の設立を見た。

此等の內には自然發生的に農業者自身の必要から組合員の自覺によつて組織されたものもあるが、その大部分が官憲のせう遽に依つて結成されたか、或は補助金を一つの機會として組合組成を容易ならしめて組成されたものが多い。

（此の補助金の利害に關しては別の機會に述べるとして、此度では唯港國政府の補助金が如何に効果的に組合設立に重要な役割を演じたかをこゝふたゞけにとゞめる）

現に角漸く農村　產業組合組織の氣運が動いて來た時に、この補助金といふ投げ石は大きな波紋となつて組合結成の氣運をいよ〳〵濃厚にして、その設立を早め且つ容易ならしめたるものである。

そこで、この場合比較的新らしい運動に屬するものでもりさらに重大な問題として自發農業者仲間からよき指導者を得るといふが困難であり點からは短年月の間に異足の進展を遂げ業績實に著しいものがあつて誠に喜ばしい事ではあるが、その內面的、實的の發展に就てはまだ〳〵研究すべき改善すべき多くのものが殘して居ると思はれる。

この方面に對しては未だ殆んど手が着けられてゐない。經濟方面の仕事ばかりが先走りして、組合員の精しん方面の指導とか訓練とか云ふ方は取り殘されてゐる。之は勿論行政的の進歩であつて、正常なる產業組合運動の發展とは云ひ得ない。

もつとも之は組合が立當初には先づその經濟的基實、強化に奔命してゐて、その方にばかり力を注いで居た爲め、この精しん指導の方面までは手がとゞかず、その餘裕がなかつたとも見るべきであらうが併し產業組合はどこまでも「人の和」を基としての經濟團體であるから、その運動に對しても精しん訓練を怠却するわけにはいかない。此點現在各組合當事者が組合の經濟方面の發展にばかり力を注いでゐて精しん方面のとを忘却してすぎてゐるうらみがありやしないか。

一體自分達が組合を設立し、その組合員として加入する以上組合は自分達の代行機關であり、自分達の店なのだから、組合員がこれを利用し、これを支持して行くべきは當然の事である。處が何處の組合でも、その點が理論通り行つてない。即ち利用しない組合員があつたり、拔實りがあつたりして、その經營をまかされてゐる當事者は何時も、その事に惱まされてゐる。

自分達の組合を自分達が利用するとは當然の事で、どんな組合員だつて知つてゐる。

併し長い間の因習と云ふものは、なか〳〵理論だけでは拔け切れわもので、之が自分達の店であり、自分達の代行機關であると解つて居りながらも、又自分はその組織の一員であるとを知つて居りながら、いざ組合から物を買ひ、農產物を賣ると云ふ場合になると昔ながらの商人相手に客嗇根性が出て、自分達自身の機關を利用するのだといふ觀念なんか何處かへ行つて了つて、高いの安いのと云ひ出して、はては商人の率劒等に乘ぜられて、何時か自分達で作つた自分達の機關を利用するとも忘れてゐる。

だから組合の總會などで、組合員は必ず組合から物を買ひ、生產物は必ず組合を通して販賣するやうに勵すると、今さらの樣に驚いてそんな義務は眞はぬとか、東縛だとか云つて騷ぎ立てる人達があるのだが大抵そんな決議をなすまでもなく組合員が自分達　組合を絕對的に利用するのは元來當然な話で、それは義務ではなくて、組合員が組合を利用し得る權利である。

何度も繰返して云ふ樣だが、じぶ達の爲めに作つた組合であつて、じぶ達のインテレッサで作つた組合である以上、それをじぶ達が絕對利用しないで、どうなるもんかといふ樣な組合に於てもその組合員の絕對利用と云ふものでこれも離れて組合の經營はなく又その意義はあり得ない。

こうした當然の理論の下で、組合は何故經營に骨が折れ、當事者は何時も惱まされるか？

私は前項に於て邦人組合の設立經路を書き最初から組合に對する充分なる理解を持たず組合員としての自覺なしに他動的に加盟して來てゐる組合員の多いとをなかつた、更に本項にいてそれ等の組合員の其後特別に組合的訓練、敎化、精しん指導を受けてゐないとを指示した、それ等の組合員は組合と取引に於てのみ値か組合の妥を見るばかりで、それでは謬見もあり、所謂認識不足が多くて組合の經營が上手に行かないのも當り前で、それらの人々に頭ごなしに組合絕對利用等云つて見てもチツタク來ないのは當然ちやないかと知ら、そこで私は組合員の組合に對する理解が根本の問題で組合員に對する絕えざる指導と訓練が必要であると高唱するものである

「小さい力も合せて大きな働きを爲す」

產業組合の生命が組合員の協力にある以上、組合員が良く組合を理解して御互ひに力を合せて來るのでなければ何も出來やしない、組合の經濟的强化、充實こそ大切な事ではあるが（經濟機關であるから）その方にばかり奔命して、まだ大事な根本問題である組合員の精しん的訓練を充分しては（人的團體であるから）それが如何に多大の事業分量を持ち經濟的發展をとげたとしてもその發展は前述の缺陷的で眞の組合正常の發展ではなく强國なものとはなり得ない

かくして私は組合關係者に對し組合員の指導訓練にもつと力を注いで頂きたい、この方面の事にもつと大きな關心を持つて頂きたいと切望する次第である

特に指導的立場にある官邊の人々の御關心と助力を願ひたい、之實際問題として指導敎育宣傳等は相當多額の要するものでもりさらに重大な問題として自發農業者仲間からよき指導者を得るといふが困難であり點からは短年月の間に異足の進展を遂げ業績實に著しいものがあつて誠に喜ばしい事ではあるが、その內面的、實的の發展に就てはまだ〳〵研究すべき改善すべき多くのものが殘して居ると思はれる。

この方面に對しては未だ殆んど手が着けられてゐない。經濟方面の仕事ばかりが先走りして、組合員の精しん方面の指導とか訓練とか云ふ方は取り殘されてゐる。之は勿論行政的の進歩であつて、正常なる產業組合運動の發展とは云ひ得ない。

もつとも之は組合が立當初には先づその經濟的基實、強化に奔命してゐて、その方にばかり力を注いで居た爲め、この精しん指導の方面までは手がとゞかず、その餘裕がなかつたとも見るべきであらうが併し產業組合はどこまでも「人の和」を基としての經濟團體であるから、その運動に對しても精しん訓練を怠却するわけにはいかない。此點現在各組合當事者が組合の經濟方面の發展にばかり力を注いでゐて精しん方面のとを忘却してすぎてゐるうらみがありやしないか。

一體自分達が組合を設立し、その組合員として加入する以上組合は自分達の代行機關であり、自分達の店なのだから、組合員がこれを利用し、これを支持して行くべきは當然の事である。處が何處の組合でも、その點が理論通り行つてない。即ち利用しない組合員があつたり、拔實りがあつたりして、その經營をまかされてゐる當事者は何時も、その事に惱まされてゐる。

自分達の組合を自分達が利用するとは當然の事で、どんな組合員だつて知つてゐる。

併し長い間の因習と云ふものは、なか〳〵理論だけでは拔け切れわもので、之が自分達の店であり、自分達の代行機關であると解つて居りながらも、又自分はその組織の一員であるとを知つて居りながら、いざ組合から物を買ひ、農產物を賣ると云ふ場合になると昔ながらの商人相手に客嗇根性が出て、自分達自身の機關を利用するのだといふ觀念なんか何處かへ行つて了つて、高いの安いのと云ひ出して、はては商人の率劒等に乘ぜられて、何時か自分達で作つた自分達の機關を利用するとも忘れてゐる。

だから組合の總會などで、組合員は必ず組合から物を買ひ、生產物は必ず組合を通して販賣するやうに勵すると、今さらの樣に驚いてそんな義務は眞はぬとか、東縛だとか云つて騷ぎ立てる人達があるのだが大抵そんな決議をなすまでもなく組合員が自分達　組合を絕對的に利用するのは元來當然な話で、それは義務ではなくて、組合員が組合を利用し得る權利である。

何度も繰返して云ふ樣だが、じぶ達の爲めに作つた組合であつて、じぶ達のインテレッサで作つた組合である以上、それをじぶ分達が絕對利用しないで、どうなるもんかといふ樣な組合に於てもその組合員の絕對利用と云ふものでこれも離れて組合の經營はなく又その意義はあり得ない。

こうした當然の理論の下で、組合は何故經營に骨が折れ、當事者は何時も惱まされるか？

私は前項に於て邦人組合の設立經路を書き最初から組合に對する充分なる理解を持たず組合員としての自覺なしに他動的に加盟して來てゐる組合員の多いとをなかつた、更に本項にいてそれ等の組合員の其後特別に組合的訓練、敎化、精しん指導を受けてゐないとを指示した、それ等の組合員は組合と取引に於てのみ値か組合の妥を見るばかりで、それでは謬見もあり、所謂認識不足が多くて組合の經營が上手に行かないのも當り前で、それらの人々に頭ごなしに組合絕對利用等云つて見てもチツタク來ないのは當然ちやないかと知ら、そこで私は組合員の組合に對する理解が根本の問題で組合員に對する絕えざる指導と訓練が必要であると高唱するものである

「小さい力も合せて大きな働きを爲す」

產業組合の生命が組合員の協力にある以上、組合員が良く組合を理解して御互ひに力を合せて來るのでなければ何も出來やしない、組合の經濟的强化、充實こそ大切な事ではあるが（經濟機關であるから）その方にばかり奔命して、まだ大事な根本問題である組合員の精しん的訓練を充分しては（人的團體であるから）それが如何に多大の事業分量を持ち經濟的發展をとげたとしてもその發展は前述の缺陷的で眞の組合正常の發展ではなく强國なものとはなり得ない

かくして私は組合關係者に對し組合員の指導訓練にもつと力を注いで頂きたい、この方面の事にもつと大きな關心を持つて頂きたいと切望する次第である

特に指導的立場にある官邊の人々の御關心と助力を願ひたい、之實際問題として指導敎育宣傳等

組合員の指導訓練と普及

邦人組合はその事業の總にいて

大學敎授

大學敎授、週末旅行へ出かけて行くからと驛へ駈けつける途中で突然立止つて

「しまつた、僕は時計を忘れて來た、大失策だ」が洋服を撫で廻した揚句、チヨツキのポケットに例の時計を發見して

「アラバー、未だ九時十五分だ時計を取りに行つても充分間に合ふぞツ」

成程、妙？

マヽは一心不亂に小說を讀んでゐるお午頃になつた

「奧樣、お晝さんは未だにやすみになつて居ますんですよ」

「まあ、病氣なんだらう」

と彼女夢中で本をはなさない、そこへ一人の男が訪問して來たので女中氏醫者だと思つて嬢の部屋へ案內した、しばらくあつて、

「まあ、お母さん！　御自分のポンまでぬいだりして、此のお醫者樣嫌よ」

テヘッ!!

アパートのベツトから薄い壁を通して、幼稚子は友人の親子に聲をかける

「お歸りになつて？十二時よ、モウ」

「ねゝあたしよ」

「お一人」「いゝわ」「ザア又來てよ」

「お一人と御一緒」「いゝわ」「アラ、ドナタ」「知らない人なのよ」

謹賀新年

一月一日

婦人服、子供服
カミーザ調製
杉本美津香

便利部
同法雄

ブロミッソン町

謹賀新年

昭和十三年一月一日

カンポ・グランデ
產業組合

マ州カンポ・グランデ市

謹賀新年

昭和十三年一月一日

園田一郎

マ州カンポ・グランデ市

謹賀新年

昭和十三年一月一日

珈琲精米工場
ピンガ釀造工場並農園

仲尾權四郎

マ州カンポ・グランデ市

謹賀新年

昭和十三年一月一日

オリエンテ・スタヂオ

片山寫眞館
片山日吉

マ州カンポ・グランデ市

謹賀新年

昭和十三年一月一日

Casa Japoneza
Est. Miranda
Estado de Matto Grosso

增田商店
增田廣吉

マ州ミランダ驛

謹賀新年

昭和十三年一月一日

ピンガ釀造組合

マ州カンポ・グランデ市
ゼネラール・メーロ街

HOTEL ESTAÇÃO

Campo Grande

謹賀新年

昭和十三年一月一日

ホテル・エスタソン
宮平市榮

マ州カンポ・グランデ市

謹賀新年

昭和十三年一月一日

片山秋之助
カフエランジヤ驛
サンタ・リツタ植民地

謹賀新年

昭和十三年一月一日

珈琲精米工場
並仲買商

小野原定七

ピリグイ驛ニツポランジヤ町

謹賀新年

昭和十三年一月一日

內外雜貨
石油ガソリン補給所
カーザ・ジヤポネーザ

平野八十一

バ線カプラリア驛
バンデイランテス町

謹賀新年

昭和十三年一月元旦

◆一般農家で評判

眞の切味は使用後刈上げた能率に依て現れる
さすが宗貞は多年の經驗だ切れる及物を作る



宗貞

刈入には是非これを

郵函二〇三　リンス市
藤原宗貞

謹賀新年
昭和十三年一月一日
小間物、化粧品
カーザ・カンノ
管野匡雄
マリリア市
コロネール・ガルヂーノ街十三

謹賀新年
昭和十三年一月一日
農産物仲買
内外雜貨
カーザ・オデオン
松谷商店
ポンペイア驛 郵函九二四
ノーボ・クラビンニョ町

謹賀新年
昭和十三年一月一日
岡山縣人
烏城會
マリリア市

謹賀新年
昭和十三年一月一日
サンタ・テレヂンニャ藥店
三登行徳
アントニオ レーメ
マリリア市サンルイス街七九一B
電話三八

謹賀新年
昭和十三年一月一日
バール・カンバラ
神原政太郎
マリリア市 驛前

謹賀新年
昭和十三年一月一日
普通科 六ケ月、速成科 三ケ月
本科 一ケ年、特別科 十ケ月
（但し入學隨意）
公認 マリリア裁縫女學校
マリリア市
キンゼ・デ・ノーベンブロ街十二
規則書進呈
新學期ハ一月七日ヨリ開始ス

謹賀新年
昭和十三年一月一日
マリリア日伯小學校父兄會
マリリア中央日本人會

謹賀新年
昭和十三年一月一日
金物、陶器、農具、農藥品
カーザ・アマゾーナス
山下金物店
マリリア市サンルイス街
電話八二 郵函二七八

謹賀新年
昭和十三年一月一日
私立 公認 昭英塾
寄宿舍光風寮
初等科
中學部 商科
裁縫科
家政科
マリリア市
郵函二〇六
電話二二五

謹賀新年
昭和十三年一月一日
農產物仲買業
松永兄弟商會
松永幸吉
松永綱吉
マリリア市コロネール・ガルヂーノ街十三
電話二二二

謹賀新年
昭和十三年一月一日
時計、蓄音器其他
機械類一切修繕
渡工作所
渡昇
マリリア市
青年會郵便物取扱所前

謹賀新年
昭和十三年一月一日
調劑正確
親切第一主義
パウリスタ藥局
ピラシカーバ藥學專門學校出身 藥學士
中村進
藤井正男
ジオン ナツシメント
エルメ ピソツト
マリリア市サンルイス街七五B
電話三一五

謹賀新年
昭和十三年一月一日
オフイシーナ角田
マリリア市
ポスト・スタンダールド隣

謹賀新年
昭和十三年一月一日
農產物仲買
精米工場
小川精米所
マリリア市 郵函二七八
電話一五六

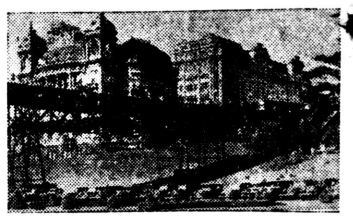
謹賀新年
昭和十三年一月一日
HOTEL PROGRESSO
—BAURÚ—
澤尾旅館
澤尾磯七
バウル驛前
電話一三五 郵函六八

謹賀新年
昭和十三年一月一日
HOTEL ESTAÇÃO
—MARILIA—
澤尾旅館
澤尾啓三
マリリア驛前
電話一八 郵函一一二—A

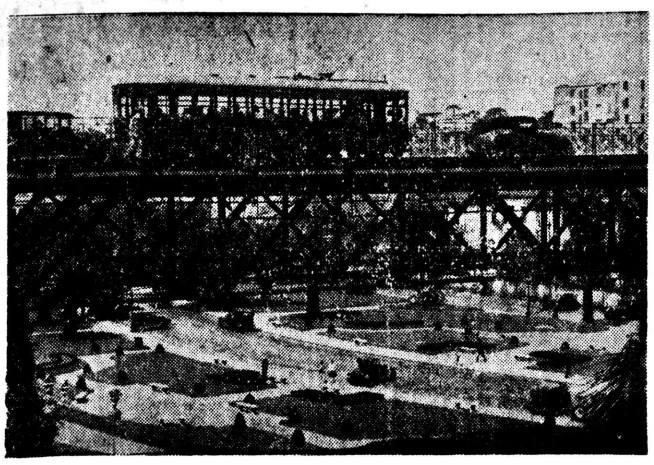
謹賀新年
昭和十三年一月一日
山本商店
山本重次郎
山本賢司
村松忠雄
外從業員一同
農產物仲買
並運搬業
內外雜貨商
マリリア驛與農園市街地

謹賀新年
昭和十三年一月一日
サンタ・カロリーナ
藥店
パチスタ・エ・ソーザ
日本人部
橋本藤雄
マリリア市
アベニーダ・サンバイオ・
ヴイダール街一〇七

聖市名所 お茶水橋



百二十萬の人口を擁するブラジル第一の工業都市サンパウロ市の心臓部に當るパトリアルカ廣場とアニャンガバウ公園の谷間を隔てた對岸の市立劇場前の廣場とを結ぶ「橋」は今日廣く聖市の名所の一つに數へられ、サンパウロの想ひ出として珈琲園の寫眞と共にアルバムの一頁を飾つてゐる。聖市在留邦人間に「お茶水橋」と呼ばれるやうになつてからでも廿數年になるかと思ふ。此の橋のやうにお茶水橋附近は今日でこそフロントンやその他の娯樂機關があつて殷盛を呈してゐるが、この陸橋建設計畫發表當時の一八七七年頃は中央に泥水の小川が流れ、その兩側が蔬菜畑で日中でも婦人の通行は殆んど見られになかつた程でそれが數十年の星霜と共に圖らずも一新して聖市の名所の一つとならうとは、その當時誰もが夢想だにしなかつたのである。此の陸橋附近一帶の土地はイタペチニンガ男の所有地で、俗にモーロ・デ・シマと呼ばれ附近一帶が丘陵なつてゐて山茶が一面に栽培されてゐたところからこの名が出てゐる。丁度十九世紀の初頭アリガデイロ・フランシスコ・シャビエル・ドス・サントス氏がこの地に山茶の栽培を始め、次いで氏の息ウロアキン・ウロセ・ドス・サントス氏がこれを繼ぎ、さらにイタペチニンガ男がその栽培に當つたものでこの山茶の名が現在に殘つて「ピアアト・デシヤ」として一般に言はれてゐるのである



寫眞は擴張工事着手直前のお茶の水橋

開通後四十年聖市發展のため重要な役割を演じたこの橋も現在の頻繁な電車、バス、自動車の交通に適ぜぬやうになり、遂に昨年七月より改修されることとなり、あの陸橋の懐しき姿は永遠に思ひ出に殘されることになつてしまつた

なほ橋は一八九二年十一月二日時の州統領ベルナルディノ・デ・カンポス氏及びリーノ僧正の拔錘式に依つて開通式を擧げたもので爾來四十有餘年の間實多の變つたエピソードを持つてゐる。失戀の清算所として屢々新聞紙面を賑はす事件を生んでゐる。變者も橋上より谷合の舖道を見下し拳に持つて飛んだら死にやせんだらうなどと友人と議論した事もあつた。橋の全長二百四十米、この中鐵橋の部分は百八十米、殘りの六十米はいまライト電力會社の前の埋め地の部分となつてゐる。

賀正 一月一日
ガルサ旅館 パールレストラン
山中喜一 ガルサ市アセンシヤ・フオールド隣り

賀正 一月一日
煉瓦工場
蔭山勳 フエルナンデアース驛 郵函四十七

謹賀新年 昭和十三年一月一日
太田商店支店 内外雜貨商 ガルサ市

謹賀新年 昭和十三年一月一日
Casa Motoyama
本山商店 内外雜貨商 在荷豐富 本山喜久雄 フエルナンデアース町

謹賀新年 昭和十三年一月一日
平野商店 内外雜貨商 平野八十一 カプラリア驛マットン町

謹賀新年 昭和十三年一月一日
Hotel Honda
ホテル・ホンダ 本田勇作 ドアルチーナ町 電話三二 郵函一〇〇

賀正 一月一日
センタラル藥店 松村正人 プロミツソン町

賀正 一月一日
久保貞繼 農產物仲買 プロミツソン町

謹賀新年 昭和十三年一月一日
葛岡唯雄 敎育普及會リンス支部長 リンス市

謹賀新年 昭和十三年一月一日
バールセントラル 皆樣の御食堂御憩所 川原兵太 リンス市ルイス・ガマ街三四二 電話六二 郵函二〇三

謹賀新年 昭和十三年一月一日
今田求 リンス地方醫局 リンス市

謹賀新年 昭和十三年一月一日
Farmacia Moderna
モデルナ藥店 作田益太 リンス市ルイス・ガマ街 電話六〇

賀正 一月一日
カメイ寫眞館 亀井哲夫 プロミツソン町

賀正 一月一日
大橋寫眞館 大橋茂雄 プロミツソン町公園前

謹賀新年 昭和十三年一月一日
古賀旅館 古賀勝 プロミツソン町

謹賀新年 昭和十三年一月一日 爽かなる氣分は散髮から
藏原理髮店 ノロエステ線プロミツソン驛 プロミツソン町

謹賀新年 昭和十三年一月一日
黒嶋伊平次 醬油釀造元 黒嶋印 プロミツソン驛前通り

謹賀新年 昭和十三年一月一日
プロミツソン商業俱樂部

雜貨商仲買 當山商店
雜貨商農產物仲買 中須賀商店
雜貨商農產物仲買 富山商店
雜貨商ガソリーナ補給所 平田商店
雜貨商農產物仲買 西岡商店
雜貨商農產物仲買 土屋商店
製菓洋服店齒科醫 平田兄弟商會
バールバウリスタ・ビリヤール フオード代理店雜貨商 青木商店
飯田商店

謹賀新年
昭和十三年一月一日
有限責任
プロミツソン產業組合

賀正
一月一日
歯科醫
和泉春一
リンス市

賀正
一月一日
パール東京
上間幸喜
リンス市ルイス・ガマ街

謹賀新年
昭和十三年一月一日
和洋製菓
寫眞
ソルベッタリヤ
富士見屋
本店　グワキサーラ驛　郵函一〇八
支店　リンス市ルイス・ガマ街
電話　一八六　郵函二〇三

謹賀新年
昭和十三年一月一日
文房具、運動具、玩具、レコード、小間物、化粧品　其他
バザール東京
毛呂正俊
汎リンス青年會館前

謹賀新年
昭和十三年一月一日
オフシーナ・ニツポニコ
高橋盛輝
リンス市リオブランコ街

謹賀新年
昭和十三年一月一日
各種時計、蓄音機、レコード
其他附屬品販賣、並修繕
志方時計店
志方重雄
リンス市本通り

賀正
一月一日
高良美容館
高良新三郎
池田次郎
ロンドン・バスクリン二日
リンス市パール福助隣

謹賀新年
昭和十三年一月一日
山中歯科醫院
山中信一
リンス市ルイス・ガマ街九一
シネ・ニコラウ前

謹賀新年
昭和十三年一月一日
ドットル辯護士
下元健郎
カフエランジヤ町
ホテルマスカロ内

謹賀新年
昭和十三年一月一日
カーザ・イケダ
池田由吉
清田安雄
草野貞政
リンス市

謹賀新年
昭和十三年一月一日
レゼンテ藥局
尾曾齢一
ペント・レーメ
リンス市ルイス・ガマ街
電話一二六　郵函八八

賀正
一月一日
建築請負
家具製造
保科松五郎
リンス市　郵函二〇三

謹賀新年
昭和十三年一月一日
二十有餘年の治病體驗は完全に難病を征服す　整骨物理療法一般と漢法療法
斷食療法
誰人にも容易に出來、如何なる難病も短日輕費で根治す
元祖無痛無痕藥王灸『鍼灸高等專門學校出』
專門眼科
盲腸肋膜
中村鍼灸骨接所
リンス市三好旅館（活動館前）

謹賀新年
昭和十三年一月一日
中風豫防、妊娠調節が簡單に出來る
▽特に婦人の惱み月や〳〵滯りに奇効あり

謹賀新年
昭和十三年一月一日
内外雜貨
卸、小賣
平見商店
リンス驛ゼツリーナ町
郵函五七番

Casa São Paulo

謹賀新年
昭和十三年一月一日
高級御旅館
キングホテル
中熊一雄
リンス市ルイス・ガマ街五八番

謹賀新年
昭和十三年一月一日
旅館
食堂
並
大衆的
安良ク
御客様本位
笠井善太郎
リンス市本通

謹賀新年
昭和十三年一月元旦
リンス裁縫女學院
サンパウロ公認教師
神崎梅子
リンス市裁判所向角

謹賀新年
昭和十三年一月一日
日本製麵所
比嘉松義
上原松五郎　共營
リンス市ロドリイグエス街
事務所　リンス市ルイス・ガマ街
三六九　電話二七
比嘉洗濯店内

謹賀新年
昭和十三年一月一日
書籍、雜誌、貸本
學用品一切
ニツポン書店
リンス市

謹賀新年
昭和十三年一月一日
森部青山藥店
森部一希
青山稔
書樣の藥店！
リンス市ピンテ・ウン・デ・アブリル街　一五五
郵函二〇三電話一四四

謹賀新年
昭和十三年一月一日
比嘉洗濯店
店主
比嘉松義
比嘉太次郎
嶋袋仲太郎
稻田勝馬
アントニオ・アルベス
ヘルナンド・ゴンサルベス
アドン・マルキス
ミゲール・エスチバレッチ
ヒリツペ・デ・カンポス
ゼネーズ・カンヂド
マノエル・シヤビス
ツール・ゼ
リンス市ルイス・ガマ街六六九電話二七

事變の略史

皇軍北平入城まで

事變前の模様

今回の支那事變は七月七日盧溝橋に於ける支那側の不法射撃によつて起つたのではあるが、併し之は單にぱく發點にまで過ぎない。事變の眞の原因は、日本の既得權益に對する支那側の壓迫であると見るべきである。昨年夏の滬南島事件、成都事件、漢口事件、上海の水兵狙撃事件等々日本は忍ぶべからざるを忍んで、最小限度の條件で南京政府と妥協した。これに對し日本くみやすしと甘く見たかれば、本年に入つてから猛烈な勢ひで一支の中央化に乘出し、日本側と協力して北支の經濟開發を計畫してゐた宋哲元を中心とする冀察政權を脅迫して完全に日本との中を割いて了つた。國民政府の一支中央化工作の爲にほく支の特殊性は完全に蹂躙されて了ひ、思ひがけざるかたは遂に冀東政府の解消を叫び、のみならず我に向つて不遜にも攻勢をとるに至つたのである

蘆溝橋事件

昭和十二年七月七日夜わが支那駐屯軍に屬する豐臺駐屯部隊の一部が蘆溝橋の北方地區で夜間演習中午後十一時四十分頃蘆溝橋の支兵から突如數十發の射撃を受けた一木部隊長は直ちに演習を中止して支那側の不法を難じ、その撤退を要求したが敢て應戰しなかつた一木部隊長演習中支那側からは不法射撃を受けたのは是が初めてでは無かつたので心中憤懣やる方なく、直ちに起つて小癪な支那軍たいに目にもの見せてくれやうと心はやるのだがよく忍んで、牟田口部隊長の指揮を求めた。そのうちに八日午前四時過ぎ龍王廟及び永定河西側の長辛店附近の高地から支那がわは再び集結中の我軍に對して迫撃砲及び小銃彈を浴せかけ挑戰をあへてした。一木たい長はこゝに至つて自衛上遂に敢然應戰、直に龍王廟を占據した。これが今度の支那事變の直接原因となつたのである。

停戰協定無視

八日午前九時半、支那がわの停戰無條件により兩軍一先づ停戰狀態に入り、ペイピンから急行した秦田中佐の支那がわとの現地における善後交涉の結果九日午前二時に至り、支ながわは速かに蘆溝橋部たいを全部永定河右岸に撤退する事を約したのでわが方は之を承認し支那がわの行動を監視するとゝなつたが、其の日も、翌十日も撤退しないのみか、却つて逐次その兵力を增し、監視中のわが兵に對し時々射撃を繰返し、十日夕刻には龍王廟を占據し不法にも龍王廟を占據した



○○基地に待期中の我荒鷲部隊

我要求三項目

しかし、翌十一日拂曉わが軍は龍王廟を撤去し、主力は蘆溝橋の北約二粁の五里店附近に集結した。これによりさき、わが駐屯軍參謀長橋本少將は九日午後四時天津發北平に赴き、冀察當局者と折衝したが、先方の態度が意外に强硬で交涉決裂のほかない形勢となつたので十一日午後零時を期して離平した。その時冀察の最高責任者宋哲元は

一、責任者の處罰と將來の保障
一、蘆溝橋及び龍王廟の兵力を撤退して保安隊と交替せしめる
一、北支に於ける防共と抗日各種團體の嚴重取締

の三項目を容れ、文書の形式でわが方に手交した。依つてわが方は事件不擴大の方針を持して支那側の實行を監視する事になつた、而が支那側は撤退せのみか却つて八寶山方面の陣地を擴大し、十三日午前十時頃、我駐屯軍の一小部隊がペイピン南方約三粁の馬村を自動車で通行中、馮治安麾下の廿七師の兵によつて不法にも機關銃射撃を浴せられた

北支へ派兵

帝國政府は終始不擴大の方針を堅持して局地的解決に努力したが、遂に默し得ず、十一日北支派兵に關する閣議一決し、近衛首相は直ちに葉山に赴き、上奏御裁可を仰ぐに至つた。此の日政府は帝國の方針を內外に聲明すると共に第三艦隊は全支沿岸の非常警備につき支那駐屯軍司令官田代皖一郎中將麾下部隊危篤につき教育總監部本部長香月中將がその後任に歸補され、即日軍用飛行機で赴任、風の前の燈しい空氣が濃つて。長くも天皇皇后兩陛下には十二日夜東京へ還幸啓あらせられた。これより先二ケ月に亘り由東の鄉里樂陵に逃避中の宋哲元は十一日夜天津に乘出し、時局の表面に立つたが遂に矢弦を離て、かれの力ではどうする事も出來なかつた

此處において陸軍省には十五日に至り內地より一部の部たいを北支へ派遣する旨發表した

苑平縣城砲撃

盧山の將介石は十九日懷慨悲憤の言葉を連ね「今や事態は、敢然起つて應戰すべき最後の關頭に達した」と豪語した。恰も符節を合するが如く其の夕盧溝橋の支那軍は我警戒部たいに對して猛射を浴びせかけわが部たい長山崎大尉は、大腿部に貫通銃創をうけた。支那駐屯軍司令官は遂にこの不信により遂に廿日正午以後斷自の行動をとるの止むなきに至るでやうと聲明を發し、廿日午後二時半縣然起つて苑平縣城の砲撃を開始したので宋哲元は周章狼狽し、廿一日午前十時より正午までのうちに支那軍へ撤退せしめる條件の下に我砲撃中止を懇願したので、飽くまで事態の擴大を欲しないわが軍はその願を容れて支那側の行動を監視する事にしたところ、盧溝橋方面の一部たいが自發を掲げた軍用列車で長辛店まで後退したのみで支那軍一般の抗日氣勢は益々激しくなるばかり、馮治安部たいの如きに却つてペイピンに增兵し、宋哲元の諸約の如きは片鱗の誠意すらなき欺瞞に過ぎない事が暴露されるに至つた。果然廿五日午後十一時半廊坊に於て軍用電線修理のために派遣された通信部たいが及びその掩護部たいたる五ノ井部たいは突如支那部たいより手榴彈、機關銃、迫撃砲をもつて不法射撃をうけた。五ノ井部たいは寡兵をもつて直ちに應戰、廊坊驛附近を死守し、○○に待ち中の鐵道部たいは急遽增援にかけつけ、空軍上空陸呼應して廿六日午前八時廊坊を完全に占據した

最後通告手交

支那駐屯軍司令部は午後三時半最後の通告文ソウ哲元に手交し、盧溝橋八寶山附近に配置する第廿七師、明廿七日正午までに長辛店に後退せしめ、またペイピン城內にある第廿七師の部たいと共に平漢線以南の地區を廿八日正午までに永定河以西の地區に移し、爾後引續きこれらの軍たいの保定方面への輸送を開始せらるべし、右實行の見ざるにおいては貴軍に誠意なきものと認め遺憾ながら我軍は獨自の行動をとるのやむなきに至るべし、此の場合起るべき事態の責任は當然貴軍にあるものなりと宣言した。此の日の午後、豐臺にあつた廣部部たいは居留民保護のためペイピンに入る事となり、事前にわが松井特務機關長よりペイピン外城廣安門通過につき秦德純市長の應諾を得、午後五時半わが自動車縱列たいが廣安門に達しとき、支那側の秦德純の命なりと稱し突如中開きだつた城門を閉鎖し內側に土嚢を積み上げてわが軍を阻止し、剩へ午後八時ごろやつと開門の交涉成立し部たいの先頭が城門をくぐらうとした時突如わが部たいに向つて小銃、機關銃の十字火を浴せかけた。わが方は不意を打たれて一時は大に混亂したが直ちに應戰し十一時頃まで壯烈な應戰を交へた、一方わが最後通告を知つた南京政府はソ哲元に對し「斷乎日本の要求を拒絕し、日本の攻撃に對し、死力をつくして應戰すべし」と電命した

北平周邊掃蕩

ペイピンの我が大使館は廿七日朝六時頃邦人に正式引揚を命じ四千の同胞は最寄の場合に備へるため、大使館區域たる交民巷に引揚げた。息詰る緊張裡に廿八日わが方は昨日の最後通告を取りけし、不法背信飽なき廿九軍に對し、直ちに火蓋を切つたのである。まさに廿九軍を掃蕩して平和な華北に立ち返へらせる黎明北支の前奏曲であり、崩壞する軍閥支那に贈る挽歌であつた

天津の市街戰

天津はわが軍がペイピンと同樣戰火の巷たらしめるに忍びず極力避てゐたのであるが支那軍はわが兵力少なしと侮つてか、第廿八師の一部に保安たいと合同して廿八日夜半より○○部、飛行場等五ケ所から攻撃し、猛烈な市街戰を演ずるに至つた。しかし翌朝までに多大の損害を與へて一先づ敗退した。ペイピン城內の敵に戰況、不利を早くも察して廿九日夜ひそかに保定方面に退却し、ソウ哲元も秦德純、馮治安を連れてペイピンを脫出した

殘虐通州事件

疾風迅雷の如き果敢なわが攻撃にひきかへ、こゝ特筆されねばならないのは廿八日通州にいて冀東保安第一總隊たい尼張慶豚が三千のたい員を率ゐて叛亂し、冀東政廳を包圍占領し、防共、治政府長官殷汝耕を拉致も、同政府首腦はじめ在留邦人約二百名を無殘にも虐殺したことである。その殘虐ぶりは例の尼港事件に優ぐるとも云はれ通州特務機關長細木中佐、甲斐少佐冀東政府顧問宮腰賢之助氏等をはじめ多數の婦女、子供まで殘殺した。殷長官は廿日夜ペイピン近郊まで拉致され危い所、辛じて救はれた。この叛亂保安たいは平津地方における日本軍敗戰の虛報を信じ殷長官を拉致してペイピン城外に到着して初めて支那の徹底な敗ぼくの事實を知り茫然自失の態で殷長官を救出部たいに引渡む、其の一部はにげなくわが方に依つて武裝解除されたのだつた。わが冀島部たいは風雨を排し廿一日夕通州に入り冀東政廳を奪回し生存邦人を幸じて收容した。通州事件は永久に忘れられない痛恨事である

皇軍北平入城

わが○○、酒井兩部たいは平漢線に沿ふて廿九軍を追撃し、廿日午後三時半辛店の敵陣地を占領した八月に入り平津地方は一時の康狀態に入り、兵亂によつて破壞された治安、金融、交通の秩序を回復するためペイピンでは江朝宗を中心として「ペイピン地方維持委員會が成立し、八月六日天津にも高凌霨を中心とする「天津治安維持會」が成立して實務を開始し、次期政權成立までの過渡的な任務につき着々と人心安定につとめたペイピンでは七月廿七日以來交民巷に籠城してゐた在留邦人はもや何等の不安なきに至つたので八月八日それぞれ自宅に引あげた

此の日正午を期して事變勃發以來各地に轉戰して赫々の武勳を樹てた河邊部たいは廣あん門、永定門、朝陽門から步武堂々ペイピンに入城して居留民の涙の感激を嵐のやうな萬歲に迎へられた

BAR ALLIANÇA
謹賀新年
昭和十三年一月一日
內外各酒
優良生果實
バールアリアンサ
杉本巖

Casa Takami
謹賀新年
昭和十三年一月一日
內外雜貨
農產物仲買
パラボニータ瓦取次
高見商店
第二アリアンサ移住地市街地

謹賀新年
昭和十三年一月一日
內外雜貨
農產物仲買
パラボニータ瓦取次
高見商店
第二アリアンサ移住地市街地

謹賀新年
昭和十三年一月一日
內外雜貨
農產物仲買
パラボニータ瓦取次
高見商店
第二アリアンサ移住地市街地

正賀
一月一日
島袋盛英
第二アリアンサ移住地市街地

Hotel Tomiya
謹賀新年
昭和十三年一月一日
富彌旅館
第二アリアンサ移住地市街地

謹賀新年
昭和十三年一月一日
內外雜貨商
小坂商店
小坂鐵一
第二アリアンサ移住地市街地

Casa Takami
謹賀新年
昭和十三年一月一日
內外雜貨
煉瓦工場
高見爽敬
第二アリアンサ移住地市街地

謹賀新年
昭和十三年一月一日
バール仲買
運搬業
高見昭隆
第二アリアンサ移住地市街地

謹賀新年
昭和十三年一月一日
樋口實藏
ノロエステ變更線アグアペー
英人耕地

謹賀新年
昭和十三年一月一日
日沖剛
第二アリアンサ移住地市街地

謹賀新年
昭和十三年一月一日
清水宇平次
ノロエステ變更線ガラサイー町

謹賀新年
昭和十三年一月一日
政岡齒科醫院
政岡福實
木下貞己
金輪祝郎
ノロエステ變更線ヴアールバライゾ町

謹賀新年
昭和十三年一月一日
日伯拓植株式會社
バラマンサ農場
ノロエステ線アバニヤンダーバー驛

時の人物と話題

蔣介石



蔣介石はたとへ抗日の巨頭とはいへ、彼こそは實に支那の國民的英雄であり、亞細亞のナポレオンでもある

彼は今から約五十年前浙江省奉化縣城に一貧乏官吏の子として呱々の聲をあげたが、年幼にして父に死別し、福建の叔父の手許に引取られ福建の小學校に遊つた所が彼の優秀なる頭腦は忽ちにして頭角を現はし、その英才が謳はれるやうになつた、そして小學校を卒業し選ばれて河北省保定府の國民士官學校に省費生として入學、こゝに彼の運命を決定すべき軍人生活が初まつたのである

彼は士官學校を首席で卒業するや明治四十一年日本留學に志して來朝、日本の士官學校に入學したのである。彼の士官學校留學當時日本には孫文や陳其美、黃郛等の支那革命の志士達が亡命して來てゐた。彼は是等の志士の所に出入し、毎日のやうに孫先生を訪れるやうになり、こゝに彼が一世の革命兒としてスタートする緒びが出來上つたのである

やがて明治四十四年孫文が廣東に於て第一革命を起すや、彼は急遽歸國孫文の參謀長に抜擢され、孫文、陳其美等と共に袁世凱を追つて廣東に革命政府を樹立した

一九二三年彼はロシアに留學したが、すぐに歸國して黃浦軍官學校を起し革命青年將校の養成に沒頭した。そして孫文が北京で客死するや孫文の遺志を繼承し革命青年將校を率い武昌、漢口、上海を一擧に陷入れ張作霖の滿洲に擊退したのも彼に依つて完成して都を南京に定め國民政府を樹立した

彼の奇天烈な日旗が初めて支那全土に飜つた頃彼はロシアの第三インターナショナルと結んで居るとさへ思はれたが、それは彼の一時の姿勢であり、やがて支那の赤化が支那亡國を意味するものであることを知るや彼は當時の瞬間であつたボロヂンやブルツヘル將軍を退けて赤露の勢力を完全に斷ち切つてしまつた

一昨年四南派が反將軍を起すやいなや忽ち四南派討伐の大軍を送る一方政治的手腕を以つて四南派を懷柔してしまふあたりは

堂に入つたもので彼は一面戰略將軍であるのみならず他面古今東西に指を屈すべき大政治家とも云へる

何はともあれ將介石は或る時は親日と云はれ、或る時は抗日と云はれた。また或る時期には擁護親日と稱せられ明暗二色に彩飾された彼の全貌は謎として長い間終始して來てゐる。徹頭徹尾抗日政策の實踐者たりし將介石が何故かやうに見まがはれて來たか！　それには一つの大きな理由がある。その理由といふのはかの國際二つの敵對物を持つて進んで來たことだ即ち一方に抗日政策を堅持しながら、その一方では共產講討伐といふ別の使命に惡戰苦闘してゐた彼が共產黨狩りに浮身を窶したのはその背景を爲す經濟的根據を絶對必要とするの關係に基いたものでかれがその打倒帝國主義の一枚看板を「抗英」から「抗日」へ塗りかへ、これによつて國內民心の統一に死力を盡しつゝ一面共產黨征伐を續けて來たのである。滿洲事變、上海事變と相踵いで日支戰爭の危機が到つた時も、日本軍との戰闘動作は維軍に委ね一度も中央軍を危險地帶に振向けるやうなかつたのは對日戰爭よりも背面の赤匪事業に忙殺されてゐるからである。その爲め常然對日戰爭の第一線に立つて號令すべきかれが、それさまで方向の違つた所に出張つて共產軍退治に懸命になつてゐるなどの奇觀を呈した程でこれが將介石をして一面親日、一面抗日と見誤まらしめた主要原因なのである

然るに此の關係　西安事件を一轉期として「抗日一本槍」の今見る將介石なのである。即ちかれの面貌は初めてゞエールの外に現はれたのである



兩拳をにぎる支那の番兵

支那兵とは

「好人不當兵、好鐵不打釘」と云つて優れた人間で兵士になるものは稀れだ、兵隊に即ち兵匪に別稱であり、兵士は苦力と何等選ぶところがない、わずかな正規軍を除くの外軍隊は一つの請負制度であるからこれを受持の將領は大分限者になるとは當り前とされてゐる十年間に五六千萬元の富豪となり澄ます、その金を外國銀行に預金して万一の亡命の時に備へてゐるものに將介石がゐる。銃帥者がそうだから他は推して知るべしで師長、旅長、連長いづれも部下の給與のカスリを取つて私腹を肥やしてゐるのである。兵卒は銷を缺き上官は軟玉を抱くと云つた不平不滿は全軍を覆ふてゐる。平時の抗日は威勢がいゝがいざ彈下の抗日となると、苦力兵隊たち、たじろかざるを得まい

支なの將領が二人と集まれば、きまつて時候の挨拶がはりに交換される言葉は「商賣の儲かりますか」である。これはあながち被等の本職たる戰爭請負業を捨てゝのことではない、彼等將領は大概副業を持つてゐる。例へばホテルを經營してゐたり、運送業、營んでゐたり甚だしきに阿片の問屋をやつてゐると云つた風である。一方では軍を率ひながら一方で商賣の利得に稼いでゐるのである。彼等に眞面目な愛國心などのあらう道理がない、しかし支那と云ふ日清戰爭當時の記憶がまだ去らず、過度に輕視をするが仲々どうして最近の支那軍は非常に勇敢な戰闘力を發揮し、行軍力が非常に大で守備の力も强いのである。一朝守備を命ぜられた軍隊が頑强に抵抗するのは後から督戰隊に依つて射たれるといふ風に死地に陷ろやうな場合、度胸を決めて了つて死物狂ひの抵抗をするのにも依るが、單にさう云ふ點ばかりでなく火力の配置が極めて巧妙に組織されてゐる樣になり、外國から招聘された顧問、教官等の指導も與つて力があるそれに日本の樣に指揮官が終始かはらぬので親分乾分といふ風な永久的の關係に依つて組織されてゐる。又從來小銃の數は非常に少くて、一つの中隊でも小銃を持たない兵が三分の一もあつたが、最近になつて此等の裝備も次第に改善されて、火砲、機關銃等逐次一樣に整備されつゝある。

謹賀新年
昭和十三年一月一日
坂道太作
ビリグヰ市

謹賀新年
昭和十三年一月一日
山本ホテル
山本義政
山本兄弟自動車修繕工場
ビリグヰ市

謹賀新年
昭和十三年一月一日
内外雜貨商
中村商店
中村忠吉
ビリグヰ市　郵函八五

謹賀新年
昭和十三年一月一日
ホテル大島
大島千幸
ビリグヰ驛ニツポランジヤ町

謹賀新年
昭和十三年一月一日
中村旅館
中村長次郎
ビリグヰ市　郵函八五

謹賀新年
昭和十三年一月一日
歯科醫
岩尾民三郎
ビリグヰ驛エリシオ植民地

謹賀新年
昭和十三年一月一日
珈琲籾精撰工場
農產物仲買
有限責任ニツポランヂヤ商會
柳瀨喜六
松隈平三郎
ビリグヰ驛ニツポランジヤ町

謹賀新年
昭和十三年一月一日
珈琲並精米工場
小野原定七
ビリグヰ驛ニツポランジヤ町

謹賀新年
昭和十三年一月一日
長尾旅館
館主　長尾與三五郎
ノロエステ變更線グワラツベス町

謹賀新年
昭和十三年一月一日
佐々木郭吉
ビリグヰ驛リーザ植民地

謹賀新年
昭和十三年一月一日
Hotel Tieté
ホテル　チエテ
田中元吉
ノロエステ線ルツサンビーラ第一市街地

謹賀新年
昭和十三年一月元旦
瀨ノ上商會
瀨ノ上保生
ノロエステ變更線グワラツベス町

明けまして
御目出度う御座います
皆樣の小間物商
眞木實
ノロエステ變更線
グワラツベス町

チエテ商工組合

謹賀新年　昭和十三年一月一日

煉瓦及瓦工場　本田八郎
雜貨商　川嶋熊次郎
車製造　太田勇藏
旅館　田中元吉
雜貨商　出利葉羊三
指物商　花岡一男
製材商　杉本芳之助
仲買商　松田忠治
食堂　松本金藏
運搬業　藤林源七
靴商　遠藤辰治
ブリキ商　安中嘉一郎
オフイシーナ　嶋岡梅吉
雜貨商　川崎稔
洗濯業　手越周市
バール　岸本嘉八
雜貨商　福島國喜
仲買商　川俣善三郎
歯科醫　片山三郎
反物商　サルキス・シモニアン
バール　松田利助
バール　大玉龜之助
裁縫師　佐藤利道
シンガミシン販賣　前岡增雄
雜貨商　齋藤眞平
製氷工場　木本保藏
味噌醬油製造　芦戸良一
食料品店　宇賀八郎
旅館　安齋勝衛
雜貨商　菅野喜久治
同　秋山早太郎
同　五十嵐竹次郎
食堂　矢野親家
家具製造　上田正平
バダリアバール　神田トヨ
同　木村熊治
土木請負　吉浦新一
雜貨商　高島文幹
同　梅里安一
旅館　久津利一
バール　關澤泰男
理髮業　高山武雄
ブリキ商　秋代兵次郎
食料品雜貨商　樋口清一
同　奥野實
印刷業　前田義雄
牛肉屋　三輪良美
SANTANA



悩ましきかな！女は苦手です！

これは小さな穴からのぞく近代女性の「のぞきからくり」です、そこには色々な生活層が、女性を中心にして毎日カラリコロリと變つて出る仕掛になつてゐます、中には様々の臭氣フンプンたるものもありませうし、また春の夜の悩ましい秘話も聞けやうといふもの

怪しげな提灯が、街頭にヌーと出して、恨めそうに通行人を眺める占師にも春の憫しさは格別とある一番多いのは矢張り女で、年齢から行くと廿歳前後の嬉盛り「先生」と先づ一聖、こゝで先生になりすまして

「なんですナ」とやわらかす

「あの妾今度上京したんですが、女中か女給かどちらが良いでせうか」彼女じ身がら云ひながら、どうしても女給になりたいらしい

「相當お金が取れるんですつてれ方々のお姉さん連體分立派になつて村へ歸つて來るわよ」

てな譯で結局女給に志願する事になるらしい、圖々しい女になると三十錢位出して

「あたし今二人の男と關係してゐるんですが、どつちが良いかしらはつきりうちなつて頂戴」

景氣の良いのになると一圓オンとなげだして



只の寫眞は動かねえ

「君うちない料にいくらでも出すよ、僕は今三千圓ほど持つてゐるんだがれ、商賣は何が良いだらう」こんなのになるとフラ〳〵と何とか、ありつきたくなるそうです、時間から見ると午後十一時前後が一番深刻なのがあゝつひ二三日前には、相當大家の令嬢風の娘さんが來て

「ある青年と數日前ピクニックに出かけ其の歸りに或る旅館ですべて、捧げて了つたが、その後姿を見せないから占つてくれ」

といふんだそうで、若い娘さんよ戀したいなぞ夢夏ふなかれ



出席者

河村瑞賢、紀國屋文左衛門、奈良屋茂左衛門、鹽原多助、錢屋五兵衛、司會者、大倉喜八郎

（場所）冥土三丁目三途河畔圓覺ホテル（時）昭和十三年一月一日

大倉「皆さん、に芽出度う御座います、本日は元旦だと云ふのに態々御出席願ひまして恐縮に存じます、實はこれから「一攫千金座談會」と云ふのを催したいと存じます、吾々の一くわく千金の尊いこの體驗をこのまゝ冥土へ埋もれさせてしまくのは其だ遺憾に堪へませんから、本日の座談會で吾々の蓄積を披瀝して、娑婆の人間共を喜ばせてやらうと思ふのであります、先づ紀の國屋さんから一つ……

紀「アア、それは立派な御趣旨です、抑々私のモットーはケンと儲けて握りばなしでは世間の金の流通が悪くなつて、益々貧乏人が殖やすとになります、それは一つの立派な罪悪と云はねばなりませんそこで私は堅實で儲けた金も、材木で儲けた金も吉原ですつかり使ひ果してスッカラカンになつて了ひました、れは、奈良屋さん、お互によく遊んだもんですな」、どうも近頃の金持にはあつじ連の様な氣つぶが無にしたくもありません

大「いや同感ですな、次に錢屋さん、一つ貴方の御體驗かれ聞かせ下さい、

錢「私はにこがましい様ですが、これでも海外貿易を早くから着目してゐました、そして米國や濠洲迄まで、所謂今日のメードインヤパン進出の先驅をやつたのですが、眼先の利かない幕府の役人の爲めにかんな目に遭つたのが返すく〳〵も殘念でなりません」

大「前田の殿様はあなたの爲に大分旨いとをしたそうですな、では今度は鹽原さん一つどうぞ

鹽「あつしはもう律義一方で押し通したと云ふ丈で別にお話しする様な事はありませんが、本日は元旦だと云ふのに態々御出席下さいまして、實に有難う存じます、これから「一攫千金座談會」を催すことになりますが、それは一つの立派な罪悪と云はねばなりませんそこで私は堅實で儲けた金も、材木で儲けた金も吉原ですつかり使ひ果してスッカラカンになつて了ひました、れは、奈良屋さん、お互によく遊んだもんですな」、振袖を切つて嫁に來たあの女房が働き者でしてれ、あれが半分は財産を作つたやうなものですよ」

大「これはどうも御馳走様次に河村さん一つ」

河「私の一寸自慢したいとは廢物利用の元祖だと云ふとです、皆様も御承知の通り、お盆の供物の茄子や胡瓜が川へ流れて來るのを拾ひ集めて漬物にしロロで大儲けをした時の味は未だに忘れられませんな」

大「河村で獨手の茄子の大儲けするけん倉を立てにけるかも……とはどうですな」

一同「アッハハハ」

紀「さすがは鳩彦翁冥土へ來てもへなぶりは止められねと見えますな」

大「いや、どうもいろいろ有益なお話を有難うございました、では この邊で」

スポーツ

明けまして御目出度うございます　第十二回オリムピックも愈よ東京

謹賀新年
昭和十三年一月一日
シンガーミシン代理店
江口忠治
ノロエステ變更線グワラペス町
郵函 日本人部 三〇
電話 一三番
シンガーミシンは斷然王位

謹賀新年
昭和十三年一月一日
Pharmacia Frutal
フルタール藥店
鎌倉義雄
ノロエステ變更線グワラペス町

新調仕立物は
園田洋服店
ノロエステ變更線グワラペス町

正賀
一月一日
小渡洗濯所
小渡三郎
ノロエステ變更線グワラペス町

正賀
一月一日
園田洋服店
ノロエステ變更線グワラペス町

正賀
一月一日
フルタール藥店
鎌倉義雄
ノロエステ變更線グワラペス町

謹賀新年
昭和十三年一月一日
石井旅館
新型貸自動車
石井政信
ノロエステ線アラサツーバ市

謹賀新年
安瀬盛次
アラサツーバ市

謹賀新年
昭和十三年一月一日
州農事試驗場
原種苗木生産場
米森一郎
ノロエステ線アラサツーバ市
郵函 二〇八

SALÃO NOROESTE
謹賀新年
昭和十三年一月一日
小間物理髪業
新里次良
ノロエステ線アラサツーバ市

謹賀新年
昭和十三年一月一日
アラサツーバ
商工組合
旅館 保坂旅館
同 平井旅館
精米所 大原商店
同 安瀬商店
製麺所 伊藤商店
鐵工所 余越商店
雜貨商 武部商店
同 一ノ瀬商店
同 出利葉商店
同 菅山商店

PHARMACIA JAPONEIS
謹賀新年
昭和十三年一月一日
宮城善昌
ノロエステ線アラサツーバ市

謹賀新年
一月一日
御旅館
山陽館
荒木時次郎
ソロカバナ線
ウコセ・テオドロ驛
郵函 四七

賀正
一月一日
理髪店
西（ニシ）
東（アヅマ）
ソロ線ジョゼ・テオドロ驛

賀正
一月一日
バール、バダリヤ
小野石夫
ソロ線ジョゼ・テオドロ驛 郵函一五

賀正
一月一日
内外雜貨 農產物仲買
宇佐見信一郎
ソロ線ランシャリア驛 郵函一七

賀正
一月一日
バール、玉突
茶屋伯男
Bar Nippo Brasileiro
ソロ線ランシャリア驛 郵函七〇

賀正
一月一日
バール
楠木村治
ソロ線ランシャリア驛
郵函 二四

賀正
一月一日
バール
セントラル
段村政七
ソロ線ランシャリア驛
郵函 一二三

謹賀新年
昭和十三年一月一日
ホテル アサヒ
岡田幸廣
ソロカバナ線ランシャリア驛前
郵函 五四

謹賀新年
昭和十三年一月一日
公認
日聖洋裁女學校
校主 長谷部三義
ソロ線ランシャリア驛
郵函 五四

賀正
一月一日
汎ジョゼ・テオドロ聯合日本人會
ソロ線ジョゼ・テオドロ驛

謹賀新年
一月一日
男女洋服、優勝旗、團旗調製
橋永洋服店
橋永萬三
ソロカバナ線ランシャリア驛

謹賀新年
一月一日
バール、ソルベタリヤ
簡易食堂
バール能丸
能丸皓而
ソロカバナ線ランシャリア驛
郵函 四〇

謹賀新年
一月一日
御旅館、バール
御料理仕出し
幸運ホテル
永利倉藏
ソロカバナ線ジョゼ・テオドロ驛 郵函 六
驛正面通り左側（驛より二百米）

謹賀新年
一月一日
内外雜貨商
久保田商店
久保田正雄
ソロカバナ線ジョゼ・テオドロ驛
郵函 二一

謹賀新年
昭和十三年一月一日
棉花、農產物仲買
古谷商會
ソロカバナ線ジョゼ・テオドロ驛
電話 二 郵函 三四

謹賀新年
昭和十三年一月一日
三田商店
ソロ線ジョゼ・テオドロ驛
郵函 一〇番

謹賀新年
昭和十三年一月一日
内外雜貨商
カーザ光岡
光岡傳一郎
ソロ線ジョゼ・テオドロ驛
郵函 四八

謹賀新年
昭和十三年一月一日
カーザ・ヤナギ
ソロ線ジョゼ・テオドロ驛
郵函 五 電話 七

謹賀新年
昭和十三年一月一日
アンダーソン・クレートン會社代理人
棉花農產物仲買商
十八キロ ジョゼ・テオドロ レセンテ・ノエージョ 間乘合自動車部
黑岩實
ソロカバナ線ジョゼ・テオドロ驛
郵函 九 電話 二

謹賀新年
昭和十三年一月一日
バール、ソルベタリヤ
森隆雄
北川豐
ソロ線レセンテ・フエージョ驛
郵函 一六〇

謹賀新年
昭和十三年一月一日
農產物仲買
内外雜貨商
長谷川商店
ソロ線レセンテ・フエージョ驛
ピラ・アニュウマス
郵函 二五 電話 五

賀正
一月一日
今村新藏
ソロカバナ線ジョゼ・テオドロ驛
郵函 二〇

謹賀新年
昭和十三年一月一日
内外雜貨商
農產物仲買
杉商店
杉義夫
杉成行
ソロカバナ線ジョゼ・テオドロ驛
電話 五 郵函 二八

CASA MORI
謹賀新年
昭和十三年一月一日
農產物仲買
運搬業
内外雜貨商
日伯棉花仲買
森商店
森光雄
ソロ線レセンテ・フエージョ驛
郵函 八四
電話 一三

DISTILARIA PAULISTA
謹賀新年
昭和十三年一月一日
ダトリオン洋酒會社特約店
洋酒、ガラナ、ガゾーダ類 製造販賣
立澤飲料水
製造工場
ソロ線レセンテ・フエージョ驛
郵函 一四六番

年頭の感

ブ・ブルデンテ専社
主任　三浦四郎

明けまして御目出度う御座いますと申せば月並のやうではありますが、今年の新年は吾等日本民族に取り未だ曾て例を見ざるところの御目出度さであります。依つて茲に再び繰返へして新年の御目度を申上ると共に、皆さまの御健康と御慶福とを祝新いたす次第です。然らば本年の新年は何うしてそんなに

御目出

たいかと申しますに、それは待望れた非常時に遭遇して亜細亜永遠の平和樹立の爲めに日本が敢然立つて支那軍部及び其の一派の暴戻不遜を打懲しつつ速戦速決の新年だからであります。非常時は決して歓ばしいものではないのでありますが、どうで一度は遭遇せねばならぬものであつたとすれば、本年七月七日夜の北平郊外蘆溝橋に於ける日支四軍の衝突は、支那軍の射つて出た暴撃であるだけ防ぐに都合が良かつたと云ひ得ませう云つて日本は

戦争を

好んだ譯ではありませんが、抗日支那の巨頭　蔣介石・馮玉祥・陳誠・宋哲元・閻錫山等に依つて植付けられた抗日侮日は一度大衝突を演じない限りは平和に復すものでないのであるから、日本も其の覚悟して撃つたら撃返へす準備をしてゐた事だけは肯かれます。ですから蘆溝橋の支那兵不法射撃に皇軍の撃返へしとなり、南京政府の挑戦的態度に變はらざるを得ないとになつたので、今度の事へんは何んと云つても支那が自から招いた禍ひで

他を怨

むわけにはいかないのです。が然し如何に青龍刀が鈍るとも抜いた以上は收まりを付けねばならぬので將介石も觀念して南京籠城まで覚悟を決めたやうですが、是れが果して死守するまで行くかどうかは、支那人であるだけ當にはならないのです。だが先方は何でもあらうと日本軍では押す處まで押し、支那が叩頭陳謝するまでは手を緩めないであらうから、支なも今度は目を瞑まさるを得ないでせう。尤も支那民衆は何が何やら夢我夢中で謂はば

盲動し

てゐるに過ぎないのですが、軍部巨頭及び政治屋一派の野心家は國家を食い物にしてゐる己の利益を計らんとするのでありますから在外使節等を結託して英米佛等の力を借り干渉を誘致すべく努力するのではありますが、是等列強も皇軍の連戦連勝の勢ひを見ましては カッカリ干渉なぞに出來ますまい 干渉と云へば結局武力彈壓までいかねば効果擧げ得ないのですが今日の所謂列強は果して此の

危險を

押して行る者があるでせうか。乃ち國際聯盟の二十三ヶ國會議にしても九ヶ條約會議にしても唯だ支なの揚言を取上げて見ての相談だけで何に一つ纏まつた事は出來ないでにないですか。だが併し列強を餘り甘く見ては不可ませんので日本は寧ろ事へん終局の場合に於ける支なとの談判に注意を拂はねばならないと思ひます。即ち北支五省を何うするか、上海と南京を何うするか、厦門をどうするか廣東を何うするかに就ては必ずや

列强も

目みそばだて、場合に依つては抗議を申込むと云ふ事が無いとは云ひ得ますまい。無論日本もそれに就ては注意も拂ひ肚も決めて掛るでせうが、此の時こそは日本の超大非常時ではないでせうか。今日の非常時は勿論非常時ではありますが、今後は更に是れより大なる非常時が横たはつてゐると思はねばなりません。其處で近衛内閣が國民に向ひ長期の國難を覚悟せよと叫んでゐますのは、曾に支なの戰闘だけではなく、此の事へんの終局を結ぶ場合の列强の動きが何う動くかが大問題であり、是れが場合に依つては

長期戰

に形勢がかはると云ふ心配なのではないでせうか。日本は今日、支なの問題は日本と支那とで解決を付けるから他の容喙は御免を蒙りたいと云つてはゐるが、戰闘其のものは夫れでいくとしても、最後の平和談判の場合は列强も默してはゐますまい。と云ふ事は日本も充分承知して研究を積んでゐるのでせうが、吾々として心配なのは矢張り此の最後の事なのですそこで外國に在る吾等といたしましては我が國々内の事又は日本と支なの事に就きましては母國に委すより他に

方法が

ないとしましても、長期の國難といふ事に就きましては、當然之必要なのであり經濟であるのでありますから、今日國内の同胞が實行し先例を示してゐますやうに吾々も亦伯國に在つて長期の國難に充つる爲め冗費を廢し之に依つて貯蓄せる金錢を軍資に献納するとでであります。斯く申しましても、必ずしも二椀の飯を一椀に減ずると云ふ意味ではなく、出來るだけ經濟的に總てに注意して是れより生ずる剰餘金を分に應じて献納すべく心掛くべしと云ふ事なのですから、此の

新年か

らも互ひに之を實行して見たいと思ふのです。そして此の長期の國難と云ふ事は曾に事へん中のみを意味するものでなく、日本は此の日支事へんの結果如何なに亞細亜の双肩に備はればならなくなるのですから、それは世界平和の爲め重大なる任務ではありますがそれ丈け日本に取り日本民族に取り困難が倍加する譯ですから此處を吾々は改めて認識を深めねばならぬところだと思ふのであります

愉快で

然も吾々は たくてはなりません。二千五百年餘り極東に偏在した我が日本が我が民族が、僅か最近七十年の間に世界的活躍を演ずるの能力を發揮し、前に先進國より學ばせて貰つた數々に對し、今 聖斗を仰げて感謝するとになつたのだから是ほど愉快なことがない。殊に今度の日支事へんは、表面は日本と支なとの爭ひではあるが、其の實は英とソ聯とに對する日本の聖戰と見るべきでありますが故、是は世界文化の建直しの上に重要であり又それだけ

意義深

しと云はねばなりません。兎に角今度の日支事へんに於て日本は日本民族の有つ偉大性を世界に示したのであるが理にも、それは幾多の先進國が示した掠奪的なものではなく、眞に世界を平和に導く文化再建其のものであるから吾々は嬉しからざるを得ないのです。だが有頂天となつてはいけない。勝つて兜の緒を締めよと云ふ此の時です。そして其の緒を緊めるの方法は念かず操らず驕らず怠々研究を續けて本業に勵しむの他何物もないので、並に吾々の

基礎を

置かればならぬと共に、此の基礎の置場を編的に自覺せしめしは今度の日支事へんで此の自覺なき吾々が深める事に依り日伯の親善關係をも更に濃厚たらしむるのであると私は信ずるのであります。今年の新年は大非常時中自覺の新年唯々感謝すべきであります。

賀正
一月一日
御旅館
醤油醸造業
山田清三郎
ソロ線バラグアスー驛　郵函九三

賀正
一月一日
崎谷呉服店
ソロ線バラグアスー驛
郵函四四

賀正
一月一日
農産物仲買商
竹川時太郎
ソロ線バラグアスー驛
郵函八八

謹賀新年
昭和十三年一月一日
シンガーミシン會社
パラグアスー、カラムル地方代理人
中岡隼人
ソロ線バラグアスー驛
郵函一五

謹賀新年
昭和十三年一月一日
穂耕地
丸林久次郎
従業員一同
ソロカバナ線バラグアスー驛
リベロングランデ　郵函五〇〇番

謹賀新年
昭和十三年一月一日
雑貨部
食堂部
旅館部
ブルデンシア貯蓄銀行代理店
勝谷商店
ソロカバナ線バラグアスー驛
郵函一一四

謹賀新年
昭和十三年一月一日
大阪旅館
館主平野トヨ子
ソロカバナ線バラグアスー驛
郵函九一番

謹賀新年
昭和十三年一月一日
太陽植民地
荒毛耕地
荒毛勝市
ソロカバナ線バラグアスー驛經由
ピラ・ルテシヤ　郵函八〇

謹賀新年
昭和十三年一月一日
珈琲、棉花、雑穀仲買
内外食料品雑貨商
アトランチック石油會社代理店
松倉好彌
ソロカバナ線バラグアスー驛
郵函八二

謹賀新年
昭和十三年一月一日
昭明會
ソロカバナ線バラグアスー驛
リベロングランデ
郵函五〇〇番

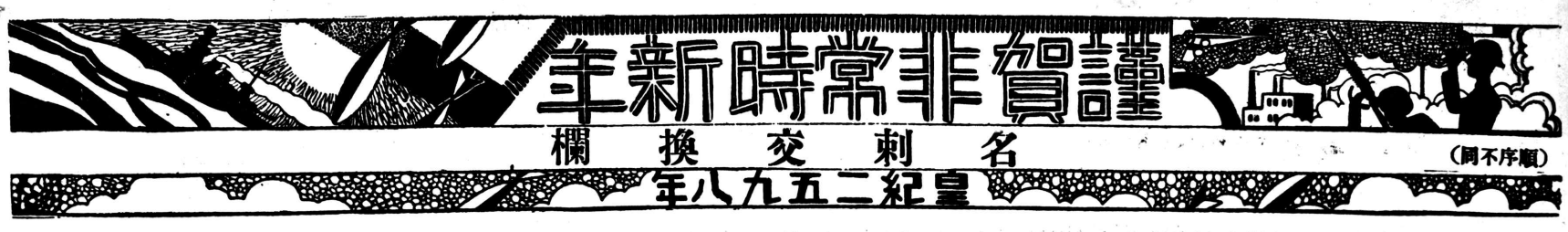
謹賀新年
昭和十三年一月一日
各種洋酒、グワラナ、ガゾーザ類製造
ダトリオン洋酒會社一手販賣
永松洋酒清飲料水
製造工場
ソロカバナ線バラグアスー驛
郵函七二

謹賀新年
昭和十三年一月一日
カーザ東山代理店
アンダーソン會社代理店
クレートン
黒岩秀吉
従業員一同
ソロカバナ線バラグアスー驛
郵函K

謹賀新年
昭和十三年一月一日
和洋御菓子、御祝、御佛事物調製
福田製菓所
福田兼雄
ソロ線バラグアスー驛
郵函一三六

謹賀新年
昭和十三年一月一日
雑貨商
當間商店
郵函六九
精珈精米業
杉本商店
郵函七五
雑貨商、ガソリン、テキサス配給所
福島商店
郵函一三二
ガソリン配給所
平良眞吉
郵函一一
バール
井清商店
郵函一〇四
バール、ソルベタリヤ
桑原商店
吉田寫眞館
郵函一〇四
雑貨商
シンガーミシン代理人
ガソリン、アトランチック配給所
藤井商店
郵函一一六
雑貨商、運搬業、
カーザ・プラタク代理店
灰原商店
郵函一二〇

ク ワ タ 商 工 組 合
ソロカバナ線クワタ驛



在伯帝國大使館
澤田節蔵
天城篤治
澁澤信一
小峯俊一
齋藤芳造
入江清一
鈴木美太郎
岩富博

在サンパウロ帝國總領事館
坂根準三
淀川正樹
菱川敬三
矢田山保夫
高橋郁夫
荒木外喜三
福川然

勤業部
青木藏
北村豊次
佐々木淳
宇野忠夫
北村政吉

在サントス帝國領事館
南條榮
金田宣雄
金城愼義

在パウルー帝國領事館
早尾季鷹
石原直憲
藤本正雄
加治木常麿
柳原桂太
金澤銑三郎

在リベロンプレート帝國總領事館分館
齋藤武雄
中川忠

在ベレン帝國領事館
古關富彌

海興支店長
宮腰千葉太

中野巖
坂元靖
東後一美
平山惣次郎
森部伊三郎
八尋鶴一
遠藤常八郎
塘龜太郎
有馬鐵之輔

大阪日伯棉花株式會社
原田立之祐
宇佐川肇

伯剌西爾大阪商船會社
神戸市出張所
高桑譲
津崎三壽

大野長一
聖市ナポレオン・デ・バアロス街七〇（ピーラマリアナ）

カフエランヂア酥
平野植民地
山下永一

カフエランヂア酥
ノロエステ線アラサツーバ市
安田巖

カフエランヂア酥
平野植民地
佐藤勘七

カフエランヂア酥
ノロエステ線アラサツーバ市
福原勇

歯科醫
寶臣衛

カフエランヂア町
古庄常喜

カフエランヂア酥
ダバシ植民地
伊藤助一

ノロエステ線延長
アラサツーバ町
大山口理髮店

カフエランヂア酥
ブロヴレツソ植民地
明穗實

ノロエステ線延長
アラサツーバ町
宇野吉五郎

カフエランヂア酥
平野植民地
森部伊三郎

ノロエステ線延長
アラサツーバ町
吉瀬軍平

カフエランヂア酥
サーレス植民地
八尋鶴一

ノロエステ線延長
アラサツーバ町
吉永製菓所

カフエランヂア酥
ピリアキ町
安江惣右衛門

ピリアキ町
宮崎八郎

カフエランヂア酥
ピリアキ市
坂道太作

カフエランヂア酥
第一アリアンサ移住地
勝田正通

ピリアキ酥アレグレ植民地
酒井伊勢芳

チエテ第二事務所
榛葉彦平

ピリアキ酥アレグレ植民地
島村嘉吉

ノロエステ線
ミランダポリス事務所
安岡桂太郎

ノロエステ線
順序不同
社友

ノロエステ線
内山吉藏
石山權藏
小出長助
青木祐雄
高橋增造
峯加四郎
太田庄三郎
權藤唯雄
藤永力藏
農田源行

ソロカバナ線
杉本金松
古賀菊次
武部嘉一
瀨ノ上保生
高橋善七
藤澤豊次郎
安瀨盛次
前田兼夫
岩城富士作
飯田彦光
青山萬次郎
永野勘太郎
吉住勝彦
菅山輝吉
本田授

吉岡榮藏
内田利藤次
柞磨宗一
平田滿
岩本一郎
田中穰
丸林久次郎
福島博祐
坪根村市
戸田勘次郎
石井祖
古谷嘉正
篠原與三郎
小齊宗雄
杉義夫
庄山市次郎
手嶋亮良
西山福治
千賀米吉
村田道江
茶屋政吉

柳常次郎
中須爲之
荒毛勝市
加藤政松
山田登幸
黒岩實
白石重德
吉雄武保
古關德彌



名刺交換欄

（順不序同）

皇紀二五九八年

長谷川二郎
ノロエスチ線
今富正平
佐藤一郎
福島義憲
間崎三三一
山下永一

パストス移住地事務所
畑中仙次郎
パストス市街地

パストス移住地事務所
波部勳
パストス市街地

パストス移住地事務所
松本高信
パストス市街地

パストス移住地事務所
中村誠
パストス市街地

パストス移住地事務所
千葉武男
顧問辯護士　コンフレヨ・ポルテーラ
パストス市街地

パストス移住地病院
笹田正敷
パストス市街地

パストス郵便局
畑中忠雄
琴崎正
パストス市街地

パストス第一小學校
山岸又次郎
パストス市街地

パストス移住地
我妻三郎
ファルツーラ小學校

溝幾太
前田幸一
パストス移住地　グロリア區

林田鎭雄
パストス市街地

中村又藏
パストス移住地　サウーデ區

中村米市
パストス移住地　サウーデ區

中野寅太
パストス移住地　サウーデ區

公認土木技師
高野桂秋
パストス移住地　ポンヒン區

パストス移住地事務所
小林平志
パストス移住地　ファルツーラ區

パストス移住地
白須千之助
パストス移住地　ファルツーラ區

パストス移住地
水本春造
水本薫
パストス移住地　グロリア區

ポアビスタ植民地
坂井大吉
プ・プルデンテ驛　郵函二七〇

ポアビスタ植民地
矢野彦次郎
プ・プルデンテ驛　郵函三七四

ポアビスタ植民地
河端孝治
プ・プルデンテ驛

ポアビスタ植民地
門脇鶴見
プ・プルデンテ驛

粟津幾太郎
プ・プルデンテ市

第一小學校
西謙次郎
尾上亮藏
伊藤利根子
西すま子
プ・プルデンテ市　郵函七一

ポアビスタ植民地
長島多喜
プ・プルデンテ驛

高田末松
ソロ線ランシヤリア驛

山下定八
ア・マツシヤード驛

正島富六
ア・マツシヤード驛

九鬼隆
プ・プルデンテ市　郵函七一

向井精一郎
ア・マツシヤード驛

ポアビスタ植民地
高田市次郎
ア・マツシヤード驛　郵函三四

荒木保喜
パストス移住地　サウーデ區

橋本季太
ソロ線ヒクロピー驛

安部利平
ソロ線　サント・アナスタシヤ驛

西浦宇治郎
ソロ線パラグワスー驛　郵函八八

第二ペルネーラ植民地
鍵本信重
ソロ線　プ・ウエンセスラウ驛

山田國三郎
ソロ線　プ・ウエンセスラウ驛

高瀬惠三
ソロ線　ゴヨセ・テナドロ驛

田中綱太
ソロ線　ゴヨセ・テナドロ驛

難波淺次郎
ソロ線　ゴヨセ・テナドロ驛

横溝久五郎
ソロ線レセンテ・フエージロ驛　ビラアニユマス　郵函二五

嘉悦幸三郎
ソロ線ゴヨセ・テナドロ驛　郵函五六

上江田幸明
ソロ線ゴヨセ・テナドロ驛　郵函八八

平和植民地
大塚賢次
ソロ線ナウリーニョス驛　郵函十五

サウダーデ植民地
籾井威虎次
プ・ペルナルデス驛　郵函十九

平和植民地
堀川作治
ソロ線インザアト驛　郵函三二

内田巍
ソロ線ナウリーニョス驛　郵函十五

平和植民地
大塚賢次
ソロ線インザアト驛　郵函三二

尾花要太郎
ソロ線　ゴヨセ・テナドロ驛

尾關保助
カンパラ小學校
北パラナ、カンパラ市　郵函九四

須山學之助
ソロ線アベレー市　郵函三五番

インガ驛
田中敏朗
電話二三番　郵函八番

長野萬歳
プ・ペルナルデス驛　郵函一一五

北口穎男
プ・ペルナルデス驛　郵函四一

庄賀千太郎
ソロ線イバウス驛　郵函SS

青年會書記
北原正男
マリア市

パラセ・ホテル
小田切傳
メウバテ

グワラ
日本人會一同

梶原利助
北パラナ、ロンドリーナ中央區　郵函一二二

西山悟
北パラナ、ロンドリーナ市　郵函一五番

原豊五郎
北パラナ、ロンドリーナ中央區　郵函一二一

上利新吉
北パラナ、ロンドリーナ市　郵函八四番

賴則善衛
北パラナ、ロンドリーナ中央區　郵函一二一

坂本留次郎
ブロミヅソン町　ゴンザーガ植民地

高本理髪館
ポンペイア町　郵函二四

山口牛松
ブロミヅソン驛　コレゴ・アズール植民地

岡山縣人懇談會
リンス驛　上塚第二植民地

歯科
尾崎保之（ヤス）
舊名　孫三郎
カフエランヂヤ驛　プロアレツソ耕地（住宅）
リンス驛パライソ耕地

宮平市寛
リンス驛　コルゴ・ベンカイヤ

木村末松
ブロミヅソン驛　パラマンサ植民地

綾部清次
エスペランサ植民地

旅館
鈴木季造
ブロミヅソン町

藤井政人
ブロミヅソン町

清水安丸
ブロミヅソン町

宮本浩
ブロミヅソン町

舍川甚太郎
ブロミヅソン驛　ゴンザガ植民地

谷口清政
日伯拓植株式會社　アベニヤダーバ

池戸忠次郎
ブロミヅソン町

手嶋和三郎
ブロミヅソン町

宮川爲治
リンス市郊外

池友治郎
リンス市

芭蕉吟社
リンス驛上塚第二植民地

バール宮島
リンス市

前田兼作
ブロミヅソン町　パタチンニヤ

渡邊新太郎
ブロミヅソン町

日野千次郎
ブロミヅソン町　ピリヂキンニヨ

西川善諾
ブロミヅソン町

村上茂人
ガランメン町

石川增太郎
ガランメン町

嘉悦千代喜
ラウルミラ驛　日之出植民地

野村隆輔
日伯拓植株式會社　アベニヤンダーバ

謹賀新年
昭和十三年一月一日
本年も宜しく御引立願ひます。毎週水、木、土、日曜日にフイルムを取換へて上映致します
トーキー映寫
バストスシネマ館
館主　古賀善三郎
バストス市街地　郵函二四

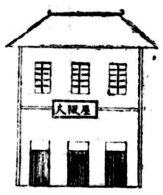
謹賀新年
昭和十三年一月一日
セルベーシヤ、ガラナ、其他食料品一切、雑貨（卸小賣）
トランスポルテ（バストス＝マリリア）
小池、遠藤商店
小池豊
遠藤敏雄
バストス市街地　郵函四二〇

謹賀新年
昭和十三年一月一日
バストス隣接地テルルイス町
郵函バストス郵便局三五
植田連

謹賀新年
昭和十三年一月一日
棉花仲買、土地周旋
公認土木技師
植田連

謹賀新年
昭和十三年一月一日
和洋御菓子、御祝、佛事物
カルシユーム煎餅製造販賣
和洋酒一式
大阪屋
古川製菓所
バストス市街地　郵函二八二
和洋菓子に經驗ある職人二名入用

謹賀新年
昭和十三年一月一日
バストス製糸、絹織物
開工場御指定
ウニベルサル建
築會社代理店
大阪屋旅館
山中三次
バストス市街地



CASA OKAMOTO
謹賀新年
昭和十三年一月一日
内外雑貨商
農産物仲買
岡本萬二
岡本徹哉
ソロ線インヂアナ驛
郵函一〇　電話　七

謹賀新年
昭和十三年一月一日
バストス産業組合
理事長　脇山甚作
專務理事　溝部幾太
常務理事　小林平志
電話八
購買部
精珈精米工場
農業倉庫
從業員一同

賀正
一月一日
平田靴店
平田作治
バストス市街地　郵函二七

謹賀新年
昭和十三年一月一日
各種木材販賣
土木建築請負
家具製造
バストス製材所
佐藤福太郎
バストス市街地
電話一〇

謹賀新年
昭和十三年一月一日
ビトリヤ植民地代理部
ホテル・セントラル
榎常孝
バストス市街地
電話　二一二
郵函　二

謹賀新年
昭和十三年一月一日
内外雑貨商
農産物仲買
運搬業
土地賣代理業
立松秀吉
ソロ線インヂアナ驛
郵函三八
電話一八

CASA JAPONEZA



謹賀新年
昭和十三年一月一日
日の丸印
棉プランタ機
拔根機製作
石橋農具研究所
バストス市街地
郵函二〇六

謹賀新年
昭和十三年一月一日
Bar e Restaurante
IKEDA
Tel 30 Bastos E. F. S
バール、食堂
鮮魚、食料品
玩具販賣
池田正雄
バストス市街地
電話三〇

賀正
一月一日
バール、ベンソン
鮮魚販賣
宮武柳三
ソロ線インヂアナ驛郵函二六

賀正
一月一日
雑貨商
瀬戸商店
瀬戸渡
バストス市街地

謹賀新年
昭和十三年一月一日
雑貨商
岡本商店
岡本勳
バストス市街地
郵函一三八

謹賀新年
昭和十三年一月一日
バストス製糸工場
吉浦秀次郎
從業員一同
バストス市街地

謹賀新年
昭和十三年一月一日
内外雑貨部
喫茶部
棉花仲買
テキサコ・ガゾリーナ代理店
アンタルチカ・セルベージヤ代理店
バストス　ランシヤリヤ　クワタ　乘合自動車部
田中穰商店
田中穰
畑中忠雄
米澤徳明
井上重雄
中原正一
中野金光
クストーヂオ
佐藤快士
レオポルド
ジヨアキン
バストス市街地
郵函一一三
電話一一

本紙二十年の回顧

一九一七年
（月日省略）

△八、三一、聖市コンセレーロ・フルタード街三九番にて我伯刺西爾時報創刊す
△一〇、五、世界の大舞臺は實力の競爭なり、實力乏しきものは失敗を免れず、實力養ふの途は在留國の言語を學ぶを第一とすとの主旨の下に本紙上にプラジル語講習欄を設く
△一二、一、上塚周平氏來伯

一九一八年
△一、二八、イグアペ植民地經營者宮柳郁太郎氏北米經由にて歸朝
△七、二一、マルチンニヨ・カルバリヨ街廿六番に移轉す

一九一九年
△一〇、三、十二頁よりなる伯國紹介特別號を發刊す
△一〇、一四、同業日伯新聞石版印刷より活字印刷となる
△一一、二八、サンパウロ州統領アルチノ・アランテス氏日本天皇陛下より勳一等旭日大綬章を賜はつた

一九二〇年
△三、一四、西比利ニコラエウスクに於て過激派の爲に我同胞慘殺さる
△七、一、是迄伯刺西爾移民組合の經營だつた本社は、社長黒石清作氏個人經營となる
△一〇、一、本社ファアンデス街十六番に移轉す
△一一、二〇、舟艇中將閣下が司令長官として來るわが練習艦あるまゝ、いわての二艦リオ港に入港す、本社では練習艦隊歡迎號十二頁を發刊同記念號千七百部を總領に贈呈す

一九二一年
△四、八、珈琲圖活動寫眞會社ふ十二頁もの發刊
△九、七、聖州新報パウルー市にて創刊す
△一一、五、原首相東京驛頭に於て一狂漢に暗殺さる
△一一、一〇、百廿五歳まで生くると揚言せる大動位侯爵大隈重信氏薨去す
△二、一、大動位公爵山縣有朋氏薨去す
△一一、二七、午前三時五十四分サンパウロ市に稀有の地震があつた
△七、五、午前一時コツパカバナ要塞から躬つた一發の砲聲を合圖に獨立騎兵一聯隊、士官學校コツパカバナ要塞、ピゲア要塞の兵一齊に反旗を飜す
△九、七、伯國獨立百年祭を行ふる、日本より磐手、淺間、出雲の三艦特派さる、わが社では十六頁の記念號發刊す

一九二三年
△二、九、日露戰爭に第一軍司令官として勇名一轟かせた黒木大將薨去す、行年八十歳
△三、一、伯國法學界の權威ルイ、バルボーザ氏永眠す
△九、一、母國帝都　始め、七縣、五市、廿八郡に亘り大地震に襲はれ、死傷者五十萬人に及ぶ
△一〇、二二、ミナス選出代議士フイデリス・レイス氏、黄色人種は現在々留民數の三步に限らうとの移民法案ル聯邦下院へ提出す
△一一、二二、世界の醫學者として、黄熱病源發見の權威者野口英世博士來伯

一九二四年
△二、二五、漁業、海運業或は製鹽業と常に人より一步先きへ實行して行つた企業家、山縣勇三郎翁マカエの自宅にて永眠す
△二、二七、在伯日本人同仁會生る
△五、二九、大阪毎日新聞社では議政宮殿下の御經儀を記念するためブラジル渡航奬勵の一部にもと、二萬圓を海興に依賴し
△七、一、米國の排日移民法案にクーリッヂ大統領署名す
△七、五、サンタアンナ兵營の聯邦陸軍步兵の一隊は退役一將軍指揮下に叛亂を起し、九二四革命の口火を切る
△一一、七、伯國獨立百年祭にに就ひの品として在伯同胞から聖州立博物館へ寄贈の甲冑到着す

一九二五年
△六、十五、槃城局からプエノスアイレス放送局へ新聞記事二百語づつ放送開始
△八、二七、關東の大洪水、東京の淺水家屋四萬戸に及ぶ

一九二六年
△五、廿六、前州統領アルチノ・アランテス氏本社を訪問され約一時間に亘り視察さる
△十、卅一八五低資貸付に決定
△十一、十五、約五十人の邦人サンゴンサーロ寺院に於てカトリックの洗禮を受く
△十二、廿五、午前一時廿五分、大正天皇陛下葉山御別邸に於て崩御遊ばさる、本日以後年號を昭和と改めらる

一九二七年
△五、廿三、アリアンサ行植民を乘せた特別列車ソロカバ驛附近で正面衝突、死者五名、負傷廿三名を出す
△八、卅一、本社創立十周年記念日に當り、十六頁の記念號を發刊す
△九、五、第十三回萬國議員商事會議を聯邦下院に於て開會さる
△九、廿四、本社十周年記念に當り日伯親善に貢ぜんとの見地から、ホテル・テルミナスの大食堂に於て聖市衞字新聞記者團を招待し、大晩餐會を催す
△十一、一、ノロエステ線リンス市に本社の支社を新設、晉木植次郎氏初代主任となる

一九二八年
△三、十、午前五時サントス市モンテ・セラッテ崩れ、死傷者三百名を出す
△五、廿二、世界的醫學者野口英世博士長逝す
△八、十七、慶大生十四名聖州農業駐在視察のため來伯
△十一、十、今上天皇陛下御即位の御盛儀を擧げさせ給ふ

一九二九年
△一、廿七、大動位久邇宮邦彦王殿下御渡伯に於て薨去遊ばさる
△四、十、同業日伯新聞社一使用人の爲めに破壞さる
△九、廿九、田中義一男渋去す、
△十、廿一、代議士坂本一角氏を團長とするプラジル視察團來伯
△十、廿二、満洲國成立を日本正式に承認し、武藤信義大將特命全權大使に任命さる
△十一、十五、本紙週二回發行さなる

一九三〇年
△四、十五、マハトマ・ガンヂーを首領とする印度獨立運動起る
△七、一、ソロカバナ線ブレシデンテ・プルデンテ市に本社支社を新設、遠藤文治氏初代主任となる
△七、十七、沖縄縣移民會館建設のため渋那盛和代議士來伯
△七、廿六、ペルナンブコ州レシフエ市に於てパライバ州統領兇彈に斃る
△十一、十四、濱口雄幸氏東京驛頭に於て狙撃さる

一九三一年
△三、十三、三浦日伯社長國外追放と決まる
△三、廿四、英國皇儲殿下ウエルス殿下竝にヨーク殿下御來伯遊ばさる
△四、廿九、天長の佳節トルシスタノ運動場で開催さる
△六、十五、海外興業株式會社州有地五万町步の本契付を受く
△六、廿八、九日に亘り大霜降る
△八、十三、ボルトエピタシオに於てモータボート沈沒し、邦人十六名溺死す
△九、廿六、漢口、香港に排日運動起り多數の死傷者を出す
△十、廿一、パストスの名物男吉永宗義氏、黒人ゼヨセ・フエリシアーノに殺害さる
△十一、十五、本紙週二回發行さなる

一九三二年
△五、一五、犬養首相陸海軍人十八名の爲に襲撃され薨去す
△七、三一、第十回オリムピック大會ロスアンセルスに於て擧行さる
△九、七、満洲國を日本正式に承認し、武藤信義大將特命全權大使に任命さる
△三、二七、帝國政府國際聯盟を脫退す
△六、一八、ピラ、マリアーナ日本病院數地　於て邦人渡伯廿五周年祭を執行し、本社では廿四頁の記念號を發刊す
△七、十五、同胞渡伯廿五周年記念伯剌西爾年鑑本社にて發行す
△七、二八、満洲國特派全權武藤信義大將薨逝す
△八、十二、五號活字の時報紙を六號活字に改む
△九、二、日本陸上選手編井行雄外五名來伯
△九、六、第二回全伯邦人陸上競技大會パウリスターノ運動場にて擧行さる
△九、九、十日開日に亘り、日伯對抗競技大會開催され、日本選手壓倒的大勝をなす

一九三四年
△二、廿五、第一回全伯雄辯大會聖市勞働會館に於て催さる
△四、一三、移民二分制限案二三九名の贊成を得て議會の裏決に附さる
△四、十五、第三回兒童すりムピック大會シエルマニア倶樂部に於て開催、第二世偉力を發揮す
△五、廿九、元帥海軍大將正二位大勳位伯爵東鄕平八郎氏薨去さる
△六、六、移民二分案提出者ミゲル・コート博士長逝す
△七、十一、本紙第一千號記念號を發刊す
△八、二、獨逸共和國大統領ヒンデンブルグ元帥逝く
△八、卅一、兒童月刊雜誌「子供の國」創刊號發刊す
△十一、一、本社リンス支社主催全ノロ青年野球大會火蓋切る

一九三五年
△五、十六、平生氏を團長とする訪伯經濟使節團着伯、本社では歡迎特輯號　發刊
△七、六、在伯同胞の父上塚周平翁リンス市にて逝去
△九、七、第四回全伯陸上競技大會ノロエステヂーム優勝す
△十、十四、アルマンド州統領パストス殖住地訪問
△十一、三、第二回ノビシモ對コロニアの陸上競技大會、援軍の來コロニア敗る
△同日、本社リンス支社主催の全ノロエステ青年野球大會本日より三日間開催、リンス軍優勝す

一九三六年
△一、廿八、英國先帝ジョーヂ五世の御大葬、ウインザー・セントジョーヂ寺院にて行はる
△二、廿六、陸軍行動派九百名白雪かりつて重臣、大臣を殺害す
△七、十九、スペイン革命起る
△八、十一、第十一回萬國オリムピック大會本日よりベルリンに於て開催さる
△八、廿四、アマゾン拓植會社へ百万ヘクタールの土地切讓問題、十八對十一にて否決さる

賀正　一月元旦
雜貨商
山中寬治
ソロ線ブ・ベルナルデス驛
ピラ・ノーバ　郵函五八

賀正　一月一日
別府三郎
ソロ線ブ・ベルナルデス驛
郵函一六二
パタン、棉作用丸形改良鍬特製及物各種製造

賀正　一月一日
白石重德
ソロ線ブ・ベルナルデス驛
郵函一一一　電話二一
農產物仲買

賀正　一月元旦
福重
ソロ線ブ・ベルナルデス驛
郵函一六二
バーソルベタリヤ

賀正　一月元旦
井上良太郎
ソロ線ブ・ベルナルデス驛
郵函一三八
棉花雜穀仲買

賀正　一月元旦
下江鐵工所
下江周一
ソロ線ブ・ベルナルデス驛郵函一一七
棉播機、アラードカルピデーラ製造

賀正　一月元旦
福原憲一
ソロ線ブ・ベルナルデス驛
電話八七　郵函一一五
バダリコンフエタリア

謹賀新年　昭和十三年一月一日
中橋兄弟鐵工所
ソロ線ブ・ベルナルデス驛
電話九四
郵函一二二
農具、家具、諸車建具類一式製造

謹賀新年　昭和十三年一月一日
田實商店
雜穀仲買
雜貨商
ソロ線ブ・ベルナルデス驛
郵函一八
電話五四
ブラスコット棉花仲買

謹賀新年　昭和十三年一月一日
太田商店
太田熊一
ソロ線ブ・ベルナルデス驛
電話一八
郵函一八七
雜貨商

謹賀新年　昭和十三年一月一日
古賀商店
ソロ線
ブ・ベルナルデス驛
電話六〇
郵函一三二
内外雜貨商
農產物仲買

謹賀新年　昭和十三年一月一日
小笠原商店
雜貨商
ソロ線ブ・ベルナルデス驛前
郵函四〇

謹賀新年　昭和十三年一月一日
吉原兄弟商會
雜貨商、御菓子製造卸小賣
ソロ線ピケロピー驛
郵函一九

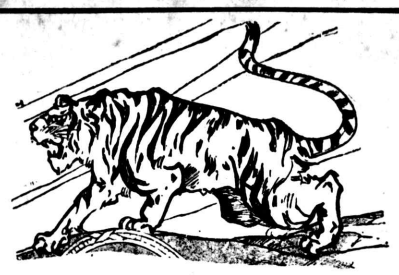
謹賀新年　昭和十三年一月一日
小林商店
内外雜貨、農產物仲買
ソロ線ピケロピー驛
郵函三八　電話四

謹賀新年　昭和十三年一月一日
稻毛父子合名工場
稻毛熊次郎
農具家具一式
プランタ機製造
ソロ線ブベルナルデス驛
電話四一
郵函七一



猛虎の威力
獸王を驅逐す
でも支那の苛政者虎より怖し

三郎生



寅の字が虎とはどんな關係があるか、筆者は一向に不案内であるが、兎に角寅年には虎の話でもせなければや氣が惡くなるやうに思はれる

由來虎はアジア産だけに我等日本人には同じ猛獸でもライオン等よりなじみが深い。丁度馬坊より支那人が心安いと同斷である。心安いと云つても五月の節句の張子の虎のやうに安神して近付ける代物でも無いから、動物園の虎と、ンガポール博物館で剝製の虎を見ただけである。大體祖國日本には幸か不幸か野山には居ないから單に筆者に限らず、同胞全體此程度の智識だらうと考へる

ライオンと虎とが猛獸の雙璧たるとは洋の東西を問はず論の無いところであらう。だがライオンなんて、たて髮があつて少々ナサツカナイ見たいだけだ。虎は皮の美しい點では斷然一段と上だから言つても決して引けは取らない、見事なものである。何でも四洋の話に力む慢の男が擅ヨアシでライオンの頭を打つ斃したそうだ。所がヤマト魂の權化、加藤清正でさへ、虎退治には祕藏の槍の穗先を中分折られ、冷汗を流して居るんだ。斷然我等の虎は、黑坊のライオンより上である。其の證據に西アジアには昔は澤山ノサバツてゐたライオンは虎との生存競爭に負かされて段々數が減つて今では零に近くなつてゐるのでも明かだ。これは動物學者の話だから確だらうと思ふ

牡丹に唐獅子竹に虎で大體森林中の動物だ。だが森林に限つた理でなく隨分色々の場所に棲む。決して靜かにしてゐない奴で、動物園の檻に居てさへ絕えず フラフラ歩き廻つてゐる曠野では一日の行程五十里位に及ぶとある西方裏海の岬、ペルシヤから東はツンゲースの住むシベリヤ迄南はマラツカの海を越ねてスンダ列島まで擴つて、人舍に猛犬の脅威を與へる。何分廣大な地域に擴がつてゐるため、各地で稍形が異つてゐる。朝鮮から滿洲方面の奴はアムール型と稱し、大形。氣候の關係で毛が長く色が薄い。冬種れた皮は此の種類が最優品で何百圓とする。一番小形はスンダ型でジヤバ、スマトラ産。シンガポールから東印度方面は毛色が特に鮮明で大形だ。これをベンガル型と云ふ西部アジア産はヒヨロリと足が長い

人には絕對に馴れない。仔の間は稍馴れた樣でも生育を終ると完全に野生に還る。ライオン等は飼育されてゐる中に良く馴るからサーカスでも宜く使ふところが虎となると大凡そ雜物で恐れる事を知らない猛獸使でも雜物中の雜物だ。だからサーカスでも虎をじ由に驅使する者甚だ稀である。又檻の中では殆んど繁殖することがない

曠野密林中の暴君は又如何なる生物でも凡そ恐れる事を知らない。其空腹時に遭遇した生物は災ひなるかなである。但し仲々敏な奴だから衆と爭だけには一目置いて遠慮申上げるさうだから、弱者に強く強者に弱いと云へる

今の所最も澤山虎のゐる場所は東印度から、馬來半島方面で隨分人間が犧牲になる。ゴム栽培中虎にやられた邦人も可なりある。印度に至つては虎害のために倒れる人は年々大へんな數で其の被害の大なるは到底ライオンのそれと比較にならないだから虎狩は懸賞附だが、アフリカではライオンを一頭取れば幾何と稅を取られる

又印度の王さまは大象群を作つて虎狩をやられる。一つには害獸を除き一つには兵隊さんの士氣を鼓舞するとある。誠に一擧兩得である。三噸も五噸もある大象數拾頭に地響きをうたせ、熱帶の原野に



虎の生活狀態

元來虎は孤獨生活を營むもので、時季に依つてほど棲息所が定つてゐる、朝鮮では松の多い山と岩山に多い、晝が丸く夜だけ活動するが動作は猫そつくりで餌物を認めると徐かに進み、れっひらつけてから急にその後方から飛びつき前肢で打斃し、喉を咬へてひきたふし、頭の骨をはづして了ふ、水を泳ぐ事も木によぢることもできる歩くことが速く、英語のタイガーはヒンドゥ語の矢に出で、その速い意をとつたものだといふ、冬季は棲息所から半徑八―一〇哩の圓を描いて出沒するが、これを千里の藪を越ねると云つたのである、虎は一夫一妻、妊孕期間は一四―一五遍、三年に一産、一産に二―五は大丈夫である

仔を分娩する、幼仔は專ら母獸が口に銜へて運搬する、母仔の群れば最頂點だらう。御金もかゝらず虎にもやられる心配が無ければ姿義もこの育成中だけ、母仔の群筆者だつて喜んで參加する

支那の古書に虎の話がある。何でも山奥の奥の方に老婆が一人住居してゐた。そこへ或る事者が訪れて行つて聞いた補話だ。ナモラでは無い。婆さん涙を流して、先年妾の主人が虎に食はれ、又昨日息子が虎に取られましたさめん〳〵と淚話をした。聞いた男は大いに氣の毒がつて、そんなら里に近い所へ出たらさ言つたところ婆さん曰く里に出ると何分稅金がヒドクござんして。後にこの男日記に苛政者猛二於虎一と記入した

支那の役人の苛政誅求は今も昔もかはりなく野に生色無く共私腹を肥す爲めに散々搾取をやる。此の虎より猛々しい中華民國々民竊の面々並に共匪共な相手に眼も遙かな大陸の中原で、大關さんさへ夢に見て死んだ、大征伐、ドンドンパチパチとやるは、印度の虎狩等は足下に寄り附けない、スポーツの豪華版……エートラ面白ろくまつせ

正賀　一月一日
藤澤理髮店　藤澤金藏　ソロ線ブ・ウエンセスラウ驛　郵函一六

正賀　一月一日
雜貨商　本道利八商店　ソロ線ブ・ウエンセスラウ驛　郵函三六

正賀　一月一日
松浦呉服店　ソロ線ブ・ウエンセスラウ驛　郵函一六

正賀　一月一日
和洋御菓子製造卸小賣　吉田製菓所　吉田竹美　ソロ線ブ・ウエンセスラウ驛　郵函四五

正賀　一月一日
雜貨商　新垣商店　ソロ線ブ・ウエンスラウ驛　郵函一六

正賀　一月一日
上出洋服店　上出豐義　ソロ線ブ・ウエンセスラウ驛郵函五

正賀　一月一日
ブルデンシヤ貯蓄銀行代理人　御旅館　松井萬次郎　ソロ線ブ・ウエンセスラウ驛　郵函一六

謹賀新年　昭和十三年一月一日
農產物仲買　內外雜貨商　西山商店　ソロカバナ線ジョン・ラマーソヨ驛　郵函四四

正賀　一月一日
內外雜貨商　松浦商店　ソロ線ブ・ウエンセスラウ驛　郵函五八　電話一八

謹賀新年　昭和十三年一月一日
齒科醫　堀本禮藏　ソロ線ブ・ウエンセスラウ驛　郵函四六

謹賀新年　昭和十三年一月一日
內外雜貨　農產物仲買　杉原春太郎商店　ソロ線ブ・ウエンセスラウ驛　郵函一六　電話一二

謹賀新年　昭和十三年一月一日
山田藥局　ソロ線ブ・ウエンセスラウ驛　郵函五　電話五〇

謹賀新年　昭和十三年一月一日
雜貨商　堀部商店　ソロ線ブ・ウエンセスラウ驛　郵函二二

正賀　一月一日
農產物仲買　喜名樽　ソロ線ブ・ウエンセスラウ驛　郵函一六　電話四二

謹賀新年　昭和十三年一月一日
富士山旅館　石田竹次　ソロ線ブ・ウエンセスラウ驛　郵函一六

謹賀新年　昭和十三年一月一日
內外雜貨商　出利葉支店　今井賢藏　良永久吾　ソロ線ブ・ウエンセスラウ驛　郵函一六　（本店）イグアッペ郡レジストロ市街地

謹賀新年　昭和十三年一月一日
マタラーゾ會社代理人　棉花、雜穀仲買　松山嗣雄　ソロ線ブ・ウエンセスラウ驛　電話一　郵函六二

謹賀新年　昭和十三年一月一日
精珈、精米業　マキナ・セントラル　伊藤陽三　關常一　小野幸三　ソロ線ブ・ウエンセスラウ驛　電話三一　郵函一六

寅　今年は戊寅である、本來寅ハトラと讀み十二支の第三で方位東北東、時刻では午前四時である

今★年★の九星判断



一白水星（五十七歳）明治十五年生
（四十八歳）同廿四年生、（卅九歳）同廿三年生、（卅歳）同四十二年生（廿一歳）大正七年生、（十二歳）昭和二年生、（三歳）同十一年生
本年は中運の年柄なれば何事も無らすに不動の努力を續けて成功を得る心懸が肝要です。いくら良い運勢の年でも怠けてをつては金儲けは出來ません。またやそれ程でもない運勢の年には油斷せず努めれば何事も良結果は得られない勤る事に賢明な貴下に事改めて忠告するまでもないが、老婆心から一言申上げます。新事業開始、普請移轉、旅行婚姻は凡て吉月方を選んでなさい。

二黒土星（五十八歳）明治十四年生
（四十九歳）同廿三年生、（四十歳）同卅二年生、（卅一歳）同四十一年生、（廿二歳）大正五年生、（十四歳）同十年生、（三歳）昭和元年生（四歳）同十年生
此の人々の運勢は諸事滑り勝にて何事も自分の意志に反する許りか後期せぬ支障の爲に折角の計畫も中止せざればならぬ破目に陷るともあれば諸事控めになさるが安全です。人に依つては、住宅の普請や經驗ある事業を開始するのは秋季の末か冬季は差支ないのです。

三碧木星（五十九歳）明治十三年生
（五十歳）同廿二年生、（四十一歳）同廿一年生、（廿二歳）同四十年生、（廿三歳）大正五年生、（十四歳）同十四年生、（五歳）昭和九年生
丁度高い足場の上で仕事師や大工職が働くのは、四邊で見るときさも樂しそうだが、其當人とすれば仲仲氣のゆるせぬ事です。放心して一度足を踏み外すときは眞逆樣に墜落する危險があるからです。貴下も氣弛みが生じ呑氣に構へる〻取返しのつかぬ失敗を招き易い年柄故注意なさい。殊に警察事故裁判沙汰に注意したが良いと愚ひます。

四緑木星（六十歳）明治十二年生（五十一歳）同廿一年生、（四十歳）同廿九年生、（廿四歳）大正四年生、（十五歳）同十三年生、（六歳）昭和八年生
何事を爲すにも辛勞の多い年ですが然し努力次第で相當良い結果を得られますから性來の樂天的な態度を捨てて萬事緊張してお遣りなさい。東や辰巳の方に向つて爲す事は殊に骨折りや苦勞は多いが貴下が強固な意志で遂進する勇氣さへあれば此方位に向つて爲す事も成就します。然し目下の病氣や家庭の紛糾問題等の惱みがありますから注意なさい

五黄土星（六十一歳）明治十一年生
（五十二歳）同廿年生、（四十三歳）同廿九年生、（卅四歳）同廿八年生（廿五歳）大正三年生、（十六歳）同十二年生、（七歳）昭和七年生
餘り上運とは云へません、何事も充分なる辛抱と愼重なる事が動機となつてその金錢を破壞するやうな結果を來すことがあります。それ故日頃の氣質に任せて無理や强情で押切らうとせない方が良い、又近親の病氣や世話事或は土地問題にて惱む事がある、事柄によつては東方の人に相談なさい、普請、移轉、婚姻、開業等に秋の末か冬が宜い吉です

六白金星（六十二歳）明治十年生、（五十三歳）同十九年生、（四十四歳）同廿年生、（廿五歳）同廿七年生、（廿八年生、（卅五歳）同廿七年生、（廿六歳）大正二年生、（十七歳）同十一年生、（八歳）昭和六年生
貴下の心懸け次第で多少無理だと思ふ事も成就します、それには一心不亂に不斷の努力を續ける覺悟が必要です、外見や外聞を厭つたり、懈意心を出して遲巡して居つては、出來るべき事も不成功に終ります、斷の一字あるのみです

七赤金星（六十三歳）明治九年生、（五十四歳）同十八年生、（四十五歳）同廿七年生、（卅六歳）同卅六年生、（廿七歳）大正元年生、（十八歳）同十年生、（九歳）昭和五年生
外見よりは煩悶苦勞の多い年柄ですから、新規事業、婚姻、移轉等總て吉です

八白土星（六十四歳）明治八年生、（五十五歳）同十七年生、（卅七歳）同廿六年生、（卅八歳）同四十五年生、（廿九歳）大正九年生、（十歳）昭和四年生、（一歳）昭和十三年生
本年はたださへ苦勞の多いのに不意に思ひもよらぬ事件突發して一層苦辛、苦勞する事があります、非常に惡い年廻りですから投機的冒險的の事は勿論、新規の事は如何に他人が勸めても手出しをしてはなりません、從來の事に墨守するのが一番安全です、利口振つて損をするより腰拔けだ、馬鹿だと陰口されても無事安全を計る方が遙かに良策です、斯る年柄ですから新規なとは何事も見合した方が良い

九紫火星（六十五歳）明治七年生、（五十六歳）同十六年生、（四十七歳）同廿五年生、（卅八歳）同廿四年生、（廿九歳）同四十三年生、（廿歳）大正八年生、（十一歳）昭和三年生、（二歳）同十二年生
本年は漸々と良い方に運氣が向ふ兆があり、何となく心勇み、何かに一つ企て、見たい云ふ氣持が出ます、それですから他人が甘い話を持ち出すとつひ乘り氣になります、凶らい去年の後ですから餘り調子に乘り過ぎることは良くない何事も八分に止める心掛きへあれば笑はれるやうな失敗はありません、新規事業、婚姻、移轉等總て吉です

世界珍ニュース

世界大聲記錄

米國テキサス州のリークスマン君は當年廿二歳の靴買屋さん、最近八哩四方一三州に轟き渡る大音聲を張り上げて世界大聲記錄をつくりました、テネシー、バージニアケンタッキーの三州に耳をそば立てて待ち構へて居た審判官は、丘を越へ、谷を渡つて初めはかすかに、次第に判然と、遙々八哩の彼方から、リークスマン君の聲を同じ時刻に聞きとつたと云ひます

結婚で罪人釋放

獨逸のナチスでは世界の怪傑ヒットラーが大統領に就任して以來、國力の充實をはかるために、殊に熱狂的に、産めよ殖やせよ、と徹底的に人口の增加を奬勵してゐますが最近それに輪をかけた徹底的な案を發表して、世人をアつと云はせました、と申すのは罪を犯して刑務所に服役中の者でも、新たに結婚すると云ふ條件なら、減刑あるひは出獄させると云ふ案で、

謹賀新年
第一モンソン日本人會
第一モンソン青年會
ソロカバナ線セルケーラ・セザール驛

謹賀新年
昭和十三年一月一日
精珈、精米工場
農産物仲買
內外雜貨商
柞磨商店
柞磨宗一
ソロ線ジョアン・ラマリヨ驛

謹賀新年
昭和十三年一月一日
內外雜貨、農產物仲買、御旅館
正田中
一月元旦
田中商店
中弘
ソロ線セルケーラ・セザール驛　郵函五一番

謹賀新年
昭和十三年一月一日
內外雜貨商、農產物仲買
トモピーの御用に應ず
小林商店
小林英五郎
ソロカバナ線セルケーラ・セザール驛　郵函九六番

謹賀新年
昭和十三年一月一日
ボアビスタ耕地
平田滿
外在耕者一同
ソロカバナ線セルケーラ・セザール驛

謹賀新年
昭和十三年一月一日
植木武夫
パールウエキ
並にロテリヤ
ソロカバナ線セルケーラ・セザール驛
郵函一九番

謹賀新年
昭和十三年一月一日
日の出精米所
伊藤浪四郎
郵函一

謹賀新年
雜貨商
磯村商店
郵函三〇

農產物仲買
雜貨商
ソルベッテリヤ
運搬業
傘商店
郵函一五

農產物仲買
內外雜貨商
平川商店
郵函二一七
ソロカバナ線カラムル驛

ソロカバナ線サント・アナスタシオ驛商工組合（イロハ順）

謹賀新年
昭和十三年一月一日
パール・和洋御菓子
ペタリヤ・ジヤポネース
宮路國俊
郵函五六

パール・ソルベタリヤ
和洋御菓子
ペタリヤ・エストレーラ
山崎俊男
電話一七
郵函一三三

パール・レストランテ
ソルベタリヤ・玉突
パール・パウリスタ
大塚健生
電話二七　郵函九五

御旅館
ホテル・マルベーヂ
鈴木義雄
松原勝三郎
郵函九〇

雜貨商
大西支店
電話七
郵函一三八

雜貨商
中島正雄
郵函一七八

農產物仲買
古賀荒太郎
郵函六

相川庄之助

パール・ソルベタリヤ
和洋御菓子・玉突
佐々木忠志
電話一七
郵函二八

棉花・農產物仲買
菊池全
電話四〇
郵函一四八

雜貨商
瀨戸口善作
郵函二二

賀正
一月一日

アルヴアレス・マツシヤード産業組合

ソロ線ア・マツシヤード驛　郵函二九　電話二六

賀正
一月一日
農産物仲買、雜貨商
長田光德
ソロカバナ線ア・マツシヤード驛
郵函八八

賀正
一月一日
本田丈右衛門
ソロカバナ線ア・マツシヤード驛
郵函一一三

賀正
一月一日
醬油製造所
比嘉又榮
ソロカバナ線ア・マツシヤード驛
郵函一〇四

賀正
一月一日
寫眞業
安中末次郎
バストス市街地　郵函三五〇

賀正
一月一日
雜貨商
田川商店
田川壽雄
バストス市街地

謹賀新年
昭和十三年一月一日
西靜一
バストス市街地

謹賀新年
昭和十三年一月一日
パール
パダリヤ
上間善次
バストス市街地
郵函一八七

賀正
一月一日
寫眞館
村上繁
ソロ線ア・マツシヤード驛

賀正
一月一日
カーザ・ブラタク
アルヴアレス、
マツシヤード代理店
郵函一六五

謹賀新年
昭和十三年一月一日
成蹊裁縫女學院
院長　赤松節子
企教師　竹井松子
◎綜合教育への完成を期す
入學隨時……但シ一月十日新學期開始
寄宿舍完備
アルヴアレス・マツシヤード驛
郵函一七六

謹賀新年
昭和十三年一月一日
ソルベテリヤ
バール山川
山川吉次郎
バストス市街地
郵函八五
電話五

謹賀新年
昭和十三年一月一日
パール
御旅館
高橋商店
バストス市街地
郵函四一五

あけまして
お芽出たうございます
一月元旦
料亭
美登利
バストス市街地

賀正
一月一日
雜貨商
佐藤正志
ソロ線ア・マツシヤード驛
郵函七〇　電話三

Pharmacia Nossa Senhora da Apparecida
Phco. José Candido de Mancilha

謹賀新年
昭和十三年一月一日
アパレシーダ藥局
ジヨゼ・カンジード・デ・マンシーリヤ
福瀧馨
バストス市街地
郵函三八三

謹賀新年
昭和十三年一月一日
産業會館食堂部
バストス市街地

謹賀新年
昭和十三年一月一日
西澤打綿工場
西澤仙助
純日本式
布團綿製造
古綿打直
各種布團調製
ソロカバナ線
ア・マツシヤード驛
郵函七二

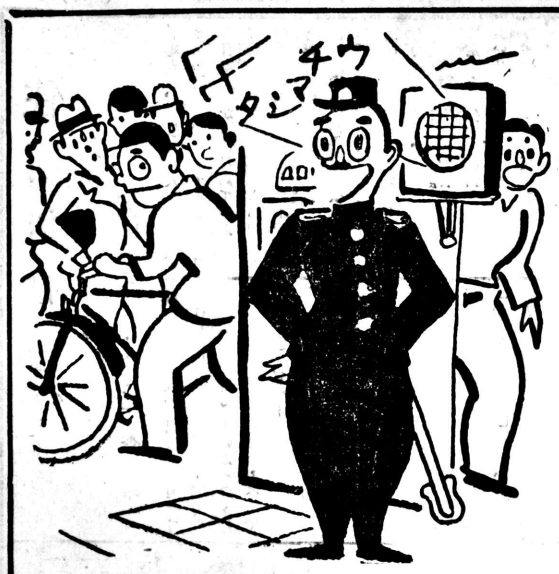
謹賀新年
昭和十三年一月一日
バストス運輸組合
組合長　越智勉
常任會計兼書記　上田敏夫
會計理事　矢崎秀夫
理事　伊藤正勝
仝　富山太
仝　西本重志
監事　ミトレ・アイレス
仝　中村三四二

謹賀新年
昭和十三年一月一日
ソロカバナ鐵道所屬バストス、ランシヤリヤ間運輸部
バストス、ランシヤリヤ間乘合自動車部
スタンダード石油會社代理部

謹賀新年
昭和十三年一月一日
精珈、精米工場
マキナ・ジヤポネーザ
佐藤喜作
後藤利一
從業員一同
バストス市街地

謹賀新年
昭和十三年一月一日
シエヴロレー自動車代理店
サンバラ棉花會社代理人
後藤利一
バストス市街地

新年漫画



交通筋がちやごいたく〳〵と追拂つたトムン
「セツトく、〳〵」にお巡さん
「こりやだらしがいわイ」と一人でおたのしみ

野球シーズン



玉葱畑
親父「アンまア、なにをそげなに泣いてんだよ」



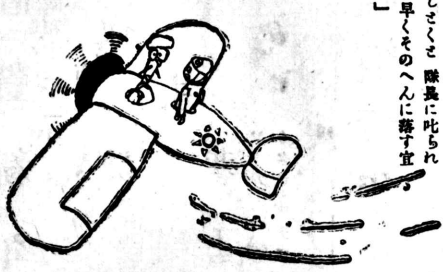


飲ます家
なくてカフエーへ回漕し

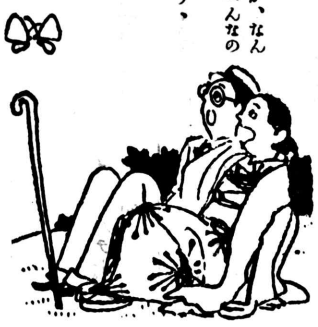


酔ふ多のおと月よと
女給さん





支那機盲爆の謎？
「未だ爆彈が殘つてるアル」
「殘しさくと 隊長に叱られろ、早くそのへんに捨す宜しい」



蝶
なんだか、なんだか、へんなのようラ、ラ、



アナ君の苦衷
「只今幡瀬川猛烈に突つ掛けました……幡瀬川突つ張つて居ります、失禮、巴潟の方でした、巴潟が突張つて居ります……アツ、イヤ……あの肩に膏藥の貼つてある方です」



賀正
一月元旦

農産物仲買商
初村子之吉
ソロカバナ線ア・マツシヤード驛
郵函六六　電話一九

賀正
一月一日

上月兄弟商會
ア・マツシヤード驛
郵函五一

謹賀新年
昭和十三年一月一日

吉田寫眞館
吉田利一
ソロカバナ線アグードス市
郵便局前　郵函十一

謹賀新年
昭和十三年一月一日
内外雜貨商
加藤商店
加藤滿
ソロカバナ線
サンタ・クルス・ド・リオ・パルド經由
エスピリト・サント・ド・ツルガ町

謹賀新年
昭和十三年一月一日
内外雜貨商
平田商店
平田安賴
ソロカバナ線
サンタ・クルス・ド・リオ・パルド經由
エスピリト・サント・ド・ツルガ町

謹賀新年
昭和十三年一月一日
農産物仲買商
安里商店
安里德良
ソロカバナ線アグードス市
郵函十

謹賀新年
昭和十三年一月一日
内外雜貨卸小賣
棉花仲買商
米田商店
電話一〇七
ホテル米田
ルア・アルリンド・
ピアターデ一七七（公園通リ）
電話一三七
バール塩川
公園前シネマ館内
電話八六
ソロカバナ線
サンタ・クルス・ド・
リオ・パルド市

謹賀新年
昭和十三年一月一日
三共商會
ソロカバナ線アグードス驛
郵函十七
電話四八
運送部
平江末熊
サンタ・クルス・ダ・ボア・ピスタ町
商店部
森田穣
サンタ・クルス・ダ・ボア・ピスタ町
商店部
インペリヤル・ミシン代理店
萩原仁平次
アグードス市

「住所」法律論

君のスメエは何處かあ？……巡査氏

日本人は、何故日本人であるか、といふ問題は、ナヤダもオフクロも日本人だから、なんていふ答解は駄目である。これはもつとやかましいんで、即ち大日本帝國憲法第十八條に「日本臣民たるの要件は法律の定むる處に依る」といふ。その法律（國籍）に依らなければならない、つまりナヤダが日本人であらうとなからうと、日本帝國に國籍が有するか否かが問題を決定する。然らば國籍とはなんぢやい？　國籍に噛りつく前に、しやぶつて置かなくてはならないのは、戸籍といふ奴だ。一體日本人は、吾國特有の家族制度の結果として必ず家（戸）の一員でなくちやならんのだが、その爲には内地では戸籍法、新領土では朝鮮戸籍令臺灣戸口規則の規定に基いて公簿（區役所の臺帳ですな）に登錄されなければならない。つまり、この帳面が戸籍簿といふもので、この親子が一家分まとまると戸籍といふことになる。戸籍は從つて、生きた人間一人一人の登錄簿のより集りだが、その他にもう一つの意味をもつてゐる。それは「家」といふ無生の法律的存在だ、戸籍が「家」の法律的存在を示すといふとは云ひかへると、戸籍は共同社會團體である家の住所を云ふものが出來る。×町×丁目×番地といふ表示が戸籍として通用することは誰でもしつてゐる。ところで、其の家に住んでゐる戸主（ナヤザ）その又は家族は、戸籍を以つて本籍とすべしといふ規則から、個人の住所といふものは、そのよつて住む家はそのものにレイゾクするといふ事になる。ムヅカシイが、判りますか？　齋藤花子さんが大山一郎さんと結婚すると大山花子さんになる。何故かあ？　つまり法律に「妻は婚姻に因り夫の家に入る」とあり又さらに「戸主及び家族はその家の氏を稱す」てた譯で、こゝに大山花子さんと相成つた次第だ然し現實の住所については法律トクトソットスルアスネ）「妻は夫と同居する義務を負ひ」「夫は妻をして同居を爲さしむることを得」とあるから、いやでも應でも女房は亭主と一緒に寢ざにやならん（そーが嫌なら出て行きな）吾日本の民法で1妻の住所といふものは法律上規定されてゐない（夢にもエは出來ません）女は三界に家なしと、やれやれに氣の毒さま）妻の「生活の本據」が、夫の住所以外にありそれればそれは、嚴密にいつて妻であると云へない。妻といふものゝ意味に於き違へてゐるといふべきである。どをちやゝ

子供の住所

は何處だんべえ？

「子は父の家に入り」「父の知れざる子は母の家に入る」（民法七三三條一、二項）で至極簡單にきまつてゐる譯だが、世の中は複雜だ。父親がたしかに判つてゐても「子は父の家に入」れない場合もある。わたしの眼の黒いうちは、なんて敢然がんばられたんぢや、父親もベチャンコである。さういふ時はどうなるか、法律に「父の家に入ることを得ざる時は母の家に入る」と親切にも規定してくれてゐるから、この子の籍もどうやら定つた形だ。がもう一つ然し、さういふ場合がある。父も母も知れない天涯孤獨の場合にはどうであるか、又、母の家に入らうとしても入れない私生兒君はどうであるかよろしく一家を創立すべきやつまり原始的に本籍を取得すれば宜しい。こゝで子の籍はきまつたが、その住所はどうなる。いふまでもなく「子はその家にある父又は母の親權に服する」から、どうしたつて親權者の膝もとを離れることがあつたとしても「未成年の子は親權を行ふ父又は母が指定したる場所にその居所を定むることを要す」とある以上どうしもならん。この場合、特に居所といふ言葉が使用されてゐるのは、子が親のスネを噛つてゐる間は、スネの持主以外に住所を定め得ないことを示してゐるのではなからうか、もしさうだとすると明文をもつて子の法定住所が規定しなかつた吾國でも、それが洞察するとは雜事ではない幼にして父母を失ひ、さいふ憐むべき子供の場合、幾見人によつて親權が行はれる。この未成年君の住所は、よし本籍が幾見人と異ふとしても、住所だけは同じくするのを見るべきぢやらう

時代が時代

「だい此の洋服ダンスはいくらだい」「二十圓づつ四ケ月拂ひで御座います」「で、即時拂ひだと」「それはどうも、あまりそう云ふ方が御座いませんので、一寸計算出來ませんが」

謹賀新年
昭和十三年一月一日
各種布地、帽子、洋傘、小間物類
インペリヤルミシン代理店
井上呉服店
井上樹義
ソロカバナ線ブ・プルデンテ市
イタロ・ブラジレイロ銀行隣り
郵函二五

謹賀新年
昭和十三年一月一日
ブ・プルデンテ同仁會地方醫局
内田利藤次
ブ・プルデンテ市
ルア・マノエル ゴロアルテ七六
郵函 二四八 電話 一五〇

謹賀新年
昭和十三年一月一日
絹毛織物、リーニョ、プリン其他各種流行服地豊富に取揃つてゐます、何卒御洋服御調製は弊店へ御用命の程を願ひます
宮崎洋服店
ブ・プルデンテ市
郵函 二四六

謹賀新年
昭和十三年一月一日
農産物仲買
雜貨商
大西兄弟商會
ソロカバナ線ブ・プルデンテ市
電話一三八 郵函八一
大西支店
ソロカバナ線サント・アナスタシオ驛 電話七 郵函一三八

謹賀新年
昭和十三年一月一日
PHOTO ITALIANA
José Moreno
R. Tte. Nicolau Maffei 46 C. P 399
Pres. Prudente — E. F. S
謹賀新年
昭和十三年一月一日
各種時計、貴金屬、眼鏡、蓄音機レコード 販賣並に修繕
小本時計店
小本伊三郎
ブ・プルデンテ市 郵函四〇七

謹賀新年
昭和十三年一月一日
内外雜貨
農産物仲買
梅澤商店
ソロ線ブ・プルデンテ驛
ポアピスタ植民地
郵函二八一

謹賀新年
昭和十三年一月一日
寫眞機、寫眞材料販賣並に修繕、現像、燒付、引伸
フオト・イタリアーナ
寫眞材料店
ジヨゼ・モレノ
ソロ線ブ・プルデンテ市
ルア・テネンテ・ニコラウ・マツフエイ四六 郵函三九九

謹賀新年
昭和十三年一月一日
バール八代
鍬崎寅吉
ブ・プルデンテ市 サンタ・カーザ前
郵函二三九 電話二一六

謹賀新年
昭和十三年一月一日
日本人會
青年會
植民組合
青年會
ソロ線ブ・プルデンテ驛 郵函三七

謹賀新年
昭和十三年一月一日
Bar e Confeitaria Abestruz
Pres. Prudente — E. F. S.
謹賀新年
昭和十三年一月一日
バール、和洋御菓子製造
婚禮祭禮用御菓子の御注文には特に勉強致します
鶴屋製菓所
山下滿
ソロ線ブ・プルデンテ市公園前通り 郵函二一五

謹賀新年
昭和十三年一月一日
東洋旅館
前園次郎
ブ・プルデンテ驛前
郵函一〇九 電話一七四

謹賀新年
昭和十三年一月一日
家具、建築製造販賣
國武工場
ブ・プルデンテ市 郵函四三二

謹賀新年
昭和十三年一月一日
和洋御料理一切
うどんや錦世
岩村末光
ブ・プルデンテ市公園前 コレットール・エスタドアール隣り
郵函四三三

謹賀新年
昭和十三年一月一日
サンパウロ藥店
ブ・プルデンテ市公園前
コラソン・デ・ヂエズス藥店
ブ・ペルナルデス田實商店前
日本藥店
ア・マッシャード驛
店主 肥田善衛

Photo. Studio Komatsu
Joaquim Komatsu
Pres. Prudente, em Frente ao Correio
Caixa Postal 109
謹賀新年
昭和十三年一月一日
美術寫眞
現像、引伸、燒付、出張撮影
小松寫眞館
小松重
ブ・プルデンテ市郵便局前
郵函一〇九

(謹)(賀)(新)(年)
昭和十三年一月一日
ガゾリーナ・エレネー配給所
ポスト・サンタルタスルンボ
本山好
田川吉次郎
バストス市街地

賀正
一月一日
ソルベタリヤ・サンバウロ
後藤友利
ソロカバナ線アグードス市
郵函十一

賀正
一月一日
バール
國吉商店
ソロカバナ線シヤバンテス驛
郵函八一番

賀正
一月一日
鮮魚バール
古賀俊光
アバレー市サンバウロ街二八番

謹賀新年
昭和十三年一月一日
親切、丁寧、清潔
理想的な
畑旅館
畑物一
ソロ線アバレー市パイヤ街二番

賀正
一月一日
バールレストランテ
原野德美
北バラナ、カンバラ市
郵函三三番

賀正
一月元旦
バール、鮮魚
丸野清
北バラナ、カンバラ市
郵函五一番

賀正
一月一日
内外雜貨商
深江商店
北バラナ、カンバラ
ホツパ植民地

賀正
一月一日
バール嘉陽
嘉陽宗盛
北バラナ、カンバラ市
郵函七番

謹賀新年
昭和十三年一月一日
アバレー産業組合
ソロカバナ線アバレー市
ルアバラー一番　郵函五二番

謹賀新年
昭和十三年一月一日
内外雜貨
農產物仲買商
カーザ
フロレスタ
遠藤喜代治
北バラナ、ジヤカレジン
ニヨ驛　郵便函六八番

謹賀新年
昭和十三年一月一日
内外雜貨商
農產物仲買
淺尾商店
淺尾實造
北バラナ、インガ驛
郵函一番

謹賀新年
昭和十三年一月一日
インガ日本人會
北バラナ、インガ驛

謹賀新年
昭和十三年一月一日
内外雜貨
バール
小波津龜
北バラナ、カンバラ市
郵函一五番

賀正
一月一日
ソルベタリヤ・サンバウロ
後藤友利
ソロカバナ線アグードス市
郵函十一

謹賀新年
昭和十三年一月一日
朝日ホテル
青木レイ子
ソロカバナ線アグードス市
郵函十七
ソロカバナ驛前

CASA CASUYA
Fabrica de Makarrão
謹賀新年
昭和十三年一月一日
製麺工場
糟谷兄弟商會
糟谷定雄
北バラナ、カンバラ市
郵函一一八番

BAR e SORVETERIA
C. P. 78 Cambara E. F. S. P. P.
謹賀新年
昭和十三年一月一日
ソルベタリヤ
バール
三宅省治
北バラナ、カンバラ市
郵函七八番

謹賀新年
昭和十三年一月一日
和洋御菓子製造
バール、日本食料品
長澤菓子店
長澤粂吉
北バラナ、カンバラ市
郵函七八番

謹賀新年
昭和十三年一月一日
御被露
今回當驛に皆樣の御宿と致しまして旅館「秋吉」を開館致しました
神原驛のお泊りは、旅の疲れがユックリと休まれる、理想的な當館を御
利用下されん事を一偏に御願申上げます
北バラナ、カンバラ市
館主　秋吉忠行

謹賀新年
昭和十三年一月一日
内外雜貨
イ！治療機
北バラナ代理店
五島商店
電話八三番
郵函一番

謹賀新年
昭和十三年一月一日
バール
アソーグ
横山留吉
電話三二番
郵函六番
北バラナ、カンバラ市

HOTEL CAMBARA
Caixa Postal, 109 Tel. 54 Cambara-E. F. S. P. P.
謹賀新年
昭和十三年一月一日
北バラナ隨一の
ホテル
カンバラ
館主　桑原久治郎
北バラナ、カンバラ市
郵函一〇九、電話五四

謹賀新年
昭和十三年一月一日
岡野爲松
サンバウロ・バラナ線
バンデイランテス驛

謹賀新年
昭和十三年一月一日
バール・ジヤポネーザ
井上トリエ
北バラナ、カンバラ市
郵函一三〇番

北パラナ・バンデイランテス商工組合會（イロハ順）

謹賀新年
昭和十三年一月一日
ホテル・バンデイランテス
濱田米吉
男女洋服仕立所　郵函四番
西村玉枝
内外雜貨商　郵函三九番
河崎恒太郎
鐵工所、建築請負
梶原好治
建築並家具製造
山下眞造
清凉飲料製造所、バール
町田兄弟商會　郵函一四番
建築並家具指物
藤井賢三
内外雜貨反物商
スタンダード・ガソリーナ配給所
荒井豐藏　郵函一五番
和洋御菓子製造、バール
諸祝御菓子御引受所
安藤元藏　郵函四〇番
建築請負並家具製造
秋吉鹿人

支那事變特報
事變勃發から
十二月五日迄

◇七月

七、南京政府いよ〳〵冀察政權の改組に着手すると傳へらるゝ此の際盧溝橋の不法射撃に對する軍應懲準備、支那軍の行動を監視す

八、盧溝橋の戰闘は約二時間餘に亘り、わが部隊は支那軍を壓破して午前八時ごろ龍王廟を占據

一一、帝國政府の根本方針を決定北支に派兵聲明、

一三、馬村事件、ほゞ寧緑破壞中央軍北上、南京政府はこれを「日本軍の攻勢に對する自衛手段」とす、

一八、宋哲元は我が香月支那駐屯軍司令官を訪問、今回の事件の非は全く支那側にありとし陳謝、

一九、將介石は盧山談話會に於て事變發生以來最初の聲明「國を擧土と化すも唯抗日あるのみ」

二〇、支那側の重大策動に基き歩の動靜を監視中、重なる不法射撃に斷乎砲撃を開始、十字火は冀平縣城に集中して敵は洗歩、

二三、陸軍省發表「日本と冀察政權がわとの現地細目協定の内容」

一、日支國交を阻害する人物を排す

二、共産黨は徹底的に彈壓す

三、排日的各種機關、諸團體、各種運動、排日教育取締り

二六、郎坊事件、事件最初の空爆開始、支那駐屯軍は最後通牒を宋哲元に手交

二七、帝國政府の重大聲明、「自衛行動已むなし」將南キン政府の最高方針を協議「全面的對日長期抵抗」を決定

二八、全廿九軍掃滅を期する總攻撃開始、各空軍部隊は天津、ペイピン附近の支那軍根據地爆撃、地上部隊は南苑を落し、第廿八師の主力潰滅

二九、ペイピン附近の戰線は僅々二日にして永定河左岸一帶を完全に占據、宋哲元、秦徳純、馮治安はペイピンを逃走、貴族院本會議にて事件費追加豫算九六八〇萬圓成立

三〇、陸海軍協力して大沽を占領ペイピン地方自治會成立、會長に江朝宗、河邊部隊長宇垣を念願之を占領

◇八月

二、連絡を斷たれた通州に向けペップンより決死隊急行、張家口方面の邦人引揚命令を發す

香月司令官は事變による天津地方の罹災救濟基金として銀十萬元治安維持會に寄贈、天津明期

五、銃後の赤誠陸軍獻金は事件以來累計四、四八五、八九〇圓

七、南京の居留民全部引揚決定何應欽突如軍政部長就任、後任に陳誠、第七一特別議會最終日

第二次追加豫算四一、九六〇萬圓

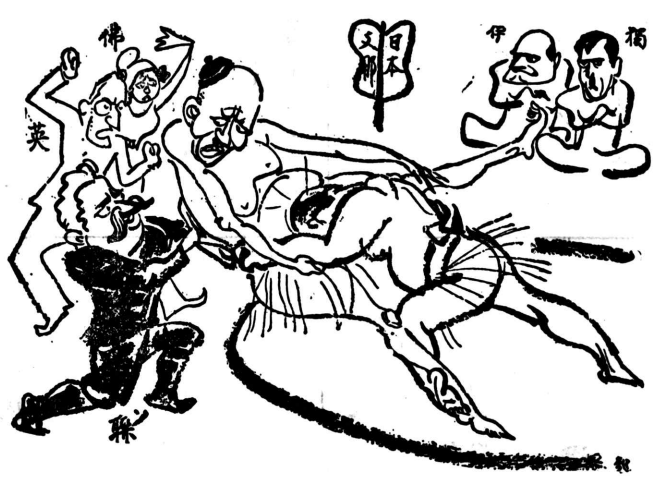
九、上海にて大山大尉射殺事件勃發、長江一帶の邦人全部上海に引揚げ、陸戰隊出動待機

一一、南口（平スイ線）方面で始めて中央軍と砲火を交ふ

一二、南口驛占領

一四、地上激戰展開、上海市政府大破壞、青島のわが水兵射殺事件起る

一五、海軍航空隊の歴史的長距離空襲開始、南キン其の他根據地大損害、わが政府斷乎膺懲聲明、



一八、海軍航空隊の猛撃十二ケ所に及ぶ、陸戰隊よく應戰維持

一九、第四回目南キン空襲敢行

二三、早朝、海空の協力のもと陸軍部隊の敵前上陸を敢行

二四、北支の險、馬廠鎭占據

二五、長谷川長官「支那船舶の交通遮斷」を宣言、關東軍張家口を占領殘敵追げき

二六、上海戰線わが軍揚家屯占據、英大使ヒューグッセン襲撃、北支八連隊占據

二七、我海軍機は八回目の南キン空襲うける決行、嘉興團、兵工廠に多大の損害を與へた

二八、山西省のわが部隊は空軍のはく撃下に陽高縣城を陷落、附近の鋼安堡、天鎭縣城をも占領した

一、上海戰線の要衝たる月浦鎭は午后二時遂に占領した

一一、北支津浦戰せんでは敵が維攻不落とたのんだるもの堅壘も攻略七日わが赤柴、中井兩部たいによつて馬廠遂に陷落

一二、上海北部せん線の石井田上兩部たいは空軍と協力して揚行鎭を擊滅、敵軍航空隊は江灣鎭大場鎭、上海市政府、浦東並に兩

一四、今事變勃發以來、南京空襲をはじめ完全に大陸制空權を確保したわが海軍航空隊は今日まで丁度二カ月その鳳翼下に蹶起した個所は山東、江蘇、福建、廣東江西、安徽、河北、湖南の八省六十二個所に及んだ

一七、川村部たいは平スイ線の終點、ほゞ支軍事交通の要點包圍キン運都を決定した、國民政府は首腦林森を始め軍事機關を除く、首腦部は重慶に都落ちした

廿、戰局の推移に伴ひ連敗の支那軍の損害は畢大で、陸軍省發表に依れば事變發生以來本日まで斃死傷七十万二百六十人とある、本日大本營宮中に設置せられた

廿六、吳山の山麓より敵の擊點と恃む長興に殺到した眞野山田俠本各部たいは砲兵隊の猛撃と相つて遂に長興を占領した

廿九、伊太利政府は廿九日午後滿洲國を正式承認、新京に伊太利公使館を新設する旨公式聲明した

卅、漂陽に向け進撃中の山本部たいは南京防衛第二陣の要衝漂陽を占領した、ナンキンで數千名の市民を指揮し各所に堅壘を構築、其の長さ揚子江岸まで五十八粁に及ぶと

十二月

二、中塘橋より一擧金壇に進つた大野助川浦部隊は午後丹陽金壇を確保した

五、皇軍精鋭部隊ナンキンを距る三粁の地點に肉彈支那戰線に大動搖起る

二八、揚江上流方面に上陸の我永津部隊は正午遂に羅店鎭を占據した、支軍增援隊の本據上海南停車場は午後わが海軍きにより大爆撃を受け潰滅した

二九、南キン政府は午後五時、支那とソヴエト聯邦間に八月卅一日付以て締結されたソ支不可侵條約の四容を發表した、津浦線とはわが赤柴部たいは靜海に次いで陳官屯呂官屯を占領した

三一、上海のわが陸上部隊は拂曉より海軍きと軍艦との掩護攻撃に依り吳淞鎭合、吳淞鎭を占領した

◇九月

一、わが淺岡部たいは獅子林砲臺を長谷川部たいは憧安及び永嘉堡を占據した

三、我軍の寧哈鐵治安維持會が出來、張家口に察南自治政府が成立した

五、我が海軍の支那沿岸航行遮斷は青島、香港、澳門を除く、今支沿海に擴張された、上海戰線では淺間、鷹鹿、天谷各部たいの攻撃により正午寶山縣城陷落した

十三、海軍陸せん隊安田部たいは強固なる敵の防禦陣を破つて午前八時遠東飛馬場を占據、一方森原部たいは軍工路方面より陸せん隊と緊密なる連絡を取つて市政府を占據、北支せん線の我〇〇軍の先陣騎兵たいは午前九時五十分遂に山西軍の最重要地大同を占據した

十七、中央長城線を越えてほく方に進撃中の千田部たいはスイ遠省の重要地點豐鎭を占據した

十九、我和田隊長の率るる海軍航空たいの空しう部たいは午前十時數十機の大編隊をもつて第十一回目の南キン空しうん敢行、飛行場格納庫、飛行き、兵工廠、其他軍事施設をはく破、敵機十一を撃墜した

廿二、わが海軍航空たいは廣東飛行場其他軍事要地に大はくげき敢行、撃墜戰闘機十九き、地上はく破により大破廿一き、格納庫九棟、燃料タンク二個の大損害を與ふ

二四、岡本、石黒、長谷川、坂齋の無敵皇軍諸部たいは保定城を完全に包圍し、早曉より一齊に砲門を開き、高さ十五米の堅壘を乘り越え前十時つひに大日章旗を城頭に飜へす

廿九、中部戰要地武縣城を猛撃中だつた片桐部たいは正午遂に之を占據した

◇十月

二、吳淞、劉家巷街路を掘る堅壘胡家宅を今朝占據し、大場羅店との聯絡を遮斷した爲め敵に取つて作戰上大打撃を與へた

四、第六十一、六十八師長李服膺に大同陷落の責任にて午前零時牢銬殺さる

八、午后正定城の北門北西角の城壁を占據し城内に突入した我部たいは肉彈相搏つ激烈な市街戰の後完全に占據した

一二、わが海軍航空部たいは陸軍作戰に協力左記地點を爆撃した

一、粵漢鐵路コーコー一帶

二、浙漢鐵路玉山、金華驛及ひ鐵橋

三、南昌、蘇州、嘉定の敵陣地

四、浦東側及び江南ドック對岸電氣會社密集部たい

一四、今事變勃發以來、南京空襲をはじめ完全に大陸制空權を確保したわが海軍航空隊は今日まで丁度二カ月その鳳翼下に蹶起した個所は山東、江蘇、福建、廣東江西、安徽、河北、湖南の八省六十二個所に及んだ

一七、川村部たいは平スイ線の終點、ほゞ支軍事交通の要點包圍城を確保、城頭高く日章旗ひるがえる

同部隊に引つづき包圍に入城した田中部たいは直ちに南進、南海子を占領した

廿、我海軍航空たいは上海附近陸軍部たいに協力し、停車場、南翔、七寶鎭、虹橋、龍王廟等に於ける軍需品倉庫、密集部たいを爆撃した、

廿一、眞紅な夕陽が西に沒せんとする頃わが警本部たいは敵前廿米より銃劍を閃めかし敵陣地に躍り込み山四共産軍を片つ端から斬り倒し、斤口山陣地を占領した、

一方航軍を河北省外に一掃した平漢線方面のわが部たいは漳河を勇躍渡河し、石黒部たいは豐樂鎭を占領した

廿六、石井、綱見兩部たいは全線亘り空陸呼應して猛攻を加へ大場鎭を占領した

廿七、南翔の堅壘に蟠居する敵の大部たいは我軍の猛攻に總崩却を開始し、わが部たいは江灣鎭を占領す、海軍陸戰隊は本日正午開北地區を完全に占領した

◇十一月

一、果敢な敵前渡河に成功した魯川、下枝兩部たいは機銃の頑強に抵抗する楊家宅、張家宅の敵陣に突撃、午後二時五十五分完全に占領した

四、斤鎭より太原を目指して南へ〳〵と猛追のわが相原部たいは午後八時頃青龍鎭を占領した

九、川波部たいは綱見部たいの戰車〇〇臺を先頭に劉家宅に突入、午後四時これを占領、ここに大上海の陸上よりの交通遮斷を完成した

十一、皇軍が上海戰線の決定的勝利を確保するに及び、ソ聯は今更ながらソ支密約が意外な方向に露國の運命を導きつゝあるに驅狙し、駐支ソ聯大使ボロゾフを突如更迭した

十六、我包圍陣に逐次壓縮されつゝあつた、第廿九、八十一、廿の敵三ケ師は遂に戰意を失ひ、黄河以北に敵影無きに至つた

十七、我猛撃に抗し得ず、ナンキン攻略を決意した、國民政府は首都林森を始め軍事機關を除く、首腦部は重慶に都落ちした

廿、戰局の推移に伴ひ連敗の支那軍の損害は畢大で、陸軍省發表に依れば事變發生以來本日まで斃死傷七十万二百六十人とある、本日大本營宮中に設置せられた

廿六、吳山の山麓より敵の擊點と恃む長興に殺到した眞野山田俠本各部たいは砲兵隊の猛撃と相つて遂に長興を占領した

廿九、伊太利政府は廿九日午後滿洲國を正式承認、新京に伊太利公使館を新設する旨公式聲明した

卅、漂陽に向け進撃中の山本部たいは南京防衛第二陣の要衝漂陽を占領した、ナンキンで數千名の市民を指揮し各所に堅壘を構築、其の長さ揚子江岸まで五十八粁に及ぶと

十二月

二、中塘橋より一擧金壇に進つた大野助川浦部隊は午後丹陽金壇を確保した

五、皇軍精鋭部隊ナンキンを距る三粁の地點に肉彈支那戰線に大動搖起る

血で綴る
戰地特派記者

何處まで續くねかるみぞ、事變はとう〳〵上海へと擴大するにつれあの國際都市に集る內外の新聞記者は百五十名と算せられてゐる、大部分は日本關係だが、外國著名の新聞社、通信社の腕利きを交へ本田忠雄少將の陣取る「海軍武官室」には濃厚な國際色が渦巻く、各特派員の活動は實に目覺ましくそれも文字通り死線を越えてだ、市街戰、空襲戰、便衣たいの上海だけに、報知百武支局長の負傷、朝日岡君の不法拉致事件等の受難もあつたが、塲所柄、比較的犧牲者の少いのは目出度い限りとせればなるまい、八月廿三日の拂曉、わが海軍と呼應し、陸軍〇〇部たいは果敢な敵前上陸を決行したがその先鋒たる白襷たいに同行した日本の特一員が二人あつた、大毎の楓本、佐藤の兩君でカメラの佐藤君は前の上海事變の際にも冒險撮影で他社なみ〳〵はせたが、今度は寫眞機に砲彈の破片が當りこれまた命拾ひ、この兩君の男士ぶりは軍の方でも驚いたが、ある米人記者をしていたく驚歎せしめた、彼の曰く「日本は今やファーナリズムに於ても世界制覇を成し遂げた、わがUPの如きは遠く及ぶ所にあらず」とさもありなん、ほく支戰線でも米國APのジョセフイ・ラシクス嬢（カメラ）は日本軍と日本記者との男女二人には舌を巻いた、殊に朝日の岡部氏殉職に心を打たれたと云ふのである、皇軍は血で戰ひ、特派記者は血で書いてゐる

謹賀新年
昭和十三年一月一日
内外雜貨荒物
御旅館
當山苗直
アバレー市ラルゴ・マラリス五番地
（公園前）　郵函一九番

賀正
一月一日
名越正夫
有田畦四郎
大田原孝一郎
ソロカバナ線アバレー市
郵函二〇番

謹賀新年
昭和十三年一月一日
内外雜貨商
御旅館
平田商店
平田松竹
ソロカバナ線アバレー市
郵函七番

謹賀新年
昭和十三年一月一日
ウニヴエルサル
貯蓄債券建築會社
アバレー
エックレ・モンソン
セルケーラ・セザル
バーラ・グランデ
方面代理店
御旅館東京
館主豐田國次郎
ソロカバナ線
アバレー市ルアバラ二五番



一月一日
日伯製菓合資會社
西山福治
ソロカバナ線アバレー市
郵函四八番

謹賀新年
昭和十三年一月一日
旅館御披露
此度皆樣の御宿と致しまして近代的明朗なる旅館『泉』を開館致しました。
兼ねて皆樣の御希望される處の清潔なる室内、奇麗なる夜具、丈夫なるシャーベ、其の他の用意が完全に出來ました。
其他新鮮、美味、且つ榮養充分なる御料理は當館獨得の調理法に依り必ず、皆樣の御滿足を得る事と思ひます。
安心してユックリと氣持よく休まれる宿、年中無休の入浴の設備ある泉旅館を御試宿あらん事を御願ひ申上げます
ソロカバナ線
アバレー市バラー街四一番
館主千賀米吉
各位



酒呑むと暴れる良人！

酒亂をなほす藥は無いか？

酒が嫌ひにさせる藥はないか——とはよく質問を受ける事柄ですが、生憎とそのやうな重寶な藥がありやうはありません。

◀隔離する以外に方法はない▶

アルコール中毒、殊に酒亂とよばれる酒を飲んでの亂暴惡癖は、じ分の意志ではどうにも矯正できぬもので、強制的に、そして出來るだけ嚴重に當人から酒から遠ざける場所——精しん病院に一定期間入れて了ふより他ありません。（フランスやドイツ邊りには酒呑みばかりを收容する專門病院があつて好成績をあげてゐるやうです

◀腦神經細胞の缺陷から來たもの▶

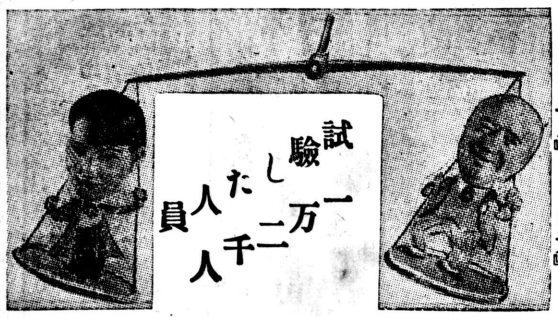
酒亂は誰でもが酒を飲めばなるものではなく、一定の遺傳乃至素質の上にアルコールが加はつて起る一種の病氣と見做すべきものであります。この素質は生れつきのものとは限らず、後天的にじ動車事故や酩酊にあつたり、日射病に罹つたりした後に



しん經細胞に缺陷を生じてゐる場合を云ひます。

◀身震ひする程厭なのも病氣▶

かやうな先天的又は後天的の素質のあるものが酒に親しむ場合



果して『女』は『男』に劣るか

小さい子供から大人に至るまでの一萬二千人の日本人男女に就て、先頃智能檢査を行つてみましたが、その結果は平均的には女子の方が男子よりも劣つてゐました、併しこれは今日までの男女の教育に大きな差異がある以上當然な結果で現れた結果が本質的なものであるのか又は單なる教育の差異によるものであるのか明言の限りではありません、いま現れた男女智能の差異を少しく項目的にみてみますと

辨別の能力

物事を辨へ區別する働きは男子の方が早く、その代り女子は精密で緻密であります

力と持久力

力は何と云つても女子は男子の半分より少し高い位ですが、その代り長く持こたへる仕事力には富んでゐます

運動の速さ

運動の速さに就ては、男子が女子よりも平均一割位は優れてゐますが、指覺では確かに女子の方が優れてゐて、例へばピアノやタイプライターの操作では男子は女子に及びません

物の注意力

物に注意する働きについては一時的に物に全精神を集中するといふ點には男子が勝れてゐますが、長く平均的に持續的に注意をもちこたへる點は女子が優れてゐます、

辨別の能力

辨別の能力は男子の方が優れてゐます、

力と持久力

力は何と云つても女子は男子の半分より少し高い位ですが、その代り長く持こたへる仕事力には富んでゐます

運動の速さ

運動の速さに就ては、男子が女子よりも平均一割位は優れてゐますが、指覺では確かに女子の方が優れてゐて、例へばピアノやタイプライターの操作では男子は女子に及びません

物の注意力

物に注意する働きについては一時的に物に全精神を集中するといふ點には男子が勝れてゐますが、長く平均的に持續的に注意をもちこたへる點は女子が優れてゐます、

女の髪と化粧に新鮮味が欲しい



(下)　格言に「婦人は新じい程よい」といふ言葉がありますが、これは或る點から人間の心理を面いてゐるやうであります。どんなに整つた目鼻立の美人でも、十年一日の如く何時も同じ白粉、同じ紅で同じ化粧をしてゐたら見飽きないさは云へないでせう。もちろん化粧にしろ着物にしろ、自分の個性やタイプに適つたものを選ぶことは大切ですが、併し更に

(大)　切なことは、その自分のないさいふ事です。

例へば、貴女の顏は額が非常に廣いとする、それを隱すために必ず前髪を切つて額を隱す髪型でなくては、自分の顏には駄目だと愚ひ込んでゐる人が非常に多いものです。ところが、思ひ切つて額をすつかり上げて全く異つた髪に變へて見ると、案外額の大きい事は目立たずに却つて今迄とは異つた新鮮な美しさが現れることが多いまた化粧にしても、口紅の描き方や眉のひき方を一寸かへて見ただけで、自分でも氣のつかなかつた新しい美しさを發見するものです。



(こ)　ねるのは外國の映畫女優です。彼女達は各々個性を持つてゐますが、併しその個性をはつきり生かしながらも、酒ゐす美しい化粧法と結髪法で新鮮な感じを與へ、マンネリズムに陷らぬ努力をしてゐます。そこへゆくと日本の女性は髪がたに對して非常に鷹病で、一度オールバックにすると一年でも二年でも同じ恰好で少しも變つた髪を結はない人が多いやうですが、併しもつと男敢に着物や洋服の變化に應じて、髪のかたちもかへる位の

(飛)　腮があつてもよいでせう化粧にしても、一概には云へませんが

期型にも濃艶なた見せることができるワケです。

また實際に一番應用して

今迄眉が太く丸くしてゐた人ならば、やゝ細く眞すぐにするか、或は眉にしても、少し厚目に紅を塗るか、恰好かへて見るか、それも顏を相談しながら適當にあくどくない程度に變化をつけるとは同時に氣分の轉換にもなり、近代女性の自然のたしなみと云つてもよいでせう。

亭主縱操法

亭主なるものは要するに大きな赤ン坊であります。赤ン坊を相手に喧嘩をしても仕方がありませんから、彼氏がむづがる時は、タンマリとオツパイをやつてアヤすに限ります。併し、御承知の通り、赤ン坊といふものは非常に飽きつぽいもので、オモチヤでも叩きコワして中のしかけが判ると、もう見向きも致しません。そこで、世の主婦方よ何かしらつと深いしかけがありそうだと云ふ好奇心を、絕えず彼氏に保たせて置くために、アナタの全部を彼氏に與へない事が肝腎でありますぞ。

謹賀新年　昭和十三年一月一日
北パラナ
後宮耕地
北パラナ
コルネリオ、プロコピオ驛

謹賀新年　昭和十三年一月一日
丸石兄弟工場
北パラナ、ロンドリーナ市
郵函八番

謹賀新年　昭和十三年一月一日
丸石兄弟工場
北パラナ、ローランジャ驛

營業課目
丸石式プランタ機
丸石式改良トーミ
苅鎌、ホイセ
其ノ他刃物
農具一式
木工具製造
各種鐵材卸小賣

謹賀新年　昭和十三年一月一日
別府忠一
北パラナ、ローランジャ驛
木材仲買
運搬業

謹賀新年　昭和十三年一月一日
石井源一
パール、ピリヤール
ソルベタリヤ

CASA TOKYO

謹賀新年　昭和十三年一月一日
カーザ東京
内外雜貨
曾根原士圭雄
吉安幸平
北パラナ、ローランジャ驛
郵函一二番

謹賀新年　昭和十三年一月一日
小池兄弟商會
小池孝
北パラナ、ローランジャ驛
郵函四一番

謹賀新年　昭和十三年一月一日
大江商店
內外雜貨商
農產物仲買
北パラナ、ローランジャ驛
郵函一五番

謹賀新年　昭和十三年一月一日
眞榮田商店
パール
眞榮田義勇
北パラナ、ローランジャ驛

謹賀新年　昭和十三年一月一日
高木洋服店
北パラナ、ローランジャ驛

謹賀新年　昭和十三年一月一日
崎山善榮
建築請負業
家具指物製作
北パラナ、ローランジャ驛

謹賀新年　昭和十三年一月一日
中商店
內外雜貨商
男女服洋裁所
田中
北パラナ、ローランジャ驛
郵函八八番

賀正
一月一日
和洋家具製作所
大西佐太郎
北バラナ、ロンドリーナ市
郵函二一番

賀正
一月一日
内外雜貨商
城間商店
北バラナ、ロンドリーナ市
郵函一〇四番

賀正
一月一日
内外雜貨商
赤津幹之助
北バラナ、ロンドリーナ市
郵函一一二番

賀正
一月一日
和洋家具製作所
水谷貞次郎
北バラナ、ロンドリーナ市
郵函一〇四番

賀正
一月一日
製靴並津動具店
齊木勇
北バラナ、ロンドリーナ市
郵函三一番

賀正
一月一日
パール
深江献治
北バラナ、コルネリオ・プロコピオ驛
北バラナ、サンタ・マリア驛前

謹賀新年
昭和十三年一月一日
内外雜貨、荒物商
加藤商店
加藤孫四郎
加藤正
北バラナ、ローランジャ驛

謹賀新年
一月一日
浅沼邦行
武敏
北バラナ、ローランジャ驛

賀正
一月一日
パール
果物、卸小賣
杉山敏雄
北バラナ、ロンドリーナ市
郵函九六番

謹賀新年
昭和十三年一月一日
内外雜貨商
農産物仲買商
楢原兄弟商會
北バラナ、ノーヴア・ダンチヒ驛前
郵函五三番

謹賀新年
昭和十三年一月一日
内外雜貨商
農産物仲買商
高橋商店
高橋金藏
北バラナ、ノーヴア・ダンチヒ驛
郵函二二二番

謹賀新年
昭和十三年一月一日
農産物仲買
農産物運搬
内外雜貨商
小原次雄
北バラナ、ノーヴア・ダンチヒ驛
郵函四一番

喪中に付
年賀の辭御遠慮申上げます
山口商店
北川貞
北バラナ、コルネリオ・プロコピオ驛
郵函五〇番

謹賀新年
昭和十三年一月一日
内外百貨、卸小賣
西岡商店
北バラナ、ロンドリーナ市
郵函一一三番

CASA AZUL

謹賀新年
昭和十三年一月一日
内外雜貨商
岩倉商店
北バラナ、ローランジャ驛

謹賀新年
昭和十三年一月一日
内外雜貨商
士居武夫
北バラナ、ロンドリーナ市
郵函六〇番

謹賀新年
昭和十三年一月一日
新學期開始一月五日ヨリ
各地方ヨリノ入學者ニ對シ
寄宿舍ノ設備アリ　規則書申込次第贈呈
公認ロンドリーナ裁縫女學校
校長　高橋ミヤ子
副校長　瀧本朝代
北バラナ、ロンドリーナ市
（氏原邸トナリ）

賀正
一月一日
歯科醫
小木曾良夫
北バラナ、ロンドリーナ市
郵函九一番

賀正
一月一日
座光寺與市
北バラナ、ロンドリーナ市

あけまして
お目出度ふ御座います
ロンドリーナ市
郵函一一三番

謹賀新年
昭和十三年一月一日
内外各種自轉車
電氣機器類
販賣並ニ一切ノ修繕
本島自轉車商會
本島虎雄
北バラナ、ロンドリーナ市
郵函二〇番

謹賀新年
昭和十三年一月一日
清潔な室と氣のきいた御料理
北バラナ邦人唯一の御旅館！
横山旅館
館主　横山茂夫
北バラナ、ロンドリーナ市
郵函一二番

謹賀新年
昭和十三年一月一日
内外雜貨、食料品
和洋菓子製造
雜誌類取扱
坂口商店
北バラナ、ロンドリーナ市
郵函一番

CASA PAULO

謹賀新年
昭和十三年一月一日
内外雜貨、反物商
パダリヤ
アングロ・メキシカン石油會社代理店
村本的場商店
北バラナ、ロンドリーナ市
郵函三七番

FABRICA TELHA
TIPO FRANCEZA
Caixa Postal, 121

謹賀新年
昭和十三年一月一日
水淵瓦製造所
北バラナ
ロンドリーナ市
郵函一二二番

CASA FUKUTI

謹賀新年
昭和十三年一月一日
内外雜貨商
福地商店
福地鶴治
北バラナ、ロンドリーナ市
郵函一二一番

謹賀新年
昭和十三年一月一日
上利新吉
北バラナ、ロンドリーナ市
郵函八四番

謹賀新年
昭和十三年一月元旦
北バラナ
國際植民地
聯合日本人會
ロンドリーナ日本人會
第一區日本人會
中央區日本人會
ノーバ・ダンチヒ
中央日本人會
カフエザール日本人會

ブラジルの俳句　念腹

ホトトギス第四十巻、即ち昭和十一年十月號より同十二年九月號までの一年間に、雑詠へ入選したブラジル俳人の句は合して百十一句作者姓名であつた

前巻の八十七句、十六名に較ぶれば目覚しき發展である。尚ほ今巻中初入選の人に、いさを、靜司、銀河、墓沙女、恒河、螢石、休嶺、宗平、はるを、顧洲、筑水、裳、左人、仙友、芳圃、卜城、兵馬、一枝の十戸氏、新參の人に化城氏があり、雖遠の作家に曉雪、陽水二氏がある。新加入の化城氏は孟買よりサントスに轉住間もなき人で昨年六月の本社俳句大會にも參加し一程の熱心家故、氏への期待は次巻にかけらるべきである

（念腹）

夏

佐藤　念腹

群鳥は　野邊の腐肉に蛇は樹に
ひと時　牛こそ來て　蒲の花
灼け飲のまめて再び　跣足かな
日履と　短き晝寢覺めにけり
大旱の地獄のあとの　雨地獄
夕暮の　遣出づる戸に戻りけり

鈴木　抱春

鶏くはへ逃げるをかばは飛ぶ如し
日本に歸る日極まる　棉の花
婚禮の行列長し　日除下
市毛　曉雪

堤籠りし鶏鶏に補を　蒔ける人
羽子つくを知らで十二となる娘かな
齋藤　螢石

夕立の晴れて鳳車の廻り初む
大木のつくゐる闇や　飛ぶ螢

増田　恒河

日時計を圍みて松葉牡丹かな
洗ひ髪　拳のつたふ　耳飾
目黒はるを

日盛の　異國の港　あるきなり
かけて見る子供の椅子や蝉時雨
荒木　宗平

風梨を買ふ吾も亦　船の客
大樹あり　旅人暑き携はんと
木村　虫石

朝顔の　明日の雷や　夕燒けて
万城日金之助

幸運の森を拓きて　住めりけり
富岡　靜司

祖の繩　胡瓜に餘を　さし込んで
手代木休嶺

大日傘　立てゝ朝時の　小間
膠田　左人

蕎麦や　蔗圃もなく　珈琲烟
前田やしま

裳の上にうすくまる牛蒡葉む
吉川　耕花

紅立つて蓋の栗の毬して
水谷　卜城

繩跡の餅に　うかれ座につけり
中野　陽水

大日傘　立てゝ野市の野菜馬車

冬

佐藤　念腹

傘下駄の日本なつかし　五月雨
玉と結へて露に數つ　秋晴や　禪干さん　異人小屋
補綻の不出來にうち勵み　此處へ來て翻訳又逃ぶ夜學かな
露に打つ鍛造にじと進めけり
食ひさしの木瓜ころがり今年菓　森の雲なくなりしより朝寒し

市毛　曉雪

棺なる木棉鶏鶏の喰ひ散らす
灯さゝせば峰烏が來る軒葡萄
馬買うて幸いで來りぬ棉の秋
さき誇る菊や　日本領事館
大輪の闇　ポヘミヤの寂に成る

吉川　耕花

この國に老いゆくままに夜長酒
大根の蟲は見たかと　父牌宅
名ばかりの朝市立てり秋の風
葬り馬車　道草を喰ふ野路の秋
童を先立てて行く棉摘みに

吉川　嘉樓

この犬を賢しとせもふ露の朝
たはけ雞鳴くや夜長の寄り話
群鶏鶏下りぬ舊古園の雪

原田　左人

秋冷や　芝刈りすすむ老の群
空虚の歩き夜學や　歌師待つ

中野　陽水

荷馬車にて運ぶ移民や　天の川
佐藤いさを

幾に立つ大翻王樹の　良夜かな
山口　一枝

朝霧に呼びかけ合ふて山伐れる
木村　虫石

街離れ月見電車さなりにけり
荒木　宗平

朝々の供華蔦る袖に　露新た
加藤巫沙女

秋晴や木見穴を出て草原に
前田やしま

糸瓜棚　自牧青年　哄ひたり
林　鶴河

病める妻一人留守居や　棉の秋
増田　恒河

背に負ふ古りしギターや秋の風
加藤　克川

草風　取りつゝ歸る　ゴルフかな
田草川兵馬

斗星の一つが見ゆる　淺き盥

春

木村　虫石

春灯や　日本倶樂部の噂さらひ
すこやかな巻のうれしき朝寒かな
鳥の巣の糸瓜下がりに大樹かな
兄弟の老いてちりぢり春の行く
蝉や　ざつと濯ませし朝播除

佐藤　念腹

四方より攻めるが如く樹海焼く
樹海焼く煙靡りさいふを行く
森ふすま隔てゝ耕馬叱り合ふ
汲み終へし深井に蘆れ春惜む

中野　陽水

花桃や　頬紅つけてニアロの服
鶏鶏呼び　蜂容ふる春日かな
濡いで來るニアロ夫婦や春の水

万城日金之助

起き上る牛をよぎりて牧の蝶
春雷や　樹海に入りし州道路

前田やしま

ベランダに椰子しだれたる春の雨
や子の葉の垂にし舞台や　春灯

佐藤いさを

惜春の心　巻の耶蘇が踏く
日本の文字を掲げて種物屋

鈴木　狗春

水温む大アマゾンを遡航する

富岡　靜司

彼岸會や親の碑　建つる金もくる

吉川　嘉樓

春曉や四方の窓に群鶏鶏
兒に角に小屋は建ちたり南瓜蒔く

市毛　曉雪

平井　顧洲

住みなれて歸る氣もなし花蜜柑

謹賀新年
昭和十三年一月一日
内外雑貨商
飯田商店
飯田政二
ソロカバナ線アバレー市
郵函二四六　電話二二一

賀正
一月一日
日本美髪店
吉村軍次
プ・プルデンテ市
郵函二四六　電話二二一

Arrancador de Raizes
謹賀新年
昭和十三年一月一日
專賣特許二一九八六號
サンヂ式拔根機
製造元
サンヂ合資會社
ソロカバナ線アバレー市
郵函三八番

謹賀新年
昭和十三年一月一日
内外雑貨商
御旅館
橋本商店
橋本千代松
ソロカバナ線アバレー市
ルア・サンバウロ、ルアバラー角
C.P. 四九番

謹賀新年
昭和十三年一月一日
出寫專門並ニ俏像引伸
寫眞師
古賀實
助産婦
古賀サダエ
ヂアポチカバール市

謹賀新年
昭和十三年一月一日
雜貨商
島田初次郎
Caixa Postal. 85
Alvares Machado. Linha. Sorocabana.

謹賀新年
昭和十三年一月一日
當植民地日本人會役員改選ノ結果左記ノ諸氏當選就任仕候間此段及廣告候也
顧問　横溝久五郎
全會長　森城與
全會計　宮堺重吉
副會長　風間清豊
會計野　水澤秀正
學務委員　鳥屋睦太吉
外交委員　田永重雄
農務委員　魚永春市
全　秋本斎郎
全　馬屋三
第一區區長　岸永幸代
第二區區長　小林久佐
第三區區長　安木市吉
第四區區長　荒井晴雄
第五區區長　矢島正三
第六區區長　島屋春松
第七區區長　魚谷川源雄
衛生委員　西千代
記書

アニウマス日本人會
ソロ線レセンテエロヤ驛アニウマス植民地

謹賀新年
昭和十三年一月一日
雜貨商
戸根商店
戸根寅太郎
同
鈴木商店
鈴木林九郎
同
香川商店
香川森一
同
須山商店
須山勘一
同
岩倉商店
岩倉甚之助
トレスバラス移住地代理人
小早川旅館
小早川治人
サロン・ソールナッセンテ
前田覺
チンツラリア・インテルナショナル
森金六
パール・ジヤポネーザ
古瀬藤一
パール・ミヤタ
宮田アンナ
ソロカバナ線
オウリンニヨス驛

CASA MYOTIM
謹賀新年
昭和十三年一月一日
雜貨、食糧品
日本品、販賣
棉花雜穀仲買
明珍兄弟商會
明珍義臣
伸男
本店
ジヤポチカバル市
サン・セバスチヨン街四二
支店
モンテアルト市

賀正
一月一日
バール・ペンギン
本多隆雄
プ・プルデンテ市　郵函七三

謹賀新年
昭和十三年一月一日
VALE QUEM TEM
SIMOZU
下津口テリヤ店
バストス市
電略　SIMOZU

ブラ拓のガット運動とは？

成富生

時勢の山崎君が來て僞にガット運動の事を書けと云はれた、僞は其座にガットの事なら何でも書くよと安請合をしてしまつたが、偖て書くとなると何を書いてよいやら分らなくなつて遂に、こんな出任せを書いて仕舞つた多謝々々

ブラ拓がガット運動を始めてより三年半初めは一般から多分の懐疑の眼を以て見られたのであつたが今では其の實したる結果によりその眞價が認められガット讃歎の聲が高まつて來たのは何と云つても此運動がブラ拓の一大成功である事を裏書するものであると謂はなければならぬ

ブラ拓がガット(Gosto Tano)なんと云ふ言葉を以て愛土安住を強調したのは好奇的のカラクリでもあるかの如く一部の人には思はれたのであるが、凡そ或る高所より多數の人を指導するには多少耳新しき事を云はねば効果が少ない。言姓に土を愛せよと眞正面から言つたのではピンと來ないがット運動といふ妙な言ひ現はし方で失張り相當の効果がある。土を愛すると云ふ事は今始めての發明ではない所謂ブラ拓本來の大精神であつて今更めてガット運動などと云はずとも分りきつた事だと云ふ說も一應は尤もであるが、併乍物事は其時々の時節に應じて言ひ現はし方を換へて行く方が効果的である

日本に於ける日本精神の强調なども舊來の大和魂の涵養と何等變るところはない。唯言ひ方を替へただけのものだ大和魂と云つたのでは耳が慣れ過ぎてゐるから日本精神と云へば考へが新になる同時に之を强調するに効果が多い譯である。是と同じ事でブラ拓のガット運動もブラ拓本來の運動に何等變りはないが言を新にし氣分を轉換して精神方面並に事業方面に進むと云ふ事は最も必要な事で此點こそガット運動が成功した所以であると言ひ得る。而もブラ拓はガット運動を起すに當り大いに鼓吹をなすと同時に是れが實行を伴はしめたのが何よりの强味ある遣方であつたのである

各移住地にガットせん傷をなすと同時に農事指導員を充實して大いに精神的並に技術的に指導を努めたのであるが其結果が移住地の經濟力の增進を見るに至り從來の溫室植民地と云はれたる他力本願の思想より自力本願に立脚らしめたのは植民者の思潮に一大光明を投げたのであつて全くガット運動の力と云はねばならぬ。移住地の植民者中には萬事ブラ拓を賴りとする意氣地ない植民者が多かつたのである。而して偶々多少の獨立心を有するものもあるも是等はブラ拓に對立し若しくは反對的となる傾向が有り勝ちであつたのであるがガット運動に依つて是等の融合が行はれ眞の自主獨往に醒めたのは何と云つても其の收穫であつたのである

ブラ拓のガット運動を始めてより三年半初めは一般から多分の懐疑の眼を以て見られたのであつたが今では其の實したる結果によりその眞價が認められガット讃歎の聲が高まつて來たのは何と云つても此運動がブラ拓の一大成功である事を裏書するものであると謂はなければならぬ

ブラ拓がガット(Gosto Tano)なんと云ふ言葉を以て愛土安住を強調したのは好奇的のカラクリでもあるかの如く一部の人には思はれたのであるが、凡そ或る高所より多數の人を指導するには多少耳新しき事を云はねば効果が少ない。言姓に土を愛せよと眞正面から言つたのではピンと來ないがット運動といふ妙な言ひ現はし方で失張り相當の効果がある。土を愛すると云ふ事は今始めての發明ではない所謂ブラ拓本來の大精神であつて今更めてガット運動などと云はずとも分りきつた事だと云ふ說も一應は尤もであるが、併乍物事は其時々の時節に應じて言ひ現はし方を換へて行く方が効果的である

日本に於ける日本精神の强調なども舊來の大和魂の涵養と何等變るところはない。唯言ひ方を替へただけのものだ大和魂と云つたのでは耳が慣れ過ぎてゐるから日本精神と云へば考へが新になる同時に之を强調するに効果が多い譯である。是と同じ事でブラ拓のガット運動もブラ拓本來の運動に何等變りはないが言を新にし氣分を轉換して精神方面並に事業方面に進むと云ふ事は最も必要な事で此點こそガット運動が成功した所以であると言ひ得る。而もブラ拓はガット運動を起すに當り大いに鼓吹をなすと同時に是れが實行を伴はしめたのが何よりの强味ある遣方であつたのである

各移住地にガットせん傷をなすと同時に農事指導員を充實して大いに精神的並に技術的に指導を努めたのであるが其結果が移住地の經濟力の增進を見るに至り從來の溫室植民地と云はれたる他力本願の思想より自力本願に立脚らしめたのは植民者の思潮に一大光明を投げたのであつて全くガット運動の力と云はねばならぬ。移住地の植民者中には萬事ブラ拓を賴りとする意氣地ない植民者が多かつたのである。而して偶々多少の獨立心を有するものもあるも是等はブラ拓に對立し若しくは反對的となる傾向が有り勝ちであつたのであるがガット運動に依

農家經濟力の充實により生活の安定を得るに到らば次は益々其向上を圖らねばならぬのであつて

農活の安定を得るに到らば次は益々其向上を圖るべきが順序である、此意味に於てブラ拓のガット運動も段々とその軌道に乘つて來たとは云ふのはブラ拓一產業組合一植民者の密接なる融合聯絡による例のガット信託班實施である。此方法は農家の手許にある資金の多少に拘らず產業組合を通じブラ拓に預金する。ブラ拓は其預金の倍額に相當する耕作資金を組合を通じて貸出すと云ふのである。斯くして農家が每年苦しめられ來つた肯田借りの難も免かれしむるのであつて是れが爲め產組は利鞘を稼ぎ預金者は金利を稼ぎ需要者は低利の融資を受けるといふ一石三鳥の妙案であり、現に昨年來バストス移住地に實施して大いに其實績を擧げてゐる從つて本年よりは他の移住地にも實施して居るのであるが此信託班の完全なる發達は聽て其植地の經濟的獨立となりガット運動の有終の美を成すものであらねばならぬのである

と叫んでゐるのは其意味に外ならぬのであつて

ESCOLA REMINGTON
Rua Nilo Peçanha 46
Caixa Postal 317 Pres. Prudente

謹賀新年
昭和十三年一月一日
タイプライター科、商業科
中學豫備科、晝間部、夜間部
隨時入學可
ドン・ペードロ二世簿記學校附屬
政府公認 レミングトン タイピスト養成所
ブ・プルデンテ市ルア・ヨーロペサニヤ四六
郵函三一七

謹賀新年
昭和十三年一月一日
パール ソルベテリア
比嘉盛基
ブ・プルデンテ市公園前
郵函三六七

謹賀新年
昭和十三年一月一日
片岡旅館
片岡虎吉
ブ・プルデンテ市
郵函一一〇 電話三五

謹賀新年
昭和十三年一月一日
パール 食料品 鮮魚販賣
金田商店
ブ・プルデンテ市 ピラ・マルコンデ
郵函一

正賀
一月一日
プレシデンテ・プルデンテ日本人會
ソロカバナ線ブ・プルデンテ市 郵函七一

謹賀新年
昭和十三年一月一日
政府公認
長井裁縫女學校
校長 長井光子
教師 山田君子
ブ・プルデンテ市 郵函三

Nizo miyake
Rua Newton Prado 55
Caixa Postal 121 Tel 59
Pres. Prudente

謹賀新年
昭和十三年一月一日
農產物仲買商
三宅仁藏
ブ・プルデンテ市 ルア・ユートンプラード五五
電話五九 郵函一二一

FARMACIA SUMITA
Artigo Dentario
Angelo Saijiro Sumita
Cirurgião Dentista e Farmaceutico
藥局並に 齒科治療器販賣
ファルマシア スミタ
藥劑師 齒科醫
角田才次郎
ブ・プルデンテ市 郵函七九 電話一〇一

謹賀新年
昭和十三年一月一日
農產物仲買商
川口土美三
ソロカバナ線ブ・プルデンテ市 井上呉服店隣り
郵函二一九 電話九八

正賀
一月一日
プレシデンテ・プルデンテ聯合青年會
ソロカバナ線ブ・プルデンテ市 郵函三四〇

謹賀新年
昭和十三年一月一日
Dr. Domingos Leonardo Ceravolo
Rua Siqueira Campos No 70
Caixa Postal 144 Telephone 68
Prs. Prudente E. F. S
內科 外科 產婦人科 其他一般
リオ醫科大學出身
ドミンゴス・レオナルド・セラボロ
ブ・プルデンテ市 シケーラカンポス街七〇
郵函一四四 電話六八

謹賀新年
昭和十三年一月一日
吉雄商店
アトランチコ・ガソリン石油販賣代理店
日伯社發賣アルセニアット・デ・シユンポ取次販賣店
本店 ア・マッシャード町 郵函六 電話一八
主任 吉雄武
店員 吉雄清 菊地文行 齊藤勝男 小笠原敏雄
內外雜貨、書籍、內外各種食料品、機械類、農具、農業藥品卸小賣
スタンダード・ガソリン石油販賣代理店
カーザ東山清酒 東麒麟 東鳳販賣代理店
分店 ブ・プルデンテ市 郵函一八七 電話一二五
主任 吉雄弘
店員 吉雄保 三浦謙治 小笠原百男

謹賀新年
昭和十三年一月一日
確實な農業藥品及肥料と噴霧器を特に御安く致しまする
吉雄武保

河北の史詩

洛翁生

黄帝紀元四千六百九年（大正元年）八月中華民國革命の宣言を發布するや軍政府の軍歌に曰く

漢を興せ漢を興せ我が大漢を興せ、漢人の好山河は豈滿賊の占むるを容さんや、同胞努力すべし、努力前に向て戰へ、胡兒を殺し盡して大漢を興せ

而も漢人の好山河は滿賊に占められ、同胞　努力せず、毎に後に向て退き、胡兒は殺されず、滿洲帝國興りて大漢は終に興らず、史跡五千年昌世革命約十五回、河北の地は毎に爭奪の巷となつた、黄帝はタク鹿の野（河北省の宣化）に戰ひ帝堯は山西の平陽に都し、帝舜は山西の蒲州にみやこし、禹は山西の安邑に都し、周の武王は殷軍を牧野（河南省の淇）に破り、吳王夫差は覇　稱して諸侯を黄池（河南省の封邱）に會し、秦は趙軍を長平（山西省の高平）に破つて四十萬人を坑殺した

長平一坑四十万
奏人歓笑し趙人怒る
大風沙を揚げて水流れず
楚の爲にする者は樂し漢の爲に愁ふ

兵家の勝負は常に一ならず
紛々たる干戈何れの時にか擧らん
必天更有りて將に威を明にせんとす
人を殺すを嗜まざれば能く之を一にせん

燕の太子丹は實元（河北省のタク州）の地圖を荊軻に授けて之を易水にわたつた
此地燕丹に別れ
壯士髮冠を衝く
昔時人已に歿し
今日水猶寒し

燕亡び趙亡び魏亡びて河北は鮮卑と匈奴に占領せられた、隋唐四百餘州を統一せしも漢威河北に振はず、唐の玄宗天寶十四年（今を去る千百八十三年）冬十一月胡將安祿山、平盧（熱かの朝陽）范陽（ペイピン）河東（太原）三道の節度使を兼ね、手兵十五萬を提げて反旗を翻へし、十二月早く既に洛陽を陷れた

漁陽の鼙鼓地を動かじて來り、驚破す霓裳羽衣の曲、九重の城闕煙塵生じ、千乘萬騎西南に行く

官軍振はず玄宗蜀に出奔した、招討節度使哥舒翰軍を陳濤斜に戰て大敗した

孟冬十郡良家の子、血は作る陳陶澤中の水　野は曠く天は清く戰聲無く、四方の義軍同日に死す、群胡歸り來て雪に簪を洗ひ、仍ち爽歌を唱ひて都市に飲む、都人首を回らして北に向て啼き、日夜唯望む官軍の至るを

平原（山東の濟南）の太守顔眞卿先づ官軍を募て義兵を擧げた、玄宗大に喜んだが偖顔眞卿とはどんな男かと聞いたは阿呆な話であつた

平原の太守顔眞卿
長安の天子は名を知らず

眞卿の從兄顔杲卿は常山（かの北の正定）の太守として賊と戰ひ敗れ捕へられて洛陽にひきゐられた、安祿山は面罵した、肉は剔られつゝ息絶へた、睢陽（河南の商邱）の太守許遠、眞源の令張巡と兵を合せて賊城も賊を防いで一步も江淮に入らしめず、食盡き城陷り、齒を挾まれて殺された、住民感激して張巡許遠を祀つて双廟と云ふ、

南口男兒終に屈せず
皇天上帝照明

爾來唐亡び元亡び明亡び清亡び、中華民國立ちて廿六年抗日を以て國論を統一せんと欲して成らず、河北の民は擧食盡體して皇軍を迎へた、願はくば聖天子堯舜の治は僅かに五百年、而も此間黄河の氾濫に苦しみ、土木技師禹の擧げて天子としてより四千一百年、爭亂相次ぎて今日に至つたのに、要するに軍閥（節度使）と宦官と阿片と天地佛に因するものと云はねばならぬ、而して其端を何れも唐玄宗に發したるより甚だしく、天寶の亂に漢族衰滅の初幕であろ、而も倫幾多の忠臣義士ありしより思へば、河北一億五千萬の民衆も一度軍閥なく宦官無く阿片無く天地佛無く八紘に普き皇威に浴せば、富強の國家を形成し得るは疑を要せぬ、首と南京は陷落し、神武天皇紀元二千五百九十八年を迎へ、河北の父老と共に日東聖天子の御稜威を拜せん哉

烈焰四面萬雷迸り
新軍誤つて傳へて日邊より下る
濟衆の義は殺伐を誡む
軍を退けて且つ見ん秦法の愧まるを
日東の男兒義膽有り
千里雄に赴きて身を顧ず





「寫眞說明」勅題「神苑朝」に因むサント・アンドレ驛愛媛縣人三好綱一氏謹製の盆栽

高いチップ

正氣の歌に曰ふ
天地に正氣有り
雜然として流形を賦す
時窮すれば節乃ち見はれ
一一丹青に垂る

張睢陽の齒を爲り
顏常山の舌を爲る

南八男兒は張巡の部將南霽雲である、城壁の上に戰ふ今し、面上に六矢を射られながら微動だもせず、賊兵高いて大人形で無いかと思つた、張巡以下三十六隊長と共に殺された、南宋の義士謝枋得の詩に曰ふ

雪中の松柏愈青々
綱常を扶植するは此行に在り
天下久しく無し鳥跡の漢
人間何ぞ猶伯夷清からん
義は高し候ち覺る生は捨つるに堪たり
禮は重し方に知る死の甚輕きを

或るケチな男がカフエーへ參りましたが、酔つても本性遂には出ず、どうもチップを出すのが惜しくてなりません、そこで勘定が濟む早々釣錢をひつたくるが早いか脫兎の如く表へ飛び出しました、と續いて女給が追ひかけて來て、

「もし〳〵あんた忘れものよ」

彼氏テッキリチップを催促されたものと思つて、

「この次だ、〳〵」と後をも見ずに一もく散、ヤレ〳〵儲かつたと一息してフと氣がつくと帽子が忘れて來た、あつ、しまつた」

それぢや高いチップです

謹賀新年
昭和十三年一月一日
北バラナ、トレスバラス移住地
アサヒランジヤ町
齒科醫
林秀男

謹賀新年
昭和十三年一月一日
北バラナ、トレスバラス移住地
アサヒランジヤ町
寫眞師
林義磨

謹賀新年
昭和十三年一月一日
北バラナ、トレスバラス移住地
アサヒランジヤ町
洋服、帽子、染替
廣森洗濯所

謹賀新年
昭和十三年一月一日
北バラナ、トレスバラス移住地
アサヒランジヤ町
內外雜貨商
林隆

謹賀新年
昭和十三年一月一日
北バラナ、トレスバラス移住地
アサヒランジヤ町
靴製造業並に
アゲ、トーフ業
山田新市

謹賀新年
昭和十三年一月元旦
北バラナ、トレスバラス移住地
アサヒランジヤ町
建築請負業
家具指物製造
奥野末松

謹賀新年
昭和十三年一月一日
北バラナ、トレスバラス移住地
旭ランジヤ町
棉花並に農產物仲買
アンダーソン・クレイトン代理者
若宮昇

謹賀新年
昭和十三年一月一日
北バラナ、トレスバラス移住地唯一の低廉
建築の材料は
ジヤタイ驛煉瓦工場
當地一手販賣
今野製材所
從業員一同
北バラナ、トレスバラス移住地
アサヒランジヤ町　郵函四四番
フランメキー　アサヒランジヤ町渡ヤ1000枚1°350$ 2°250$ 3°200$
〃　〃　〃　1000枚　3°600$

謹賀新年
昭和十三年一月一日
有限責任
トレスバラス產業組合
同組合員一同
北バラナ　トレスバラス移住地

謹賀新年
昭和十三年一月一日
CASA PARANAENSE
JATAHY - PARANA
TRES BARRAS
內外雜貨
カーザ・パラナエンセ
鴨川商會
北バラナ、トレスバラス移住地
アサヒランジヤ町

謹賀新年
元旦
北バラナ
トレスバラス事務所
臼井介仁
嶋田峻三
久谷勇
龜山文次郎
山崎安
夛下孝
谷田才次郎
荒木衛門
小倉清
勝田卯太郎
櫻田松麿
野本進
柳川琢治
白林昌治
相澤治平
伊丹司
武木敦夫
小池八雄
石川健次
肥後乾二
鈴木四郎
久保彦亮

謹賀新年
昭和十三年一月一日
北バラナ、トレス・バラス、アサヒランジヤ町商工組合
今野製材所（イロハ順）
池田源吾
池田德一
入澤榮藏商店
林市助
西村洋服店
德重盛國
奥野末松
若宮昇
神成建築請負所
横山盛二
武井木工所
竹入饒
高橋製パン所
ソルベテリア・アサヒ
ソルベテリア・バラナ
中易商店
中村純市
內藤準次郎
向井延一
山口商店
山田製靴店
小本隆
古城時太郎
遠藤商店
阿寺忠彌
部理髮店
井三左雄
酒坂本商店
禪院寶太郎
林義磨商店
內田商店
市瀨澄子
權藤密次
山井洋服店
紺野弘

謹賀新年
一月一日
間引義諦
モジアナ線サンジョアキン驛

謹賀新年
一月一日
川島軍三
モジアナ線グワラ驛

謹賀新年
一月一日
白水紋造
モジアナ線ランザア驛アルド耕地

謹賀新年
一月一日
サンジョアキン
日本人會一同
モジアナ線サンジョアキン驛

謹賀新年
一月一日
八ッ田一藤
モジアナ線イガラバー驛

謹賀新年
昭和十三年一月一日
熊本縣人
河野喜悦
モジアナ線アラミナ驛郵函三十五番

謹賀新年
昭和十三年一月一日
小原齒科醫院
齒科醫　小原數太
同　巧
モジダス市驛前
出張所　ポア市驛前
プレジオ（ガルシア）一番

謹賀新年
昭和十三年一月一日
竹入饒
パール、ピリヤール
國產ミシン・インペリヤル代理
食堂双業
北バラナ、トレスバラス移住地
アサヒランジヤ町

謹賀新年
昭和十三年一月一日
中易商店
內外雜貨
農產物仲買商
運搬業
北バラナ、トレスバラス移住地
アサヒランジヤ町

あけまして御目出度
御座います
バラナ裁縫女學院
公認裁縫教師　池田藤枝マリヤ
北バラナ、トレスバラス移住地
アサヒランジヤ町
規則書申込次第贈呈

謹賀新年
昭和十三年一月一日
神成組
土木、建築請負
神成靖文
北バラナ、トレスバラス移住地
アサヒランジヤ町

謹賀新年
昭和十三年一月一日
坂本商店
內外雜貨
農產物仲買
運搬業
坂本秀雄
北バラナ、トレスバラス移住地
アサヒランジヤ町

謹賀新年
昭和十三年一月一日
永井俊三
農產物仲買
養豚並仲買
運搬業
北バラナ
トレスバラス移住地
アサヒランジヤ町
郵函　TB四二番

謹賀新年
昭和十三年一月一日
向井延一
ボタン
せんべい製造
馬車運搬業
北バラナ、トレスバラス移住地
アサヒランジヤ町

謹賀新年
昭和十三年一月一日
ホテル太洋
御旅館
各種食料品
佐々木渉
ソロ線
サンタ・クルース・ド・リオ・パルド
郵函一八一

謹賀新年
昭和十三年一月一日
北御門商店
農產物仲買
內外雜貨商
サンバラ棉花會社代理人
ソロ線ランシヤリヤ驛
郵函五〇

謹賀新年
昭和十三年一月元旦
太洋植民地自治青年團
ソロ線サンタ・クルース・ド・リオ・パルド驛
郵函一八一

謹賀新年
昭和十三年一月一日
太洋植民地日本人會

會長　鈴木重郎
副會長　渡邊永治
監事　末廣繁
書記　佐々木武輝
會計　宮崎久
理事　佐々木梅五郎
同　牛谷川壽男
同　鈴木内忠清
同　末永清
同　宮口永二
同　佐々木武
同　牛谷川壽
同　鈴木内忠清
同　宮口永二
書記　末永清
委員長　日々谷川壽
委員　笠井狩馬
同　大倉正
同　猪狩親一
同　古川必心
同　牛谷川壽男
同　佐藤眞身
同　末永留之助
同　鈴木愛治郎
同　今野繁
同　川俣嘉一
同　宮口兼二
同　笠井太郎
同　水升源吾
同　小西進
同　佐藤武雄
同　村上龜助
同　高崎ハル
同　牛谷川義雄
同　渡邊正
同　小野若二郎
同　安本知清
同　丹治與代松
同　大橋三永郎
同　稲橋吉雄
同　宮田伊平
同　牛杭俊秀
同　齋藤喜市
同　岩野貞治
同　倉之助
同　稲村

▼學務委員會
【第壹區】
區長　今野繁
幹事　鈴木愛治郎
【第貳區】
區長　末永清
幹事　宮口兼二
【第參區】
區長　新井田忠男
幹事　小林鐵男
【第四區】
區長　高橋利藏
幹事　佐藤章藏
【第五區】
區長　梅田鐵男
幹事　佐藤軍造
【第六區】
區長　原田賢司
幹事　遠藤豐
【第七區】
區長　渡邊牛渡
幹事　鈴木武久
【第八區】
區長　吉川戸一三
幹事　佐藤直治

▼衛生部
部長　宮口永二
部員　谷川壽男
同　笠井鈴木
同　千葉靜藏
同　永谷孝四郎
同　敬師全部

▼體育部
部長　酒井泰男
部員　宮口義男
同　末永祐雄
同　長谷川靜保

▼演藝娛樂部
部長　水升源吾
部員　渡戸一誠
同　牛谷眞琴
同　佐々木忠輝
同　常夫
同　秋廣
同　門馬壽郎
同　石坂壽雄
同　酒井祐付
同　高橋豐政
同　田河寺藏
同　石見信武
同　遠藤増榮
同　村淺野

謹賀新年
昭和十三年一月元旦
ソロ線サンタ・クルース・ド・リオ・パルド驛
郵函一八一
太洋植民地日本人會

農業

十八公の異名持つ 松のお話

歳寒の三友筆頭に坐る



年の初は松の月、戀人、縁談、商人は商談、百姓萬作松の月、縁喜を祝つて農業欄でも松の話から初める

松と云つても多うござんす。相生の松、三保の松原、五葉松、朝鮮は五葉松、印度ヒマラヤ松、獨逸松、佛蘭西はナポレオン大王松、北米海岸松、キヤマで名高いダグラスパイン。但し日本では評判は至極香しくない米松、南半球でメンター一つパラナ松

松の本場はきた半球、日出づる國からすつと洲まで大四洋を渡つてくる米一帯に行き渡つてゐる

造化の女神が其古き半球全部に松の種を播き散がして唯一袋の底に他の種と交ぜて播き残したのがヒヨツコリパラナに落ちて生ひたのが我がパラナ松である

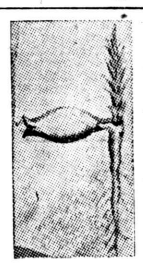
それが段々擴がつて南は南大河、きたはミナス、リオ迄到る處あの

乗りの事だし、多少ノスタルザアにやられてゐるからオー、ヒネイロスといふ譯、すつかり松の木にしてもまつたんだ。然し此處へ來た日本人は感心な事には御正月だといふのにパラナ松で門松一つ作らない。いくらなんでもそこ迄はオツシヤルでしよ。だがほく海道

滑稽な姿の林を作つたと云ふ。その種の落ちた所がクリチーバ、松林と土人の言葉をその儘に用ひてゐる。松とはそれ何物ぞ、リンネ曰くピヌスと已れが名を附けた奴であると。くろまつ、あかまつ、ごにようまつ、どいつくろまつ、めりけんまつ、皆ピヌス屬で正眞正銘の兄弟まつだ。殘念乍らパラナマツは御一族に入らない。場異い物である。帆掛船で明暮れ四十日けるく大四洋を渡つて此國へ着いたトタンに松に似ず木の見たものので木の名前など御存知ない、船

にゐる兄弟たちは似たりよつたりのエゾマツ、トドマツ等の變な物をオツ立てゝまつのふた葉に雫ぞ掛かれると妙な咳を出してゐますぞ

まつの二葉なんて云ふのは大體日本の事で毛唐っなんかにそんな大平樂で話をして御覧なさい、日本では松に二葉ですかと訊かれるから殘念乍ら認識不足といふ奴だ。チト語呂が悪いが大抵まつ類は生れ初めは五つ位グワツと葉が出る植物學者は多子葉植物と云ふ。パラナ松などは一層變つた奴でヌツと出た棒見たいなやつに、丸で鋸の様な葉が付いてゐる。鉢植えにするて丁度つくく坊主の叔母さんみたいでこれがパラナ松かと一寸滑稽である



大體鉢植物として移植を嫌ふのは日本の松と同樣だが、ために最初の中からつばり風情の無いこと伯國人同樣で、おやみに上へ許り伸びたがつて始末が悪い。地上部よりゴボウ根が深い。先づ盆栽物としては此處の松は全然見込みがない。但し庭木としては仲々見答へがある。二年目からそろく枝が出て四五年物ともなれば全く尖鋭な圓錐形となり十年物位迄は觀賞價値は充分である。粗植なして置くと可なり長く美形だが密植すれば早くから尻からげみして無細工な形を表はす

松の類で種が食へるのは非常に稀だ。先づ此處のを筆頭に朝鮮に一種歐洲に二種ある。しめて僅か四種、其の何れもが種が食用に堪へるために絶滅の悲運を負はされてゐる。特にパラナ松は減少度がヒドイ。話を聞いたのだから保証の限りでないが、何でもパラナ州の松林には種の落ちる頃にはボルヨの大群を追ひ込んで落ちるほどの種は全部食はしてしまふそうで、其の上材木は伐り放しだから、忽ちカンボが出來上つてしまふそうである。そこへ行くと日本の松は憲まれた物で、好事者が長壽の葉だなんて葉を噛む位が關の山だから殖ゑ放題、赤松亡國論なんて變な物迄飛び出す。それ位だから松の植林なんてオカシクツテ云ふ事になるがここでは反對に食へる種を植ゑたりせんでも口の中へ迄り込めさいふ有樣。餘程心掛けの良い者でなければ植ゑた上カルバまでする奴は無い。ヒネイロスなんて名の附いた場所にさへ今では ランデヤは有つても松なんか見樣たつて無くなつてゐるから。種の發芽力もオカシイ程少い。五月に取つた松の種發芽試驗

五月　一〇〇
七月　八〇

九月　一七
十二月　一
二月　半年で駄目になる。松なんか植ゑても駄目だ、サツパリ生ゑない。パウリスタ會社はユーカリは
一年　一〇〇
二年　九〇
三年　八八
四年　七二
云つた風な物です、種々求めるならば宮方に澤山御座いますと只今では大した評判になつたですが併も五月に取つた種の食殘した植ゑるなどと貯へて置かず、早速播けば　五〇日　三一%
六〇日　九四%
八〇日　一〇〇%
先づ二ケ月で略生ゑ揃ふ。變な心さへ起さゝればこれ程完全に發芽するものは外にない。唯植ゑ横に靜かに寝かしてやる。面白いからなんてたてに突きしたりすると駄目松の類で雌雄異株は先づパラナまつだけだらう。而もマモン同樣花が咲くまでは全然雄、雌は不明であるが而も十五年物でないと發情せん丁度人間に類する。花が咲いてから實が熟する迄は二〇―二二ケ月掛かる。自分の土地ではヒヨロの實は出來ませんといふのは丁度私の息子は年が行つても小供産む法を知らんといふのと同斷である。まつ甲斐こそなけれ、

△

青酸曹達は蟻殺しに良く使ふ毒劑だが、少し濃氣に會ふとすぐ蒸分を液離する。此ガスは空氣より輕い。だから充分土で覆ふ必要がある。勿論直接手に附けない事。皮膚を通して人間にも毒性を發揮する

使つたら何回も手を洗ふ事

△

蓮華……ブラジルではタイヨーノと言ふです。東印度原産親いもは不可味だが小芋　美味、葉柄は鹽で もむと上等のサラダになる。成分中に沃度が澤山あるのが特長で、老年の人々の生氣を強める働をなす蔬菜は必ず植ゑて置く可きだ

△

又ベルリンではカフエの取り滓りから油を取る事に成功、何でもアダンダン試驗場には農蚊研究所がおつて、同時にカフエーの化學研究もやつてゐた筈だと此も伯國新聞記者の惡口

△

今年一月、ジュンデアイに葡萄及葡萄酒の品評會がある。農務局の技師曰く、葡萄は百樣の長だ、食慾を增進し、胃腸を整へ、高年に至つても肝、腎の疲勞する事無く血壓昇進等は更に起らないそうだ萬金丹跳である。葡萄酒ではありませんぞ

趣味の園藝

常春藤

一時的の堀立小屋では問題にならんが、土地も求め小さい乍らも煉瓦の家を建てた方々には奨めしたいのは四向きの壁にはきづたを選ばす事である。此忠の四日の强きは格別で寒暖計を見ると日當りに往々攝氏六十度に昇る。一度暖まると暗迄くまで仲々以つて冷めないから室内は焦熱地獄である

こう云つた風の壁は特にきづたがよく育つ。すつかり青い葉に包まれた家の風情は何ともドツシリした趣があり、壁の温度も二十度から差が出來る、美觀と實用との併用で必ず衛生上からもやるべきだ。人に依つては常春藤は家に濕氣が持たして健康上賛成し難いと仰せらるる仁も有るが、丁度反對の事も云ひ得る。ここでは夕立は大抵四ほくから吹きつけて來るが、きづたがからませてあると直接壁には濕氣があたらず葉を傳つて下方へ落ちてしまふ。又氣根からは盛に濕氣を吸收して、たとへ繁れてもたちまち乾燥する便がある

何分奥地はマレヤの恐には充分ある土地柄だから、家の周圍はオツ開きの芝生にして置いて、所々花でも作り壁にきづたを作り暑さを避ける。これが美觀、衛生併用の最も合理的園藝と云ひ得る。キンメルに讃嘗たる樹蔭を作るのはそれこそタメタメして不衛生の極みであり取りざる所である。伯人は Hera de Parade と言ふ

農家便覽



謹賀新年
昭和十三年一月一日
田ノ上救生堂
熊本縣御船中央鍼灸醫會幹事
鍼灸醫
田ノ上救生
パウルー市

賀正
一月一日
久次商店
久次均
アバアニヤンダーバ町

謹賀新年
昭和十三年一月一日
西村組
土木請負運搬
A-O取次販賣所
西村組
北バラナ、トレスバラス移住地
アサヒランジヤ町

賀正
一月一日
原口崎藏
ペーラクルース町

明けまして御目出度ふ御座います
皆樣の快よいお休み處
ソルベテリア・パラナ
北バラナ、トレスバラス移住地
アサヒランジヤ町

謹賀新年
昭和十三年一月一日
開館御披露
今度北バラナ、トレスバラス移住地に旅館「(一)旭」を開業致しました
驛より當宿迄は乘合と余り變らない賃金で自動車の用意も致して居ります。ブラ拓三大移住地の王座たる當移住地を御視察の節は是非理想的の當御宿を御利用御引立の程御願申上げます
ブラ拓指定旅館
貨自動車業シヤバ四九號
(一)旭旅館
一瀬澄子
北バラナ、ジヤタイ驛
トレス・バラス移住地
アサヒランジヤ町

謹賀新年
昭和十三年一月一日
澁谷兼藏
マリリア市

謹賀新年
昭和十三年一月一日
鎌田商店
アラ、クアラ線
タクアリチンガ驛
電話二三
郵函二一

夏を迎へた 同仁會 療養所の横顔

近藤生

やはらかい感じのする白い肌が、靜かに谿間より湧き上つて峰を包む！　濃綠な急斜も、枝振りの誇るパラナ松もポーツと夢みるやうにかすんで行く

純白な羽衣の如きせる此の遥かな雲脚の流れは、忽ち現れ、刹那にきえ去る樣は高山特有のあはれさて、何時視て〻悦ばしい……

高燥一千八百米の山上カンポス・ド・ジョルドンに夏を迎へ、高原一帶は艷々しい新綠に裝ほひ、爽やかな凉氣が漲つてゐる

連峰は濃綠に讃ゐ、峯を飾る樹木に、水氣を增した濕流、いづれも生氣に富んだ力強い夏の躍動美を展開し、自由な大氣は澄み切つて斷然世俗を遠ざかり純朴な自然美の憧憬そのものである

莊嚴な大自然に抱かれ、年中清冷な氣候に惠まれ過ぎてゐる風光明眉に既にブラジル政府が國立公園の指定地として定評あるとながら、伯國全土が本格的發展さに製された昨今、都會の煤煙と暑さに遁れる避暑客や健康を求める人々の數が日毎に數を加へ、登山電車もために立錐の餘席なく、バスが往復し始め素晴らしい人氣を呈してゐる

此の超大廣漠たる高原の一隅に八アルケーリスの廣い敷地を有す、パラナ松、アラゥカリア繁る峰と丘陵に圍まれて、可成り大きなU字形の黃色い建物が嶮然として建つてゐる

これが唯一の邦人療養の殿堂、同仁會サナトリオである

一昨年日本政府よりの補助金二百餘コントスを貰して新設され、日本病院附屬結核療養所として昨年二月より開院、經營されつゝある

のである

建物は三棟より成り、別に少し離れて職員住宅も建つてゐる

あたりは風光絶佳、前に小さき谷なへだて〻枝振りも妙なるパラナ松並木に飾られ、屹立した急峻モンプランに面し、兩横に寫も巨牛がのんびり構たはつてゐるやうな丘陵に抱かれ背後にはやゝ小高い丘はらしき台を控へ、病氣療養には申分ない靜境に裏まれてゐる

此のU字形の三棟は大部分は病室であるる事は云ふまでもないが、中の一棟は入口を中心に事務室診察室、手術室、實驗室、娛樂室、浴場、洗面所、便所、隔離病室にあてられ、他の平行せるベランダ附二棟は向つて右が女子專用病舍、左が男子專用病舍となつてゐる

各棟病舍は七室に區切られてゐるが併し天井は換氣の必要上、開通しで區切られては居らぬ

病室　通風採光はさすがに專門家細江衛生技師が熟慮研究の末、苦心して設計されたものだけに申分なく出來て居り、各病室には大きなガラス窓ベランダアナ附があり、明るく學校の樣で、床はエンセーラで塵かれて、居心地よく、各患者へはカーマは勿論アロルダロッパ及び小さいメーザ、痰壺興へられて居り、何不自由なく手洗用ビーアも備へてゐる



（療養生活）

……（朝）……

夜も睡も盛の開かれた靜寂なサナトリオの一室でポツリ一夜を明せば、輝かしい太陽、紅く高原を色どり、近くの森では小鳥達が樂しさうに囀きつた碧空に囀りか浴朝の……が〳〵しさに爽快な看につゝ先づ體温を取つて後床を離れ、洗面を濟せば午前七時カフエー合圖のベルが鳴る。一同明るい感じのする食堂に集り、牛乳と蜜、マンテイガにに美味しいカフエーを濟せて病室へ戻るそして各自毛布を枕抱へてベランダに出る、此處に數多い安樂椅子が太陽の直射を風を避けて置かれてあり皆を待つてゐるエメラルドな夏ぞらに夥の陽光を受けて打電なる濃綠な峰を眺め、高原のここかしこに悠々と牧草を食ふ牛の群に見とれて十一時まで清淨な大氣を自由に得つゝ思ひ〳〵靜する

……（晝）……

事務室前の時計が十一時を報すると、院内の靜けさを破つて、アルモツサを告げるベルが鳴り響く、待ち居たりとばかり皆空腹を抱へて再び食堂に集る

各自付のラザオル聽きつゝ滋養に富んだ食事に滿腹させ、アルモツサを終る

食後は午後三時まで一同カーマに就き靜臥に午睡する。三時が打つと再びベランダに出る

五時に午後の體温を計り體温表に記入してドツトルの巡回に示し、其日の身體工合をドツトルの問ひに答へる、指示に依り必要ある場合はコンスルトリオに集り親切な診察を受ける

……（夜）……

午後六時に夕食を濟せば、一日中で一番永い自由な時間が與へられる。食堂ではラヂオ、娛樂室ではレコードが期らかなメロデーイで院内を賑す

九時までは將棋麻雀、讀書、樂器、談話等思ひ〳〵の娛樂に樂しい時を過し、夜の體温を計り記入して床に就く。九時にはベルと共にぜうて寥路を辿るこれが同仁會療養所の一日であるが、病氣の程度に應じてドツトルが朝夕二回二十分より四十分を限度とする愉快な散步許す。その他入浴等毎日の生活は總て規律正しく專門醫の指示通りあん心して療養に勵むので、毎週一回（日曜日）の體重檢査には成績良き患者は一キロ以上も增し其他も八百瓦五百瓦と體重を加へ、日に月に衰へた健康を回復し、よく太つて一見病人らしくも思はれず訪問者を驚かせるのが常だ

治療法　伯國斯界の權威院長クローゲース博士が各人のレントゲン寫眞を睨視て治療を自ら施して吳れる。同博士は當地に於て十年近く專門に研究に〳〵かれられた熱心な老練家としてその名は伯國醫界に有名であり當地に數多き專門醫を彼へ導く其人であるだけに一度同博士がレントゲン寫眞を觀んで診斷を下したら見誤り絶無である

ペネフ療法　（肺を肋膜の間へガスを注入し肺活量を縮め肺をあん靜させ癒す療法）

フレネ療法　橫隔膜神經を切除し肺を萎縮させて治す療法

ジヤコベウ療法　電氣切斷器により肺への肋膜癒着の切り離す療法

コステラ療法　幾本かの肋骨を切り肺を萎縮させ治す療法等の肺に對する特殊な進步せる醫術を施されて、氣候靜淨な空氣な窓にするあん靜療法の促助を得でドンドン全快してゆく

一般療法　毎日のカルシウム注射を始め、各種の注射、紫外線療法毎月一回痰や血液抵抗檢査等も行はれ、全努力を盡して田中看護長を始め、坂根副看護員が晝夜の別なく眞劍な其日を忙くしてくれてゐる

入院料　外人經營のサナトリオ（療養所）では月額最高が一コント二百圓で最低が二百五十圓であるる、又ペンソンでへ月額八百圓より最低が二百五十圓を普通とする。併し同仁會サナトリオでは母國政府より月額四コントスの補助金を受けて慈善的に經營されつつあるので月額百六十圓で實に裏まれてゐる。明院されて僅か一年に足りない同仁會サナトリオでは右の如く眞劍な其日を忙くしてくれてゐるが既に收容延人員百名を超え、全快退院者男六名女女在名を出し聖市に於ける日本病院の完全なる此の療養所ら內容外觀が整つてゐる事は在伯同胞のために欣びに堪へん

余は純朴、人々が毎日申分ない氣候と莊嚴な大自然の絶景に抱かれてのんびりとくつてゐる。健康地カンポス・ド・ジョルドンの高原を心から愛する

眞園では參らしい、梅、櫻、桃へなる香りを放つて咲き誇る

打開けた高原の眺め、平穩清凉な獄びた下界の人々へ分けてやりたい。當地の氣候に裏まれ既に幾百の人々が不治の病より救はれ、丸々肥つて病前に勝る健康體を得、喜び勇んで下山した事であらう……間斷なき刺戟と塵埃に閉鎖められ、惱ましい其日をたくる都會人及び病める不幸な人々へこの仙境を求めよと强調する



RICHARD SAIGH & CIA.
Seccos e Molhados por atacado
Rua Paula Souza, 84-90 — S. Paulo
聖市
パウラ・ソウザ街八四―九〇
電話　四―四一二一
四―四一二二
郵市　一八九六

賀正
一月一日
雜貨販賣商
リシヤルド
サイゴ商會

謹賀新年
昭和十三年一月一日
工場から直接消費者へ丈夫で絶對色あせず正札掛値なしは皆樣の絶大の信用と御滿足と御賞讚を博して居ります當店の三大特徵で御座いますそして皆樣の御來店を御待致して居ります
バウルー市
カーザス
ベルナムブカーナス
支店　セルソナシメント
川村義文

謹賀新年
昭和十三年一月一日
カフエラニンヤ町　商工組合
歯科醫　家入宇平
雜貨商　岡崎謙一
伊勢屋旅館　吉安格造
雜貨商　吉安庄造
同　竹內商店
旅館　月見旅館
東京寫眞館　山岸雪陵
商會　福原信義
醬油釀造業　藤澤豐次郎
雜貨商　安良田建本　共同商會
鐵工所　木下松峯
製菓商　三橋萬之助
平野產業組合（イロハ順）

謹賀新年
昭和十三年一月一日
ソロ線バラダアスー驛　郵函五百番
リベロン・グランデ
昭明會
顧問　丸林久次郎
同　志波久吾郎
會長　丸林繁太
副會長　志一波茂
會計　渡部丑吉
監査　佐々木傳一
學務委員　山內榮造
同　橋本・重太
區長　宮原友衛
同　原田擴希

謹賀新年
昭和十三年一月一日
リンス商工組合（いろは順）
東山　今富正平
雜貨商　原實藏
同　濱崎末次
同　本田授
生命保險　賀數輝俊
仲買商　川越銀太郎
製麵製菓　高橋增造
鐵工所　田中庄助
同　中村仁太郎
賛助會員　今田求
雜貨商　權藤五月
旅館　相原龍平
雜貨商　青木祐雄　下矢治三郎
鐵工所　兄弟商會　森部一衛
東山　菅山輝吉
雜貨商

謹賀新年
昭和十三年一月一日
ファルマシヤ・ニツポニカ
日本藥局
島袋源榮
バウルー市パチスタ・デ・カルバアリヨ街一一四八

謹賀新年
一月一日
鈴木一悦
モジアナ線サンジョアキン驛ペロバ耕地

謹賀新年
一月一日
園部洋服店
聖市タバチンゲーラ街七番
雨話 二一一九二一

謹賀新年
一月一日
金子洋服店
金子豪
聖市コンセレイロ・フルタード街二〇二(五生會前)

謹賀新年
可愛いゝお子さんのお寫眞は
Ⓢの早取にて
出張撮影 引伸大勉強
寺庄一郎
サンパウロ市 郵便函二三〇八番

謹賀新年
一月一日
喪中年賀欠禮仕候
川原政衛門
アグードス驛 郵函(二二六)二一八

謹賀新年
一月一日
ドラテンセ線 ノーバ・ヨーロッパ驛 ノーバ・アウア植民地
本間多三郎
本間太郎兵衛
從業員一同

謹賀新年
昭和十三年一月一日
バール ビリヤール 御旅館
富永
マリリア市サンルイス街六八 電話 一一二

謹賀新年
昭和十三年一月一日
御菓子、和洋御飲物 御手輕小鉢物御料理
バール富士
酒井政五郎
マリリア市サンルイス街七八

謹賀新年
昭和十三年一月一日
貸自動車業
宮崎五男
マリリア市 電話一一八

謹賀新年
一月一日
貸自動車業
羽高茂晴
マリリア市サンルイス街 電話二四四 カーザO・K内

謹賀新年
一月一日
中原長次
中央線イタカケセツーパタポエーラ

謹賀新年
昭和十三年一月一日
アルト・パウリスタ土地會社 日本人部總代理人
岡崎司三
パウリスタ延長線トツパン町 郵函五五

謹賀新年
昭和十三年一月一日
農具、肥料、農藥品 農產物仲買及委託販賣
カーザ O K
長谷川粂吉
小野壽
マリリア市サンルイス街七八 電話 二四四

E. WISSMANN
REPRESENTANTE EM TUPAN
謹賀新年
昭和十三年一月一日
棉!! ウヰスマン棉花會社 トツパン出張所
平居房太郎
パウリスタ延長線 トツパン町 郵函五五

謹賀新年
昭和十三年一月一日
ANTONIO LUCIANO
Fabrica "PROGRESSO PAULISTA"
Rua Florencio de Abreu, 58 - Phone 2-3681 - Caixa 3486
Fabrica: Rua Salta-Salta, 46-54 (Barra Funda) Phone 5-5282
S. PAULO
農業用機械一切
アラード、カルピデイラ、グラーデス等、珈琲精選機、マモナ落花生、米、棉花、等用機械 フバー及ミリオ粉用石臼、製粉機、カンジーカ製機、甘蔗用壓搾機各種、ランピケ、粗糖用トルピーナ
「プログレツソ・パウリスター」は製品を保證付ける印です
アントニオ・ルシアーノ
聖市フロレンシオ・デ・アブレウ街五八 郵函三四八六

McFADDEN & CIA. LTDA.
Largo do Thesouro No. 16 - 15°. andar.
Telephones: 3-3168 - 3-3169 Caixa Postal, 2778
電略 "MacFADDEN" S. Paulo
謹賀新年
昭和十三年元旦
棉花輸出、精棉
マックハーデン商會
精棉工場 マリリア アグードス ピラシカーバ
聖市ラルゴ・ド・テゾウロ一六—一五階 支店 レシフエ

謹賀新年
昭和十三年一月一日
ブラ拓 銀行部 商事部
マリリア支店
マリリア市ノーベ・デ・ジユリオ街一五八番地 電話 三八九 郵函 二四八
末松綠
古川陽一
得丸久
波部修

賀正
一月一日
ブ・ブルデンテ商工會
井上樹義　籔田久治
原田茂七郎　山下滿
本田隆雄　前園次郎
バール チドリ　松田重正
德永唯右衛門　藤田秀俊
所道夫　小松重
大西忠次郎　兒玉良一
大島敏路　粟津幾太郎
尾形實　赤木万治
小本伊三郎　佐々木敏雄
渡邊重金　城誼弦
片岡虎吉　金城清康
川口土美三　三宅仁藏
金田晴正　三浦四郎
吉村軍次　宮崎德松
横山忠次　道浦磯右衛門
仲村之利比　嘉盛基
村田道江　比嘉助
内田利藤次　末田斧太郎
生方松四郎　角田才次郎
藏本作二郎
矢田橋次郎
(イロハ順)

謹賀新年
一月一日
美味しいパステスの御用命は是非當店へ！
星野パステス製造所
聖市カンタレイラ街一三七番

謹賀新年
一月一日
和歌山旅館
（舊名 上地旅館）
館主 宮本清
聖市コンセレイロ・フルタード街七〇
電話 二一八三四九

謹賀新年
一月一日
サロン大阪
草葉賢次
聖市イルマン・シンプリシアナ街四八番

謹賀新年
一月一日
呼寄專門
明穗梅吉
聖市フェリツベ・デ・オリベイラ街二一番
四階八號室 郵函 一九〇七
電話 二一三四四四

謹賀新年
一月一日
理髪舖
大仁田理髪所
サンパウロ市イルマン・シンプリシアナ街
五六番

謹賀新年
一月一日
タナミ美容院
田名網彦藏
サンパウロ市コンセレイロ フルタード街五〇番

謹賀新年
一月元旦
安田友次郎
聖市アベニーダ エステリオール九五番B

寒中に付き年頭の賀辭御遠慮申上げます
サンパウロ市
矢崎節夫

謹賀新年
昭和十三年一月一日
ビネイロス自動車業
新古の交換及び修繕業
林岩松
工場 聖市ビネイロス ミグール・イサナ街二番

謹賀新年
昭和十三年一月一日
近郊蔬菜聯合販賣所
市營青物市場内バラッカ二四番
電話 二一〇三一〇番
郵函 三九七五番

謹賀新年
昭和十三年一月一日
公認 双葉洋裁學院
校長 西村ハマジ
助教授 エレナ・カルバデアル
聖市ビネイロス區
バウトロメウ・ゼウンガ街一七番

謹賀新年
昭和十三年一月一日
木下法律事務所
辯護士 公證翻譯人 木下正夫
事務所
Rua Riachuelo no. 11 A
Tel. 2-5936 S. Paulo

Papellaria Mott.
de
Irmãos Mott.
Rua Anhangabahú, 297
São Paulo

謹賀新年
昭和十三年一月一日
草野良治

謹賀新年
昭和十三年元旦
太陽ホテル
館主 黒岩シエ
電話 四一三四八四
聖市コクト・デ・マガリヤウンエス四六
（ルス驛前）

謹賀新年
昭和十三年一月一日
各位様
サンパウロ市
コンセレイロ・フルタード九三
ホテル萬平本店
マリリア市サンルイス六六
ホテル萬平支店

謹賀新年
昭和十三年一月一日
サンパウロ市
旅行業者組合
本組合は收穫時期丈の謂ゆる伯國名物俄商人と區別する爲に眞面目に營業する者のみにて結成しました吃度皆樣方の御信用を頂ける事と思ひます
浪曲師 天中軒富月事 西村稔（イロハ順）
防水布マント 小川虎之助
雜貨商 和田與十郎
全 中村茂雄
男女小供洋服仕立販賣 向井清
全 源田敏夫
全 穀旧喜一
寫眞師 出張撮影 神棚佛壇 寺庄一郎
美術指物、高等御誂及出來合男子婦人小供服商 光島美宮堂
サンパウロ市 郵函 二三〇八 瀬尾武右エ門

謹賀新年
昭和十三年元旦
聖市料亭組合
富田家
富美乃家
可祝
うめの家
青柳
菊水

Cia. Commercial Pastoril e Agricola
Rua Bôa Vista, 127 - 1º andar sala 105
Caixa Postal 274 O - Telephone 2-3385 - São Paulo
謹賀新年
昭和十三年一月一日
明けましてお目出度う本年も相變らず舊年に倍して御健昌を祈ります
イタケーラ日本人
土地植民地會社

謹賀新年
昭和十三年一月一日
清酒
梅乃露
SPR線リベロン・ピイレス
醸造元